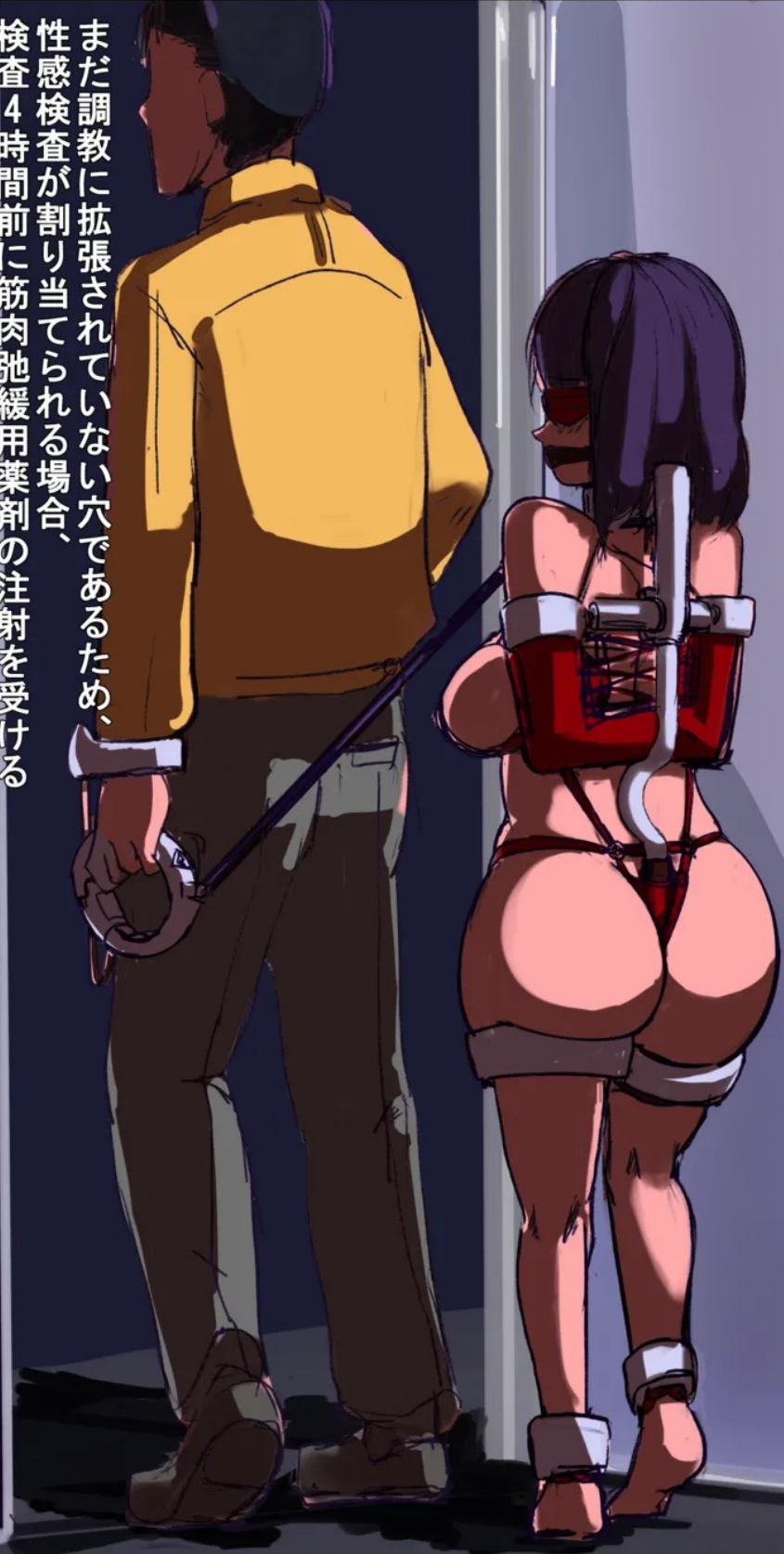


午前の入所式が終わり、午後の日課が行われる。
76番は二日目の午後インプラント設置が予定されており、
一日目の午後には性感検査が割り当てられた。

まだ調教に拡張されていない穴であるため、
性感検査が割り当てられる場合、
検査4時間前に筋肉弛緩用薬剤の注射を受ける。

76番も予定通り午前の起床時間薬物投与時間に肛門括約筋弛緩剤注射を受けた。
弛緩剤が注射されたところが排泄器官の場合、
徐々に大小便が漏れるため、管掌とサクシジョンを利用して内部をきれいに空ける。

朝から食事を制限され、最小限の栄養素が混ざった飲み物を少量注入される程度だ。
76番は調教師の誘導に引かれて「性感帯検査室」と標識がついた部屋に入る。



非常灯に反射した器具はかすかに輪郭だけ見えた
政府の公共機関の省エネ政策施行の一環として、
使用しない部屋は非常灯以外の不必要な照明をつけ
ないよう規定されている



性感帯検査室

入所式以後三日間は性感帯検査室に出入りすることになる。ここでは肛門や質、あるいはその他の調教に必要な敏感な性感帯を発掘する過程を経る。

過去には調教師の経験に基づいて性感帯を探して刺激したが、性感帯検査が導入された後は、より体系的で効率的に調教が可能になった。性拷問奴隷の調教は純粹に調教師の感覚に依存したことであり、事業初期には調教中の亡失比率が非常に高く、正常出荷量が極端に少なかった。

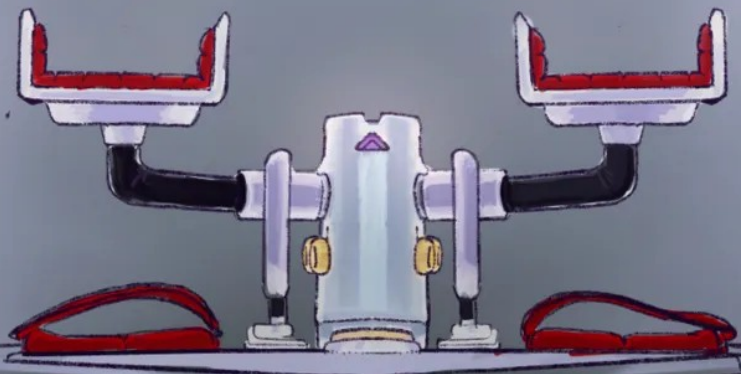
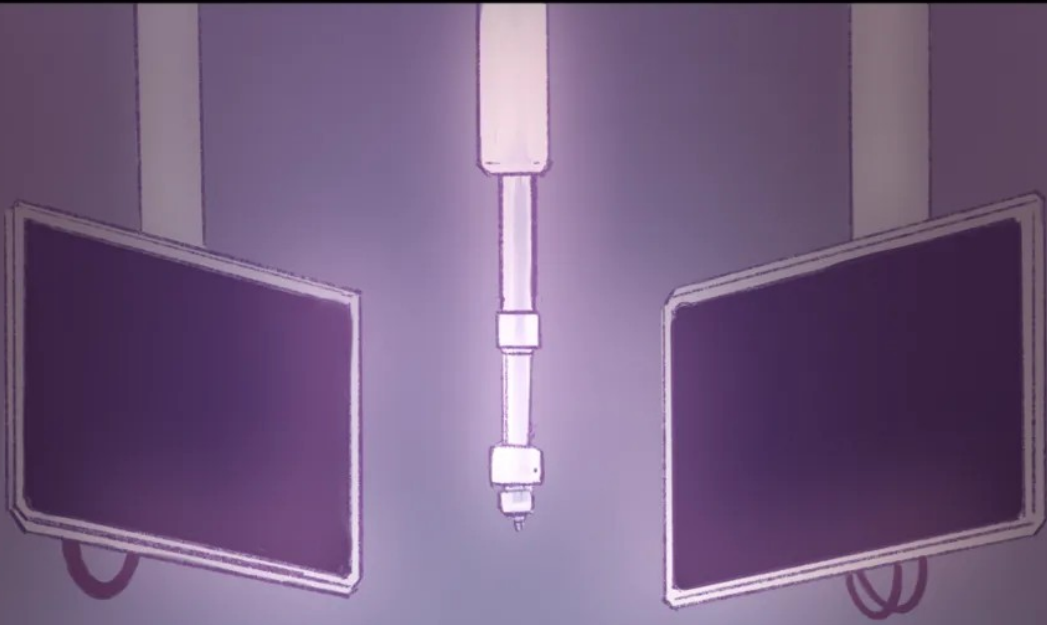
それでも圧倒的な需要により事業が不透明になることはなかったが、調教師の育成が難しいのは継続的に足を引っ張られていた。現在の出荷量は協力研究所の研究成果で「性感帯検査ソリューション」と「調教技師」の導入のおかげという言葉が過言ではないほどだ。

性感帯検査室は一般的に入所式後、初期にだけ使用が多いため、特定の助教室を転換して可能人数を増やす。

常に維持される検査室の場合、後半期の調教で特殊な注文が追加された場合や調教間の異常が発生した時に再検査をするための用途として残しておくことになる。

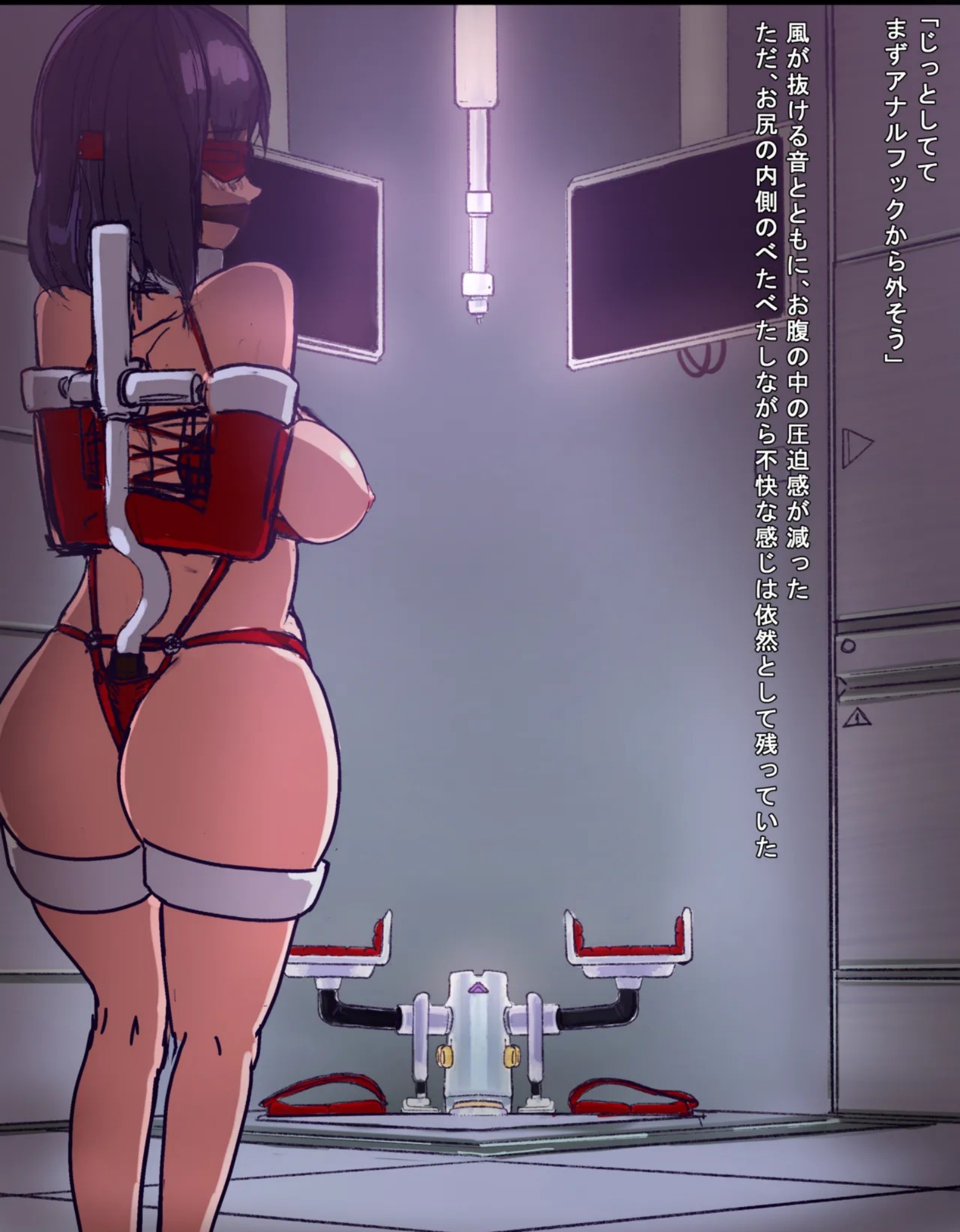


調教師が照明スイッチを入れると、隅に集中した照明が入ってくる
調教のためには明るい照明が必要だが、
特別な場合を除いてはスポットライトの設置がほとんどだ



「じっとしてて
まずアナルフックから外そう」

風が抜ける音とともに、お腹の中の圧迫感が減った
ただ、お尻の内側のべたべたしながら不快な感じは依然として残っていた

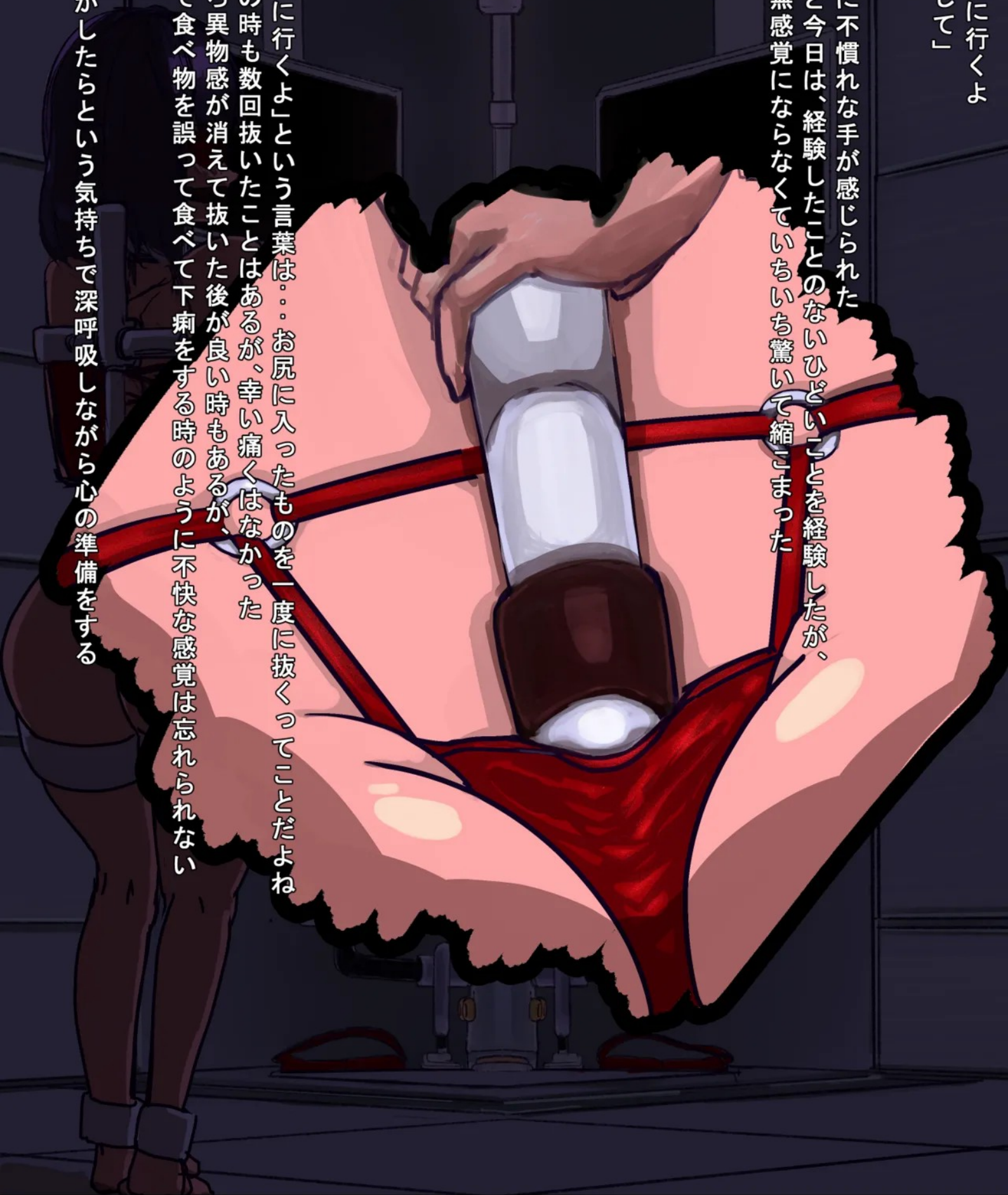


「一気に行くよ
準備して」

背筋に不慣れな手が感じられた
昨日と今日は、経験したことのないひどいことを経験したが、
全く無感覚にならなくていちいち驚いて縮こまった

「一気に行くよ」という言葉は・・・お尻に入ったものを一度に抜くってことだよ
検査の時も数回抜いたことはあるが、幸い痛くはなかった
むしろ異物感が消えて抜いた後が良い時もあるが、
まるで食べ物を誤って食べて下痢をする時のように不快な感覚は忘れられない

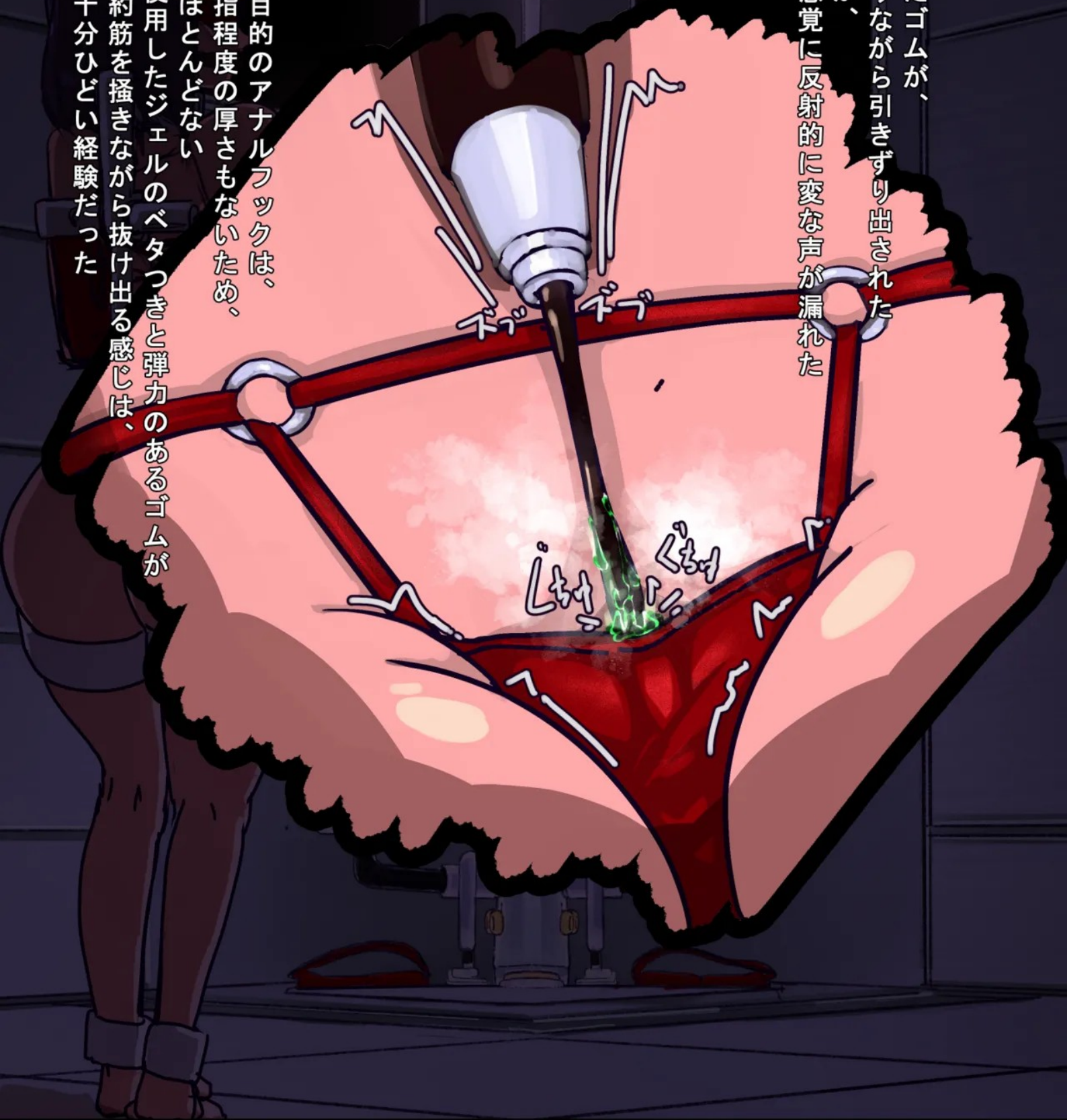
もしかしたらという気持ちで深呼吸しながら心の準備をする



「ふうふう……」

体温で温められたゴムが、お尻の間をこすりながら引きずり出された心の準備はしたが、身の毛がよだつ感覚に反射的に変な声が漏れた

肛門内部拡張が目的のアナルフックは、空気を抜くと小指程度の厚さもないため、括約筋に負担がほとんどない。ただ、潤滑用に使用したジェルのベタつきと弾力のあるゴムが、一気に障壁と括約筋を掻きながら抜け出る感じは、平凡な少女には十分ひどい経験だった



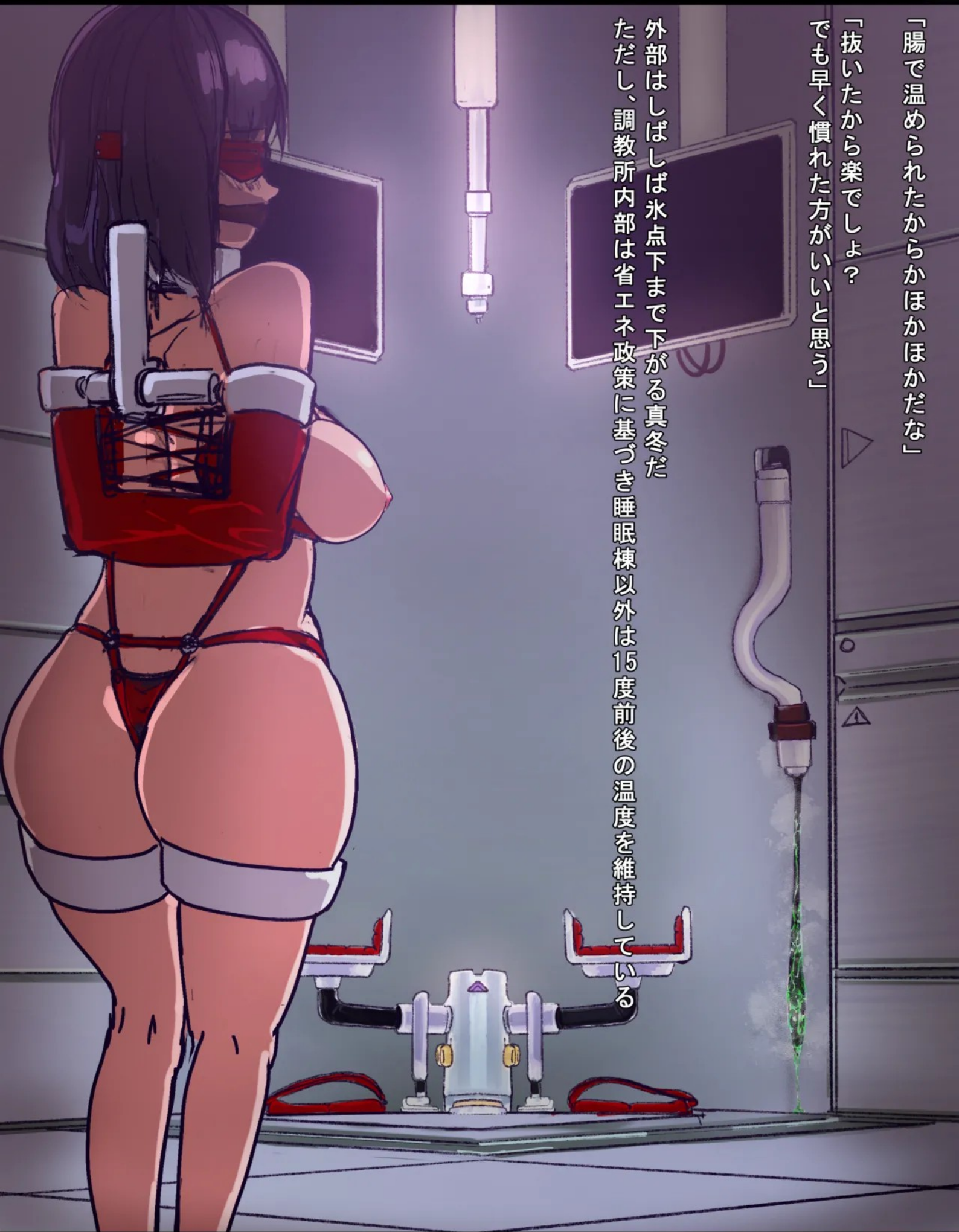




「腸で温められたからかほかほかかな」

「抜いたから楽でしょ？
でも早く慣れた方がいいと思う」

外部はしばしば氷点下まで下がる真冬だ
ただし、調教所内部は省エネ政策に基づき睡眠棟以外は15度前後の温度を維持している



「次は目隠しだぞ」



「ほら、よく見えるよね？
うわっ、どれくらい泣いたぞ？
内側がじめじめしたことを超えて涙が乾いてきたぞ」

急に視野が明るくなってよく見えませんが、
涙が頬を伝って流れるのは鮮明に感じられる

周りからよく泣いたと言われたのは関係なかった
どんな女の子でもこんな目に遭うなら…

「初期だからまあ、構わないが」

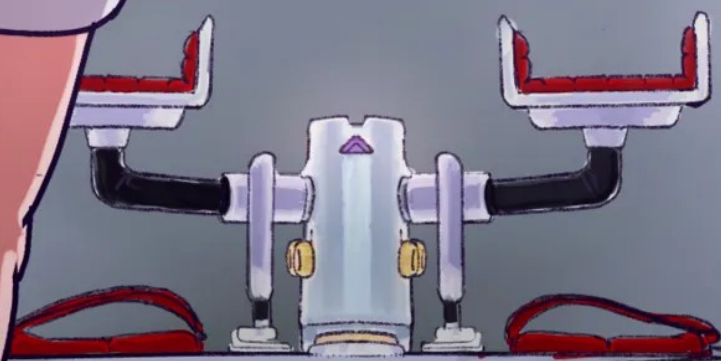
目隠しは保安のための措置でもあるが、
これも調教のための道具だ
睡眠棟以外の空間で眼帯をほぐす」とも理由がある



「じゃ、その隅にある椅子に座りなさい」

やっと足を運んで器具の近くに動いた
……椅子って……目の前の器具は到底椅子と連想される部分がなかった
何よりも座るほどの場所自体がなかった

「まず床にある赤い部分にスリッパを履いたように足を入れて
膝を支えの上の赤い部分に当てながら座ればいいんだよ」



両足を入れると、すぐの姿がどうなるのか見当がついた
お手洗いでもないのに大小便をするように股を広げてしゃがんだ姿、
それにおじさんくらいの男まで……

「76番、急がよう」

初日だから見逃してやるんだぞ次からは罰点だぞ
俺は一度によく聞き取れる優しい子にだけ親切だと」



今、こんな恥ずかしいことさえ罰ではない
入所式で話していた懲罰制は、何をされているのか見当さえつかなかった
羞恥心と恐怖が入り乱れて頭が回らない
目をつぶって足を下ろした

「そうだ、腰はちょっと立ててて」

カチツ

「よし、もう力を抜いてもいいぞ」

それほど不便ではなかったが、体が少し吊り下がったような感じがした
首と腕を握っていた球速球の重さが軽くなった
だからといって腕と首が楽になったわけではない
依然として後ろから腕を折り上げるような不便さと
むしろ首はもう少し締めるような気がした

上半身の球速球はおよそ500g前後の重さだ
過去にはほとんどを鉄製で作って2kg以上の重さが出て奴隷に多くの負担を与えたが、
不要だという研究があり、現在は複合素材を利用して多く軽量化された

「じゃあ上げるからそのままじっとしてる」

上げるなんて・・・それは・・・



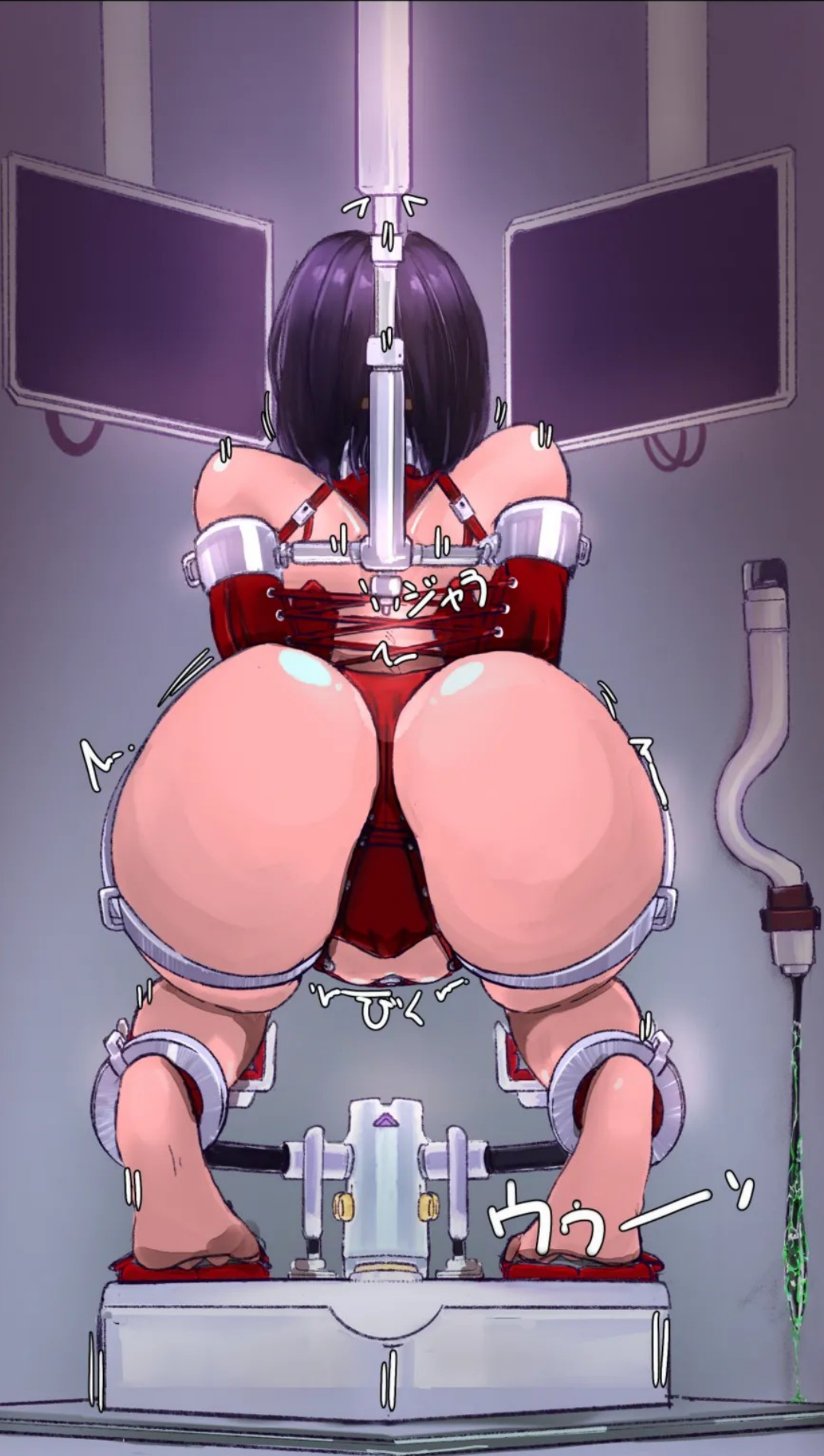
カタン

「んっんっ…」

すぐ機械音がして体が徐々に浮び上がる感じがした



(どうまで上がるの...?)



カウーン

「これくらいでいいのか
あとは細部調整にすればいいんだね」

(やっと止まった...)

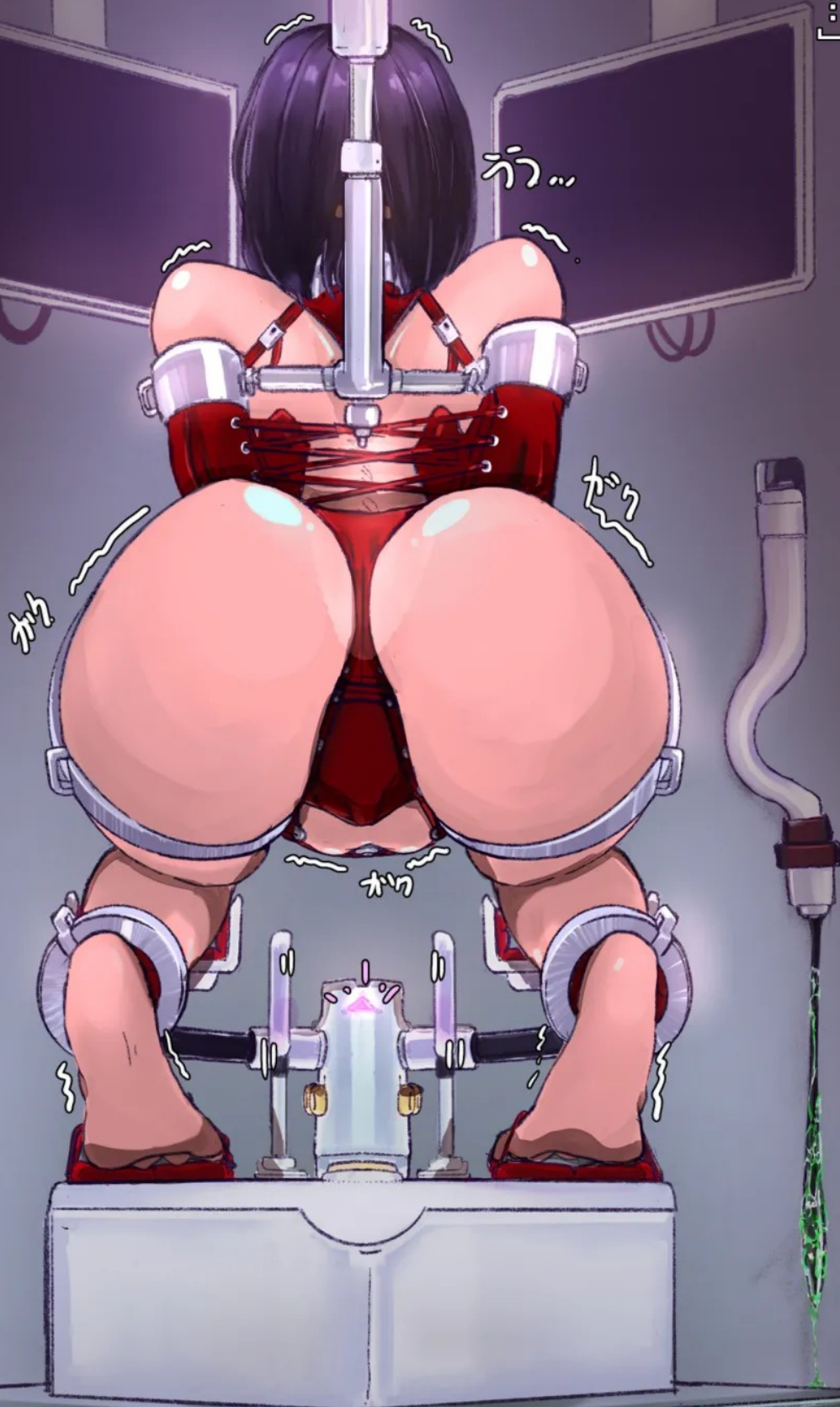


「検査椅子」と呼ばれる器具は各種調教器具のハブ役割と円滑な検査のために使用する
検査は3、4時間以上行われるため奴隷にもかなりの負担だが、
調教師にもかなり体力を要求する作業だ
性感帯検査はほとんど股間に集中し
調教師が椅子に座った状態で部位を簡単に確認できるように上/下に高さを調節する機能がある
実際には30、40センチ前後に上昇するが、かなり低速で上昇し拘束具のため下を見ることができず、
奴隷の立場では相当な高さを上げたと感じることになる

「股間が少し冷たいだろう
驚かないでじっとしてて」

「うっお…」

検査椅子に火が点くとともに76番の股間に向かって薄い金属棒が上がってくる



「ふううー！」

(な、何だ、すごく冷たい…！)

棒は狭いが載せることができる部分があった
ただ…

「力を抜いて、股間をかければいいんだよ」

(このまま座ったら… お尻が…開いて…)



「ふむー76番は罰を受けるのが好きな変態だったかな？」

恥ずかしさと理性が葛藤していたところ、調教師の声に直ちにお尻を下ろした

「ふううー…」

「そうだ、次はないぞ」

学生だった時も優しい子だったじゃないか

大人たちの言うとおりにうまくやれば、家に帰れる日も早く来ることができろぞ」

「高さはちょうどいいね
別に調節しなくてもいい」

「ところで、資料は見ましたが…」

76番もしかして両性具有ではないですよね？」

調教師の言葉に少女は首を左右に振った
平凡だったら聞き取れなかった単語だ
両性具有」という言葉は中学校の時に
勇気を出して訪れた病院で初めて聞いた言葉だった

「これくらいならほぼ新記録ではないかと思いますが
まあ、素質は確かだろうね
安心だね」

検査をしても病気ではなかった
先天的に大きさが大きいだけ
成長期なので整形手術も難しかったし、
人とは違うと思うって色々と気を配って
隠してきたコンプレックスだったけど…
一瞬にして同年代の子供たちの前で
一糸まとわなかったのがほんの一昨日だった

がっ

がっ

「どう？画面はよく見えるかな？」

視野に入ってくるモニターの一つから映像が出た
ただし、何かをクローズアップしたように見えますが、
何を見せているのかよく分からなかった

「じゃ、検査前に案内してあげるよ」
何だよ...

「ここは性感帯検査室です」

慰楽供出物として調教を受ける前に正確な性感帯を把握し、
より効率的に供出物生産に役立つことを目標とします」

「政府の透明な税金使用内訳の公開に基づき、

この時点からすべての作業は録画されアーカイブに登録されます
その前の画面も同じです

おそらく、家には通知が出たはずですから、十分に見守ることができますね
家庭で見守る両親や兄弟姉妹が心配しないように
供出期間内に大人しく見えるようにしましょう」



突然男の顔が耳元に近づいた
そして、小さな声でささやくように話す

ひまりちゃんとかわいいほうで、
クリもこんなに大きいから
学校の友達にも人気満開だね

ちなみに、
友達もたくさん
見てみたいだった

成人のみ見ることが
できるあるというが、
まあ、実際には
同意事項に
近いんだから...



ママ…パパ… とういちも…
ひなちゃんも…先輩も見ようかな…
人としてひまりは終わったね
いや、すでに… その朝だけで
もう終わったよ
そういう姿を見せてくれたんですが
学校とか行けるはずがない

ママ、すごく悲しいかも

大人しい姿だなんて…
こんなひどい格好にしておいて…
腹が立つんだけど…怖くて…
泣き虫じゃないんだけど…涙が止まらない…
むしろこのまま泣いて死んでしまったら…



「さあ、ここで76番がすべきことは2つだけだ
— 第一目、その画面をよく見ていること
あ、左の画面は後ろに出るからちよつと待っててね
— 第二目、股間を上げた所から離さないこと
簡単でしょ？理解した？」

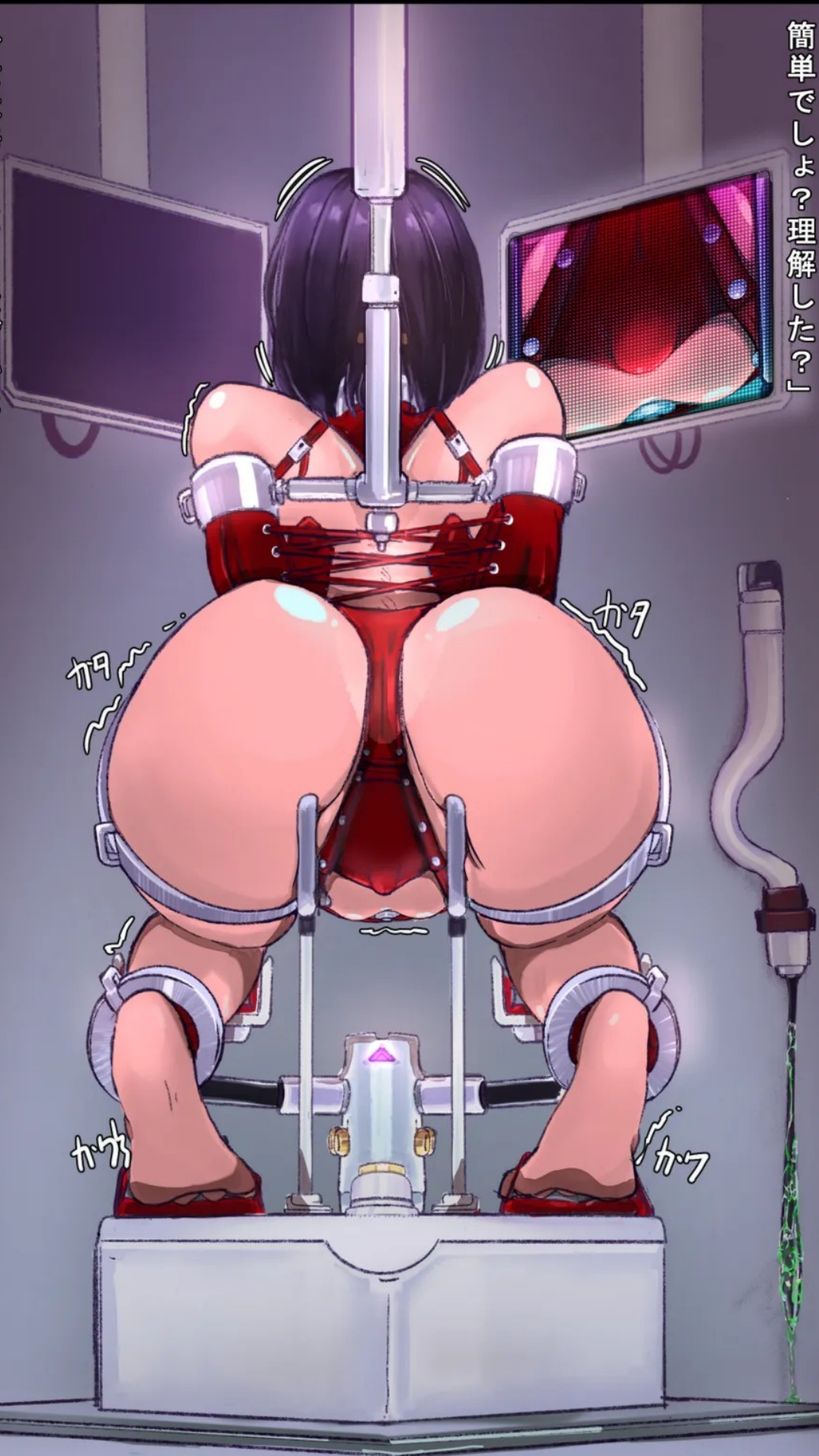
少女は辛うじてうなずいた

わけの分からない画面と少し狭くて不便ではありますが

乗ってばかりいるのならつらいことはなかった

身体検査の時も恥ずかしいことばかり多かっただけ…

性感帯検査という妙な言葉だが、意外と単純に終わるかもしれないという期待があった



「はあ、先輩すみません
遅くなりましたね」

「気にするな、この時期はどの部署も人手が足りないから
来たついでに水分チューブを設置してくれるか」

「分かりました、どれどれ…
うわあ、この子ですか？」

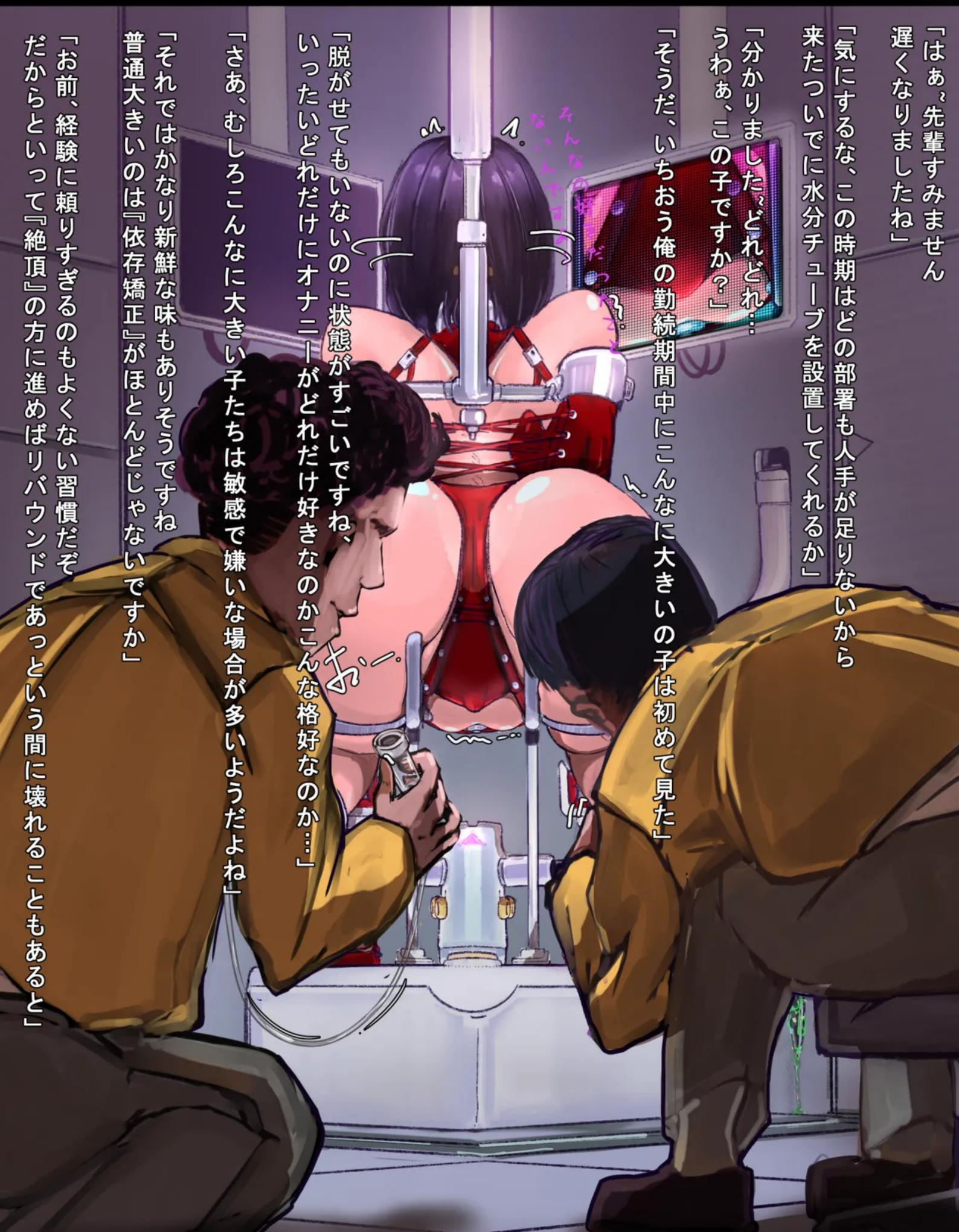
「そうだ、いちおう俺の勤続期間中にこんなに大きい子は初めて見た」

「脱がせてもいないのに状態がすごいですね、
いったいどれだけにオナニーがどれだけ好きなのかこんな格好なのか…」

「さあ、むしろこんなに大きい子たちは敏感で嫌いな場合が多いようだよね」

「それではかなり新鮮な味もありそうですね
普通大きいのは『依存矯正』がほとんどじゃないですか」

「お前、経験に頼りすぎるのもよくない習慣だぞ
だからといって『絶頂』の方に進めばリバウンドであつという間に壊れることもあると」



「そうです
最近、マンネリズムなので僕が軽率でしたね
すいません」

「5年目ならそれに値するぞ
体罰部や引受部の派遣もかなり興味深いと
喚起にびったりだぞ」

「そうですね」

「ただ、まだ先輩の下で習うのがもっと好きです」

「へえ、すく泣いてる
先輩、できました」

「そうが
それでは先に着替えなさい」

「りょうかい」

恥ずかしさと混乱に腹が空いたのも知らなかった
普段ならぐうぐう音がするのが恥ずかしかったと思いますが、
今はどうでもよかった

朝目覚めた後、今まで口に入ってきたのは、
ややねっとりした水のようなものをくつわを通じて注入しただけだった
口の中をいっぱい満たすだけでは足りず、
首の内側まで何かがいっぱいになった
感じて水が入ってくる時は慌てたが、何とか乗り越えた



「じゃあ開封してみようか？」

プチプチ
プチプチ

「ぷんぷん……おんぷんぷん……」

お尻の割れた隙間に見知らぬ手がかかすめる感じと共に画面に手のように見えるのが通り過ぎるのを見て……

(ま、まさか……?)

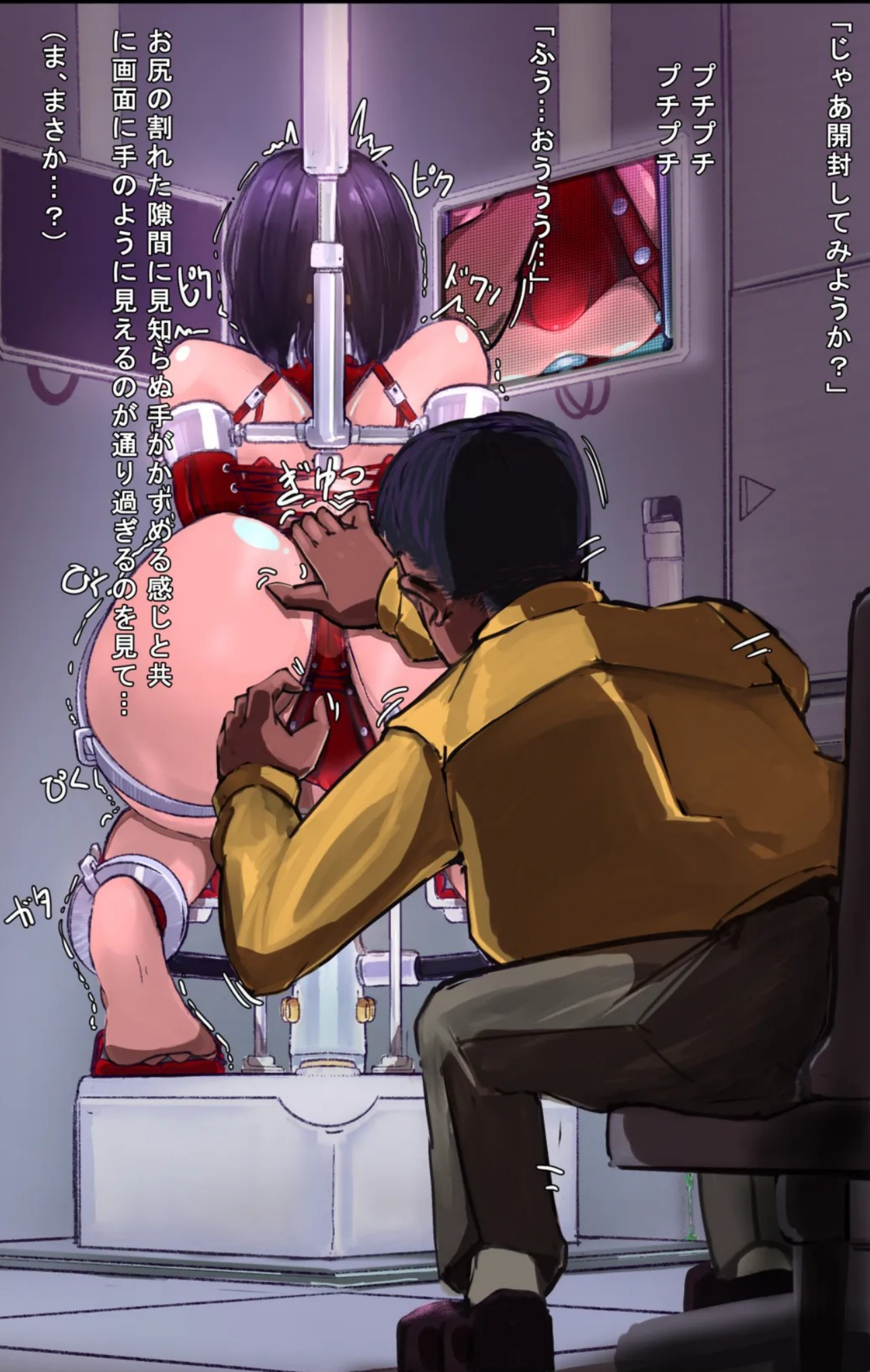
少女は感触とともに悟った

画面は自分の股間……いや、陰核部位をクローズアップしていた

不格好に飛び出したのは、

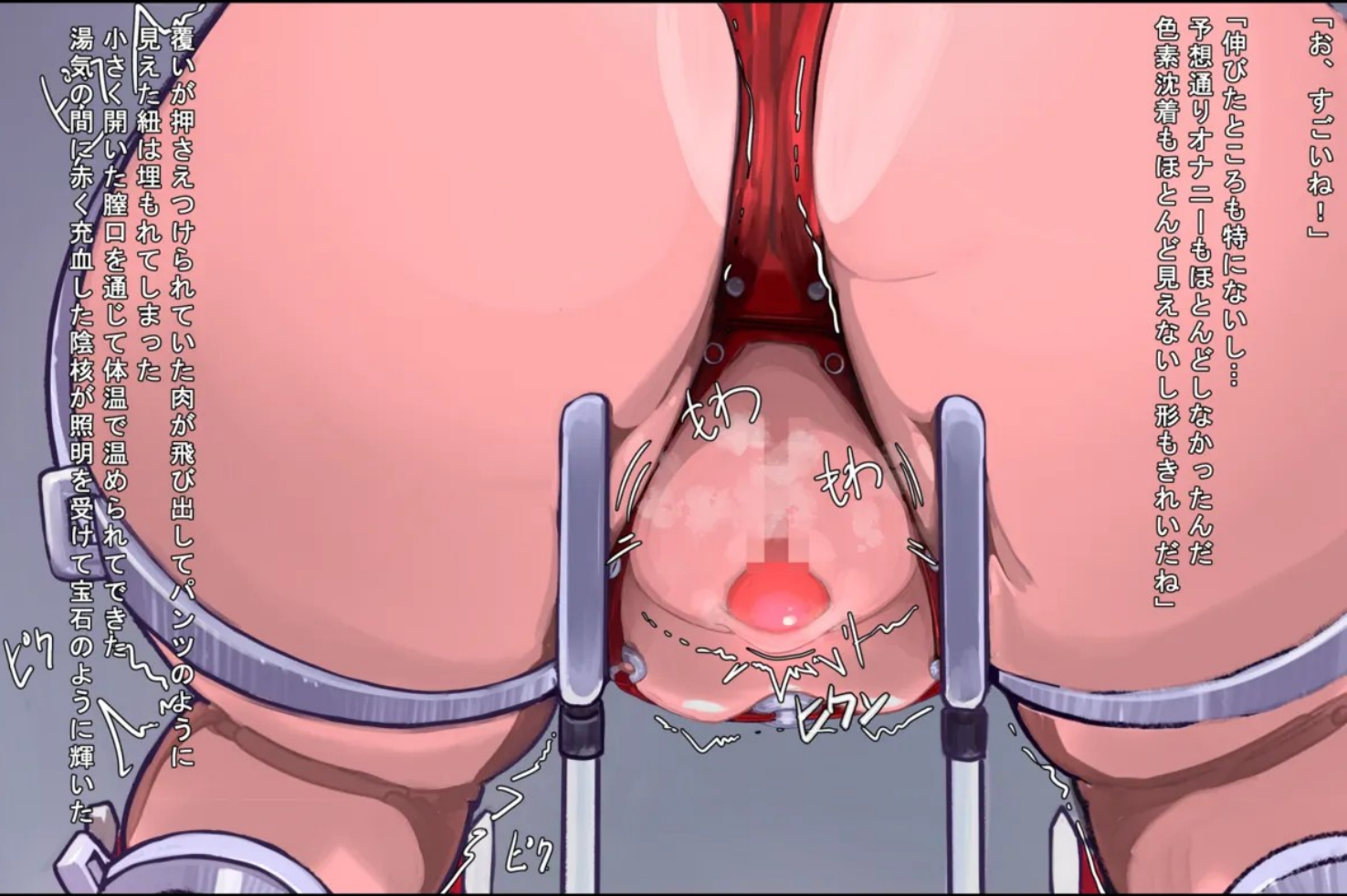
自分の最大コンプレックスであるクリトリスが薄い布越しに膨らんでいたためだ

こんな格好で今までずっと……それより……録画まで……



「お、す「いねー」

「伸びたと「るも特になしし…」
予想通りオナニーもほとんどしなかったんだ
色素沈着もほとんど見えないし形もきれいだね」



「覆いが押さえつけられていた肉が飛び出してパンツのほうに
見えた紐は埋もれてしまった」

「小さく開いた膣口を通じて体温で温められてできた
湯気の間は赤く充血した陰核が照明を受けて宝石のように輝いた」

「今度の件は完成度が相当だろうね」

少女のクリトリスは少なくとも成人男性の親指より大きかった皮に少し埋まってはいるが、輪郭から普通ではなかった

「オナニーさえあまりしなかった証拠だぞ

クリだけで遊んだ子たちもこんなにきれいではないぞ

小陰唇はほとんど見えないくらいだね

あえて挙げると肥満1度だからか大陰唇がかなりふっくらしてる」

「促進剤を使ってもこれくらいまで回復しないじゃないですか」

「そうだある程度劣化するから、

これ思ったより調教所の歴史の一瞬を接するのかもしれないね」

称賛なのかセクハラなのか分からない話を聞いて恥ずかしさに小さく泣いた
こんなに詳しく見たことはないが、画面の中の肌は、
努めて隠してきたクリトリスに間違いなかった

「大きさも…息子の前の部分より大きいと思うんだけど…
うっ、でも…」



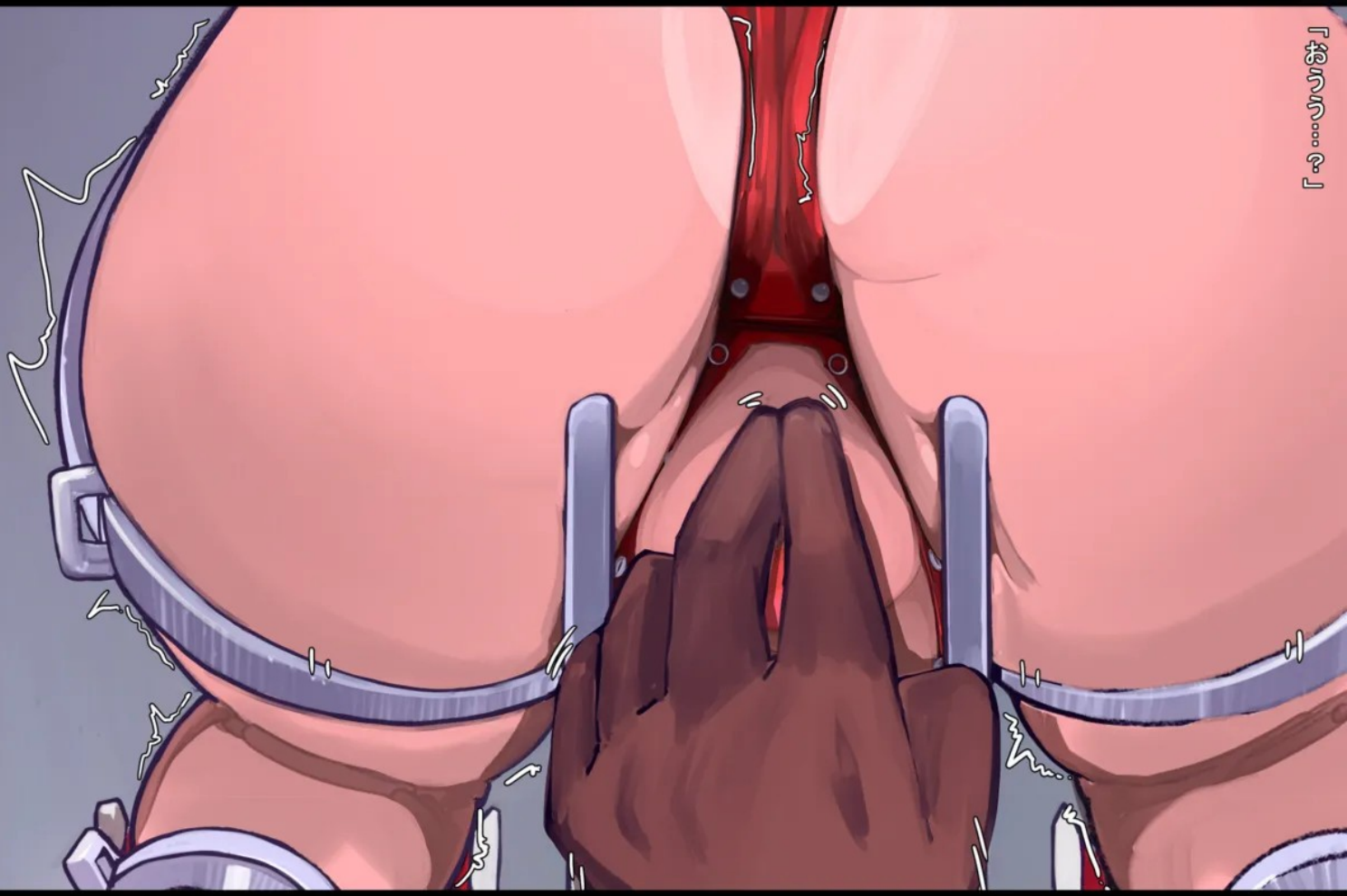
「くさいね…」

「そうですね
さっきから妙な臭いがすると言ってたんですが
おまんこの臭いですね」

あそここの匂いって何だよ…お風呂に入らなくて…

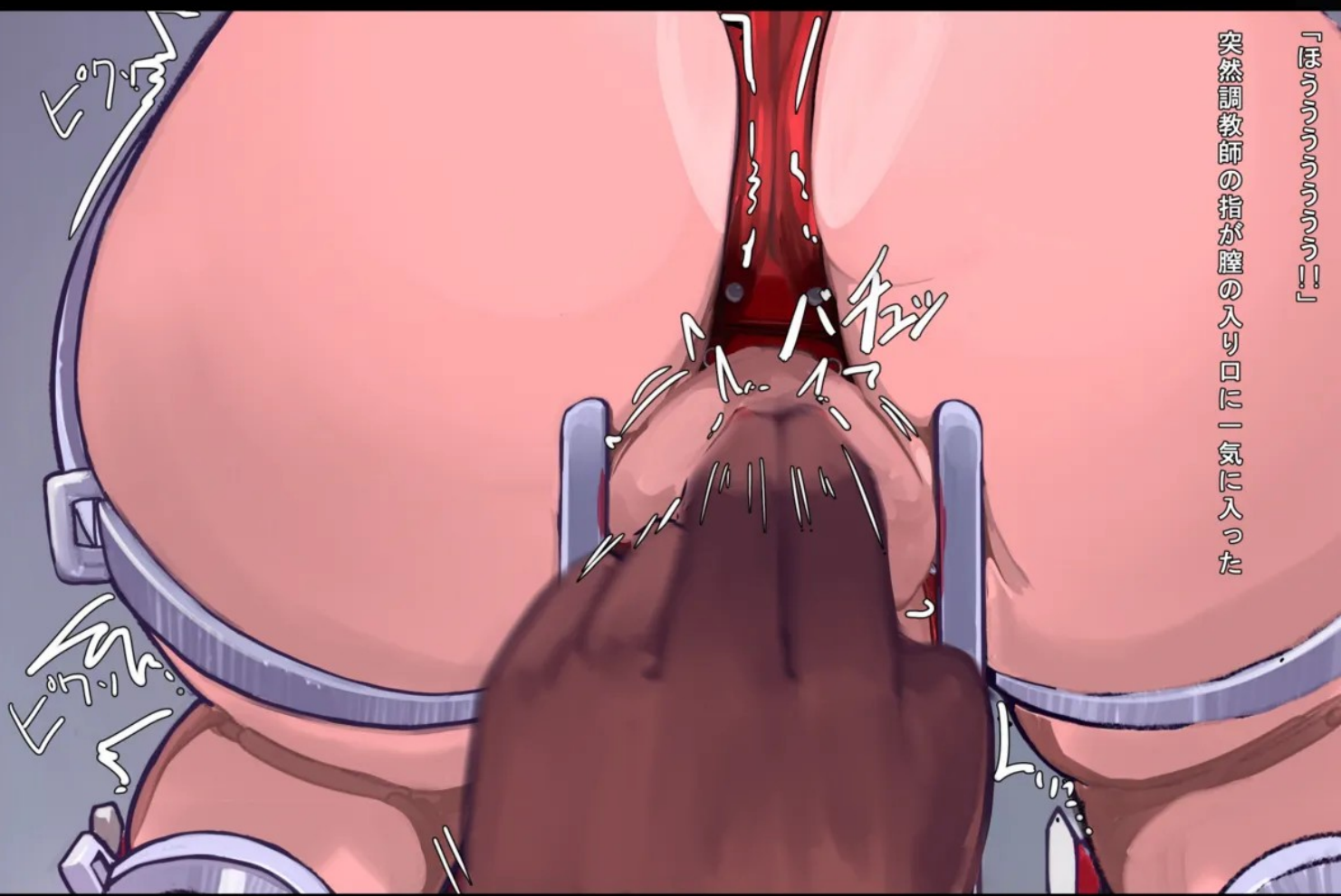
「まあ、この年ならよくあることだし、
オナニーをはばかるくらいなら管理も容易ではなかったはずだ
どれどれ…」





「ほらほらほらほら!!」

突然調教師の指が膣の入り口に一気にいった



「処女幕もきれいにしているね
形が…ニツ孔状処女膜ているのか」

「この子もディルドーで初めての経験ですね
と…るのでそのディルドーカウントがすいいですね」

「多分いくらにもならないと思う
沢崎さんが昨日形が崩れて新しいものに交換すると言ったんだ
これくらいの分泌物なら確かだね
小田、アジエンダに膣炎症を記入してぞ
詳しいことは医療局で確認するだろう」

「リょうから」



「確かだね
弱く石鹸の匂いが混ざったのを見ると、
あまりにもたくさん洗ったからだよ」

「76番、恥ずかしがる必要はない
調教を受けながらすぐ回復するだよ」

「ドッ」

「ヒクッ」

「そうだよ、これくらいなら大丈夫
ひどい子たちは防毒フィルターマスクをして
検査しないとイケないくらいだって
これくらいなら…不愉快だけど我慢できる」

「……おっ……おっ……」

「女の子に臭いなんて…不愉快とか…
毎度気にすることだったのに…
私の手で洗えただけでも…」



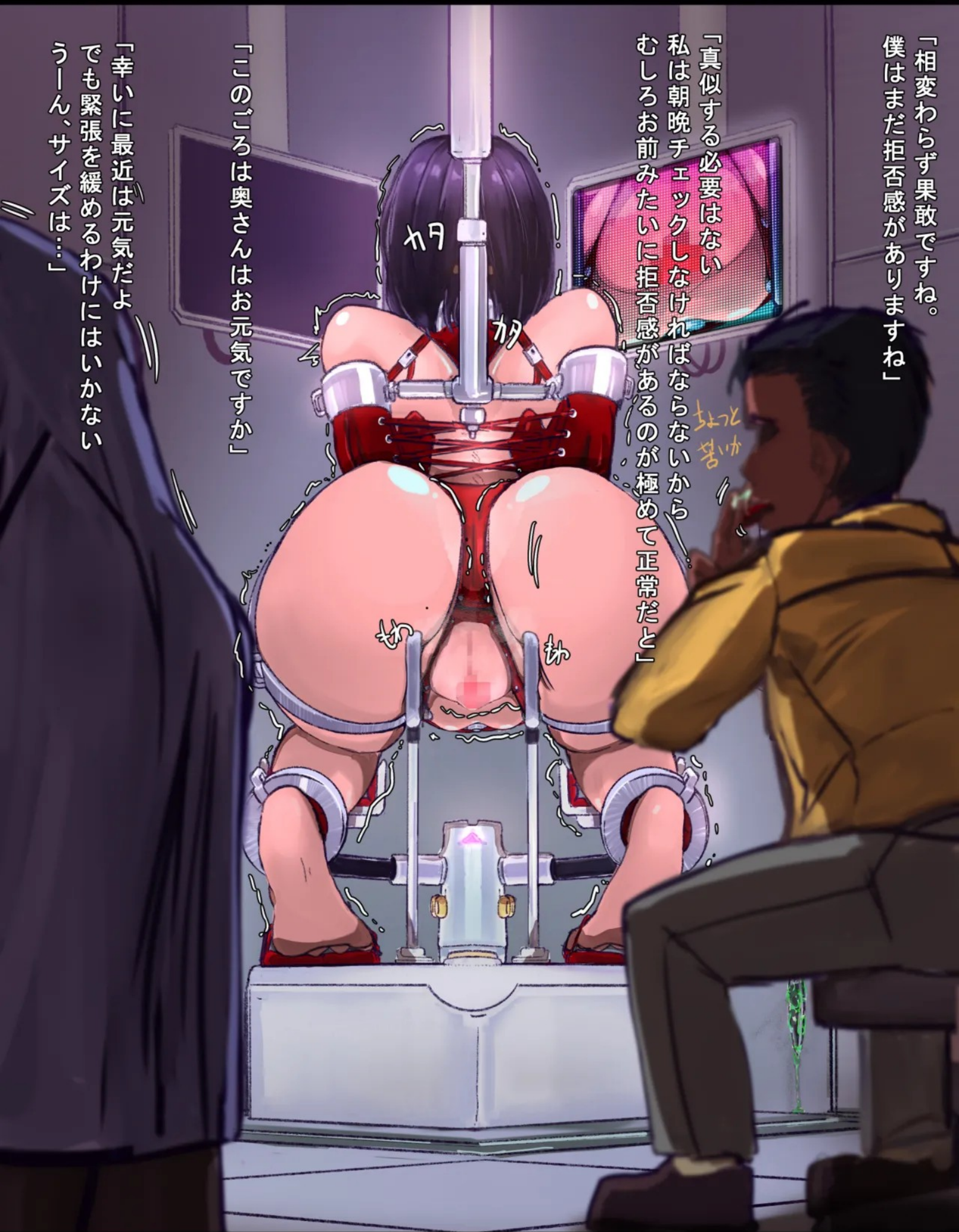
「相変わらず果敢ですね。
僕はまだ拒否感がありますね」

「真似する必要はない
私は朝晩チエックしなければならぬから
むしろお前みたいに拒否感があるのが極めて正常だと」

ちよと
苦いかな

「このごろは奥さんはお元気ですか」

「幸いに最近はお元気だよ
でも緊張を緩めるわけにはいかない
うーん、サイズは……」



「仕方なくE2を使わなければなりませんね
もっと大きいのは今懲罰局に全部貸与状態なので」

「とりわけに多かった・スぺアも補給しないと
ついでに成長を考えてE5級も研究所に依頼しなければならぬようだね」

「久しぶりに面白いことがあったと言いながら喜びそうですね
こちらです・E2級C-EID02です」

「検査しながらE2を使うのは久しぶりだね
76番、少し小さいかもしれないけど、どうせ同じくらいだと思っ」



Class E2 C-ETD02

E2級Clitoris-Electrical Torture Device

(陰核電気拷問器)

クリトリスに着用する器具 もっぱら電撃体罰のためだけに使われる。器具上段の固定部から始まった電流がクリトリスを通過し、中央針電極に流れていく構造だ。動いても不要なところには電気が流れないようにガスケットで絶縁処理が施されている。

器具の固定部はとげが内側に付いたリングのようにできている。この針は鋭くはないが、敏感な部分に使うには触れる面積が小さくて抜けないように固定するだけでクリトリスの根をトングで押したような痛みがある。

固定前にはリングが拡張されており、クリトリスを通過させる際にとげの部分が若干擦れる程度だが、位置を取ってボタンを押すと固定部がスライドして直径を減らす。

器具中央-極は固定部と同様に丸いけど、接触面積が小さく、かなり深く押すため、供出物の立場では驚くべき痛みを感じる。

器具の前の番号はサイズに対する番号で、一番小さいAからEまでである。後ろの番号は機器世代に対する番号だ。

過度に陰核を引っ張らないように大きさに関係なく重さは一定の方だが、クリトリスに吊るす重さとしてはかなりの方だ。装着が終われば、少し動くだけで痛みがあり、ほとんど大人しくなる。

機器に付いている溝はカテーテルや各種チューブを固定でき、供出物の動きで散らかるチューブをきれいに整理してくれる。



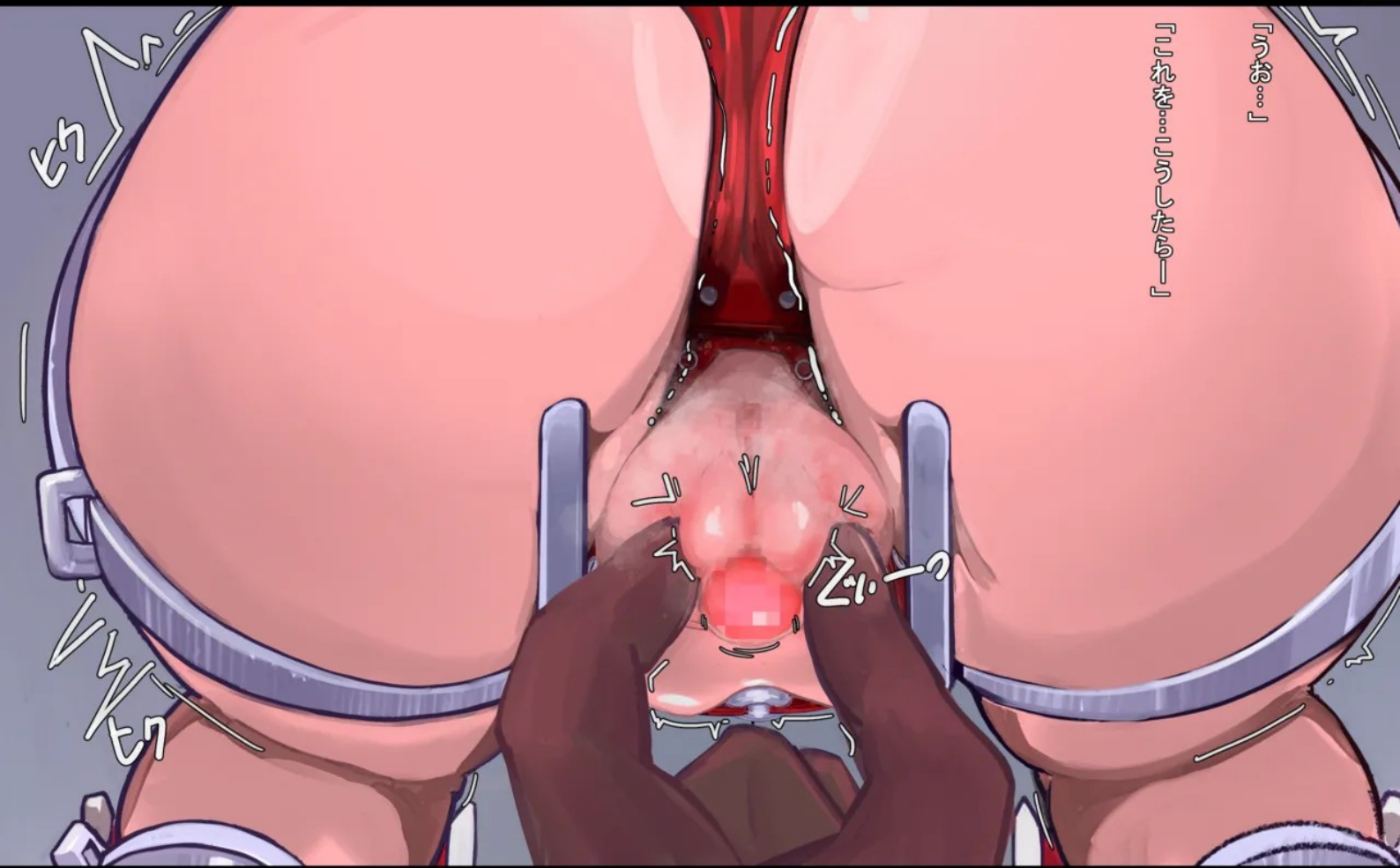


「76番、今から促進するよ
お尻をしっかりくっつけてじっとしてて」

何をどのようにという疑問が生じる前に、
ただ恐ろしいことが起きるといふことを体が先に気づいたのか、
一瞬縮こまった
昨日以降、「じっとしてて」という言葉の裏には、
そのようなことがほとんどだった。







「...さ...」

「...さ...」

「...さ...」

「...さ...」

「...さ...」



「もう勃起は終わったみたいだけど、皮だけ剥いてあげようか」
すべての感覚がクリトリスに集中しているようだった
肌を殴っていた寒さもほとんど感じられないようだった
ぞっとする気持ちで体を動かしてみようとしたが、
調教師の言葉を思い出してやっと引き締めた
できる抵抗とは首を回すことだったが、
それさえも首に挟まれた器具のために容易ではなかった

「それでも検査だからできると」るまではやってみないとね？」

「んんん…」

「これ以上何を…？」



クリトリスが消えたような痛みで頭の中が白くなった
反射的に頭が反って…
後頭部が固いものにぶつかる感じがしたが、どうでも良かった

「うわぁ……」

剥がれそうな痛みが続く
どうでもいいからつい… もう… いや… やだ…

ガッ

ヒク

ビク

ぐっ
んんん
んんん
んんん

続く痛みに尻を持ち上げてしまった。

「ふむ、76番はさっき言ったことが思い出せないみたい」

調教師はこのようなケースに慣れているのか、クリトリスを捕まえた指はもっと強く握った。

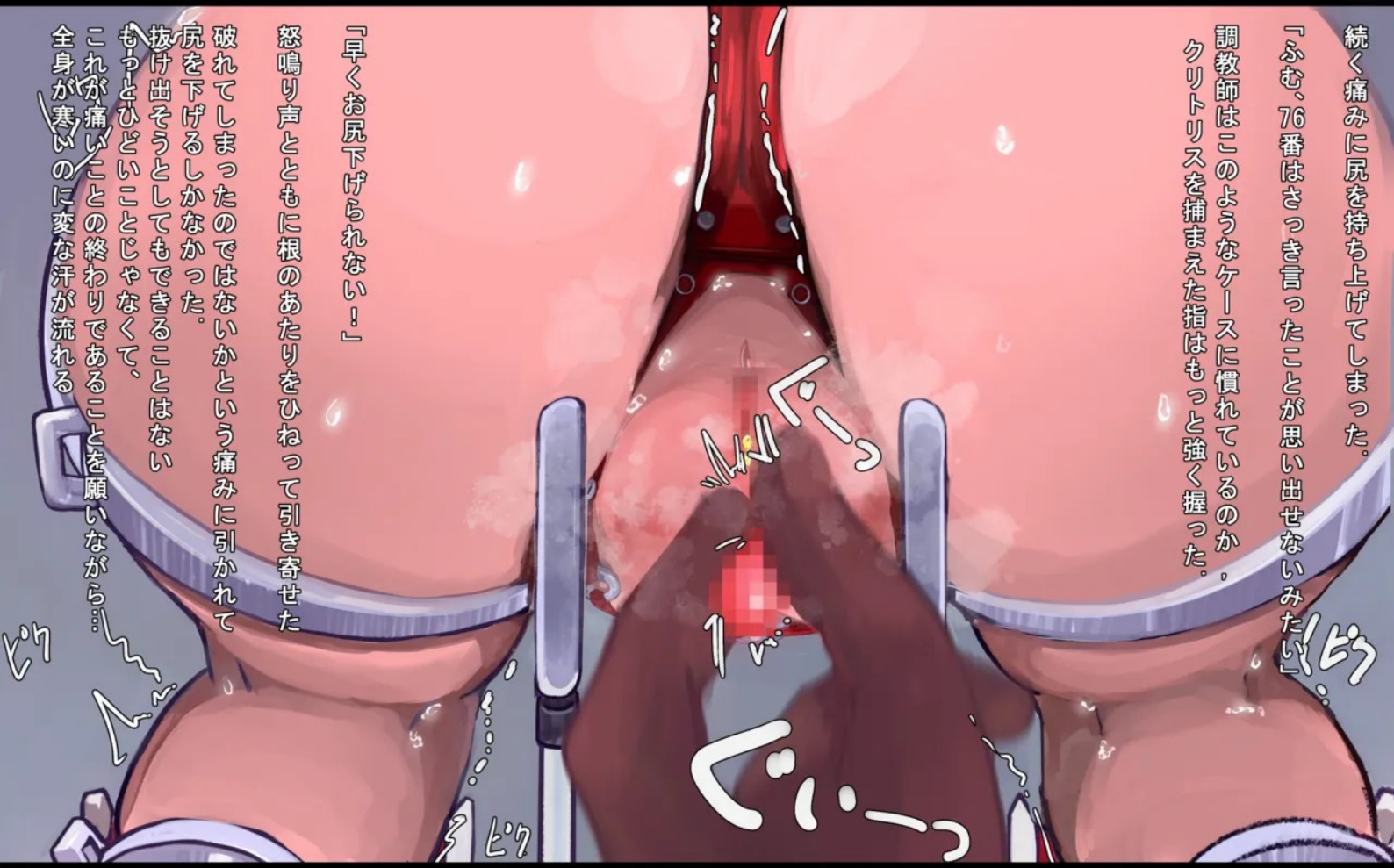
「早くお尻下げられない！」

怒鳴り声とともに根のあたりをひねって引き寄せた

破れてしまったのではないかとこの痛みで引かれて尻を下げるしかなかった。

抜け出そうとしてもできることはないもつとひどいことじゃなくて、

これが痛いことの終わりであることを願いながら…全身が寒いのに変な汗が流れる



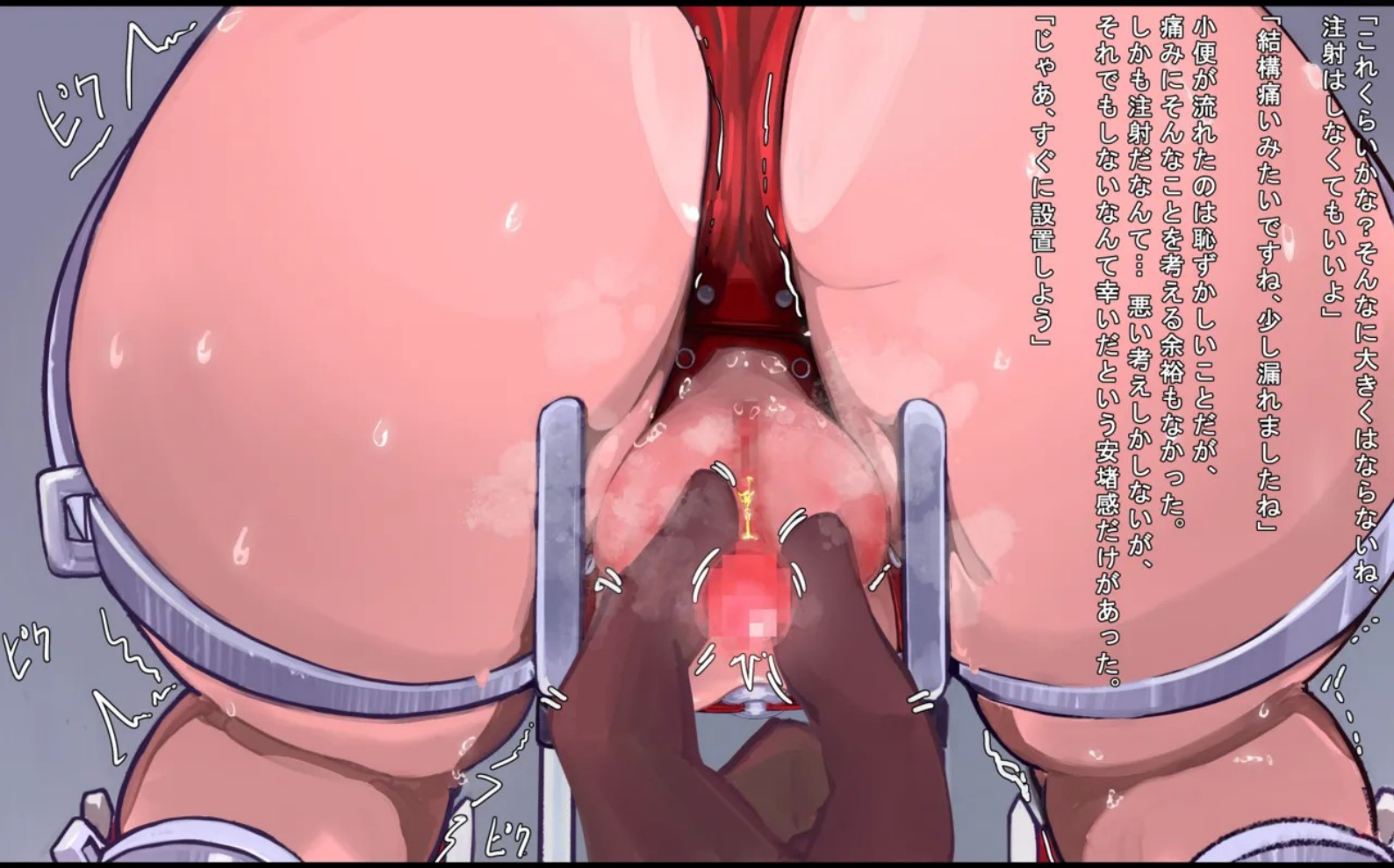
「これくらいかな？そんなに大きくはならないね、注射はしなくてもいいよ」

「結構痛いみたいですね、少し漏れましたね」

小便が流れたのは恥ずかしいことだが、痛みにそんなことを考える余裕もなかった。

しかも注射だなんて…悪い考えしかないが、それでもしないなんて幸いだという安堵感だけがあった。

「じゃあ、すぐに設置しよう」



「これからEEDを設置するんだけど、さっきみたいにお尻を離したら覚悟して

心の中では覚悟はしていたが、先ほどのような痛みなら耐えられる自信がなかった普段、シャワーを浴びているときにすれ違ふときにもびっくりするのですが、そこを手で力強く握ってしまふなんて…
変に流れた汗が冷えて体が震えるのに、あそこはまだ暖かく感じられた

そんなに大きくはないけど、この程度ならE2も大変かもしれないね

当分はまあ仕方ないね、明日にでも貸したもののなかで変えられるものがあるか調べてみないと

設置が終わったら連絡してみます懲罰よりは調教の方が優先ですからね

画面にはあそこが赤裸々に映っていた
鏡でも使わないと見えなかったところが…
これも…録画まで…あそこに流れていたのは汗ではなく、
おしっこだったようだ。恥ずかしくて逃げ出したかった



画面の中に変な器具が入ってきた。
どのように使うのか想像もつかないものだが、
ちらっと見えた黄色い注意マークだけが目に入った
何で感電注意マークが…何で…?

これをお前の
クリにセットするんだ

ふむ、
たくさんきついけど、
それでも我慢して

きつくて…こんな意味だったの…？
敏感なところにザラザラとした肌触りが感じられた
画面の中には器具を持った手が…あそこを…



フ…フ…びん…

ざっと見ても小さかった
しかもあの突起は…
小さいから入らないって言いたいけど、
口からは泣き声に近いうめき声しか出なかった
首を振ってみたいけど、
首に巻かれた道具が締め付けられるので難しい

すぐに終わらせるから
少しだけ我慢して

よし、いい子だ、
もうすぐ終わりだ

先ほどがぎゅっとつまんだような感じだったのなら、
今はあそこを冷たい錐で引っ掻くような感じだった
はつきりと感じられる突起の一つ一つが氷のように冷たかった
熱くなったあそこがあったという間に冷えて、裂けそうだった
お尻を持ち上げてはいけないと言われ、
目をぎゅっと閉じて耐え難い悲鳴を上げるしかないだ...

ウズウズ
カクカク

はあ、突起が
クリトリスを
突き刺しすぎて、

これは明日すぐに
交換しなきゃ
下手すると
傷ができそう

E3でいいですか？

いや、E4と交換して
E5 / E6 リクエストも一緒に
入れてくれ





痛い...痛いよ...すぐ終わるって言ったで...
あそこが裂けそう...ひねらないでください...

「これを...」
「うしたる...」

クワッ

もう大丈夫よく頑張った、明日からはこんなに痛くならないよ

はあ...あ...明日からなんで...またこんなひどいことを...?

うわー、はめたらまた大きくなりましたね

E4もギリギリだろう、これを抜くときは潤滑剤がないとダメだな

E4級は確保しておきました
4班で『亡失処分』されたものがあって、残ったものがあるそうです
E4/E5のリクエストはまだ返事がありません...

あ、ちよっと待ってください

はい、調教局の小田です

4班で、E4を使ってるのに『亡失処分』ならあれか
まあ、2週間は長持ちしたけど



はい…はい…はい…
はい、今回入ってきたんですけど、
E2もギリギリ入りました、
測定サイズは27.1137.2…

いいえ、成長剤投与前です
今日からアナル性感帯検査が
始まりました…

いやあ、私たちもびっくりしましたよ
はい…はい、わかりました、お疲れ様です

あーあ、先生、
あの時言っただじゃないですか、
私はまだ現業がいいですよ

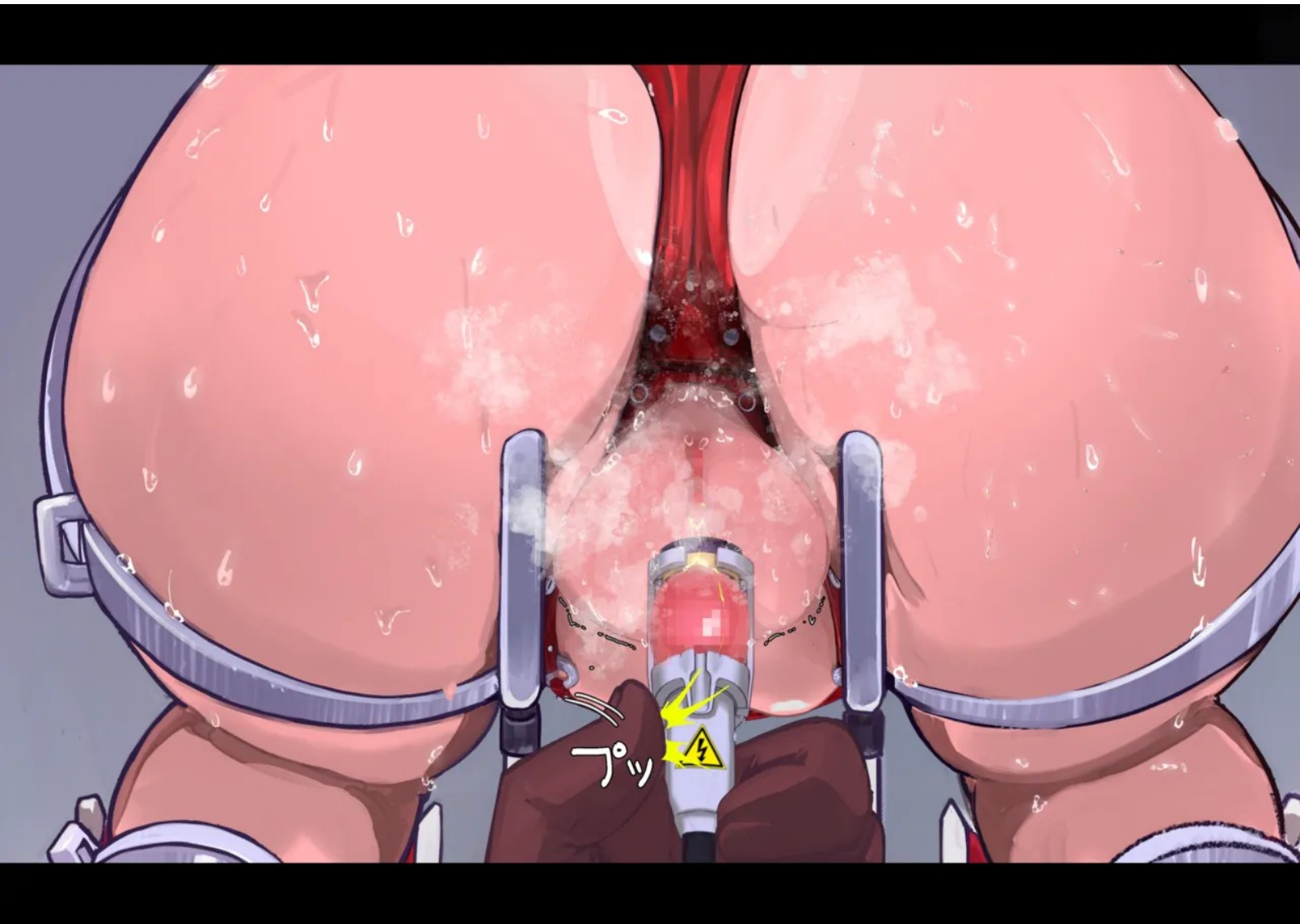
はい、はい…
いつかお食事行きましょう、
それでは失礼します

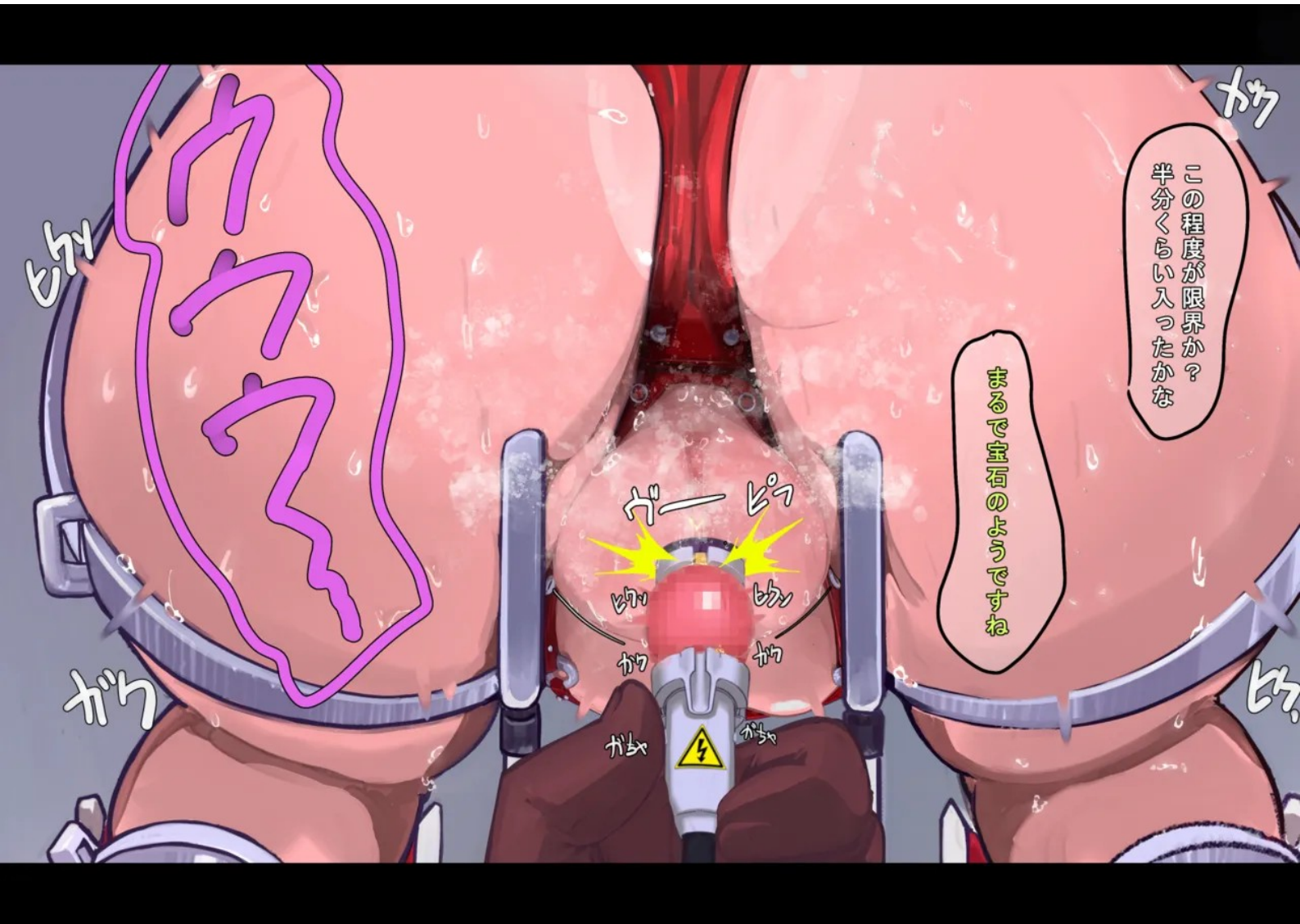
博士が何て言ってた？
また研究所のスカウトか？

何時ものことですね、ああ、E2Dは
E8までやってくれるそうです

役立たなくなったら、
拷問器具展示館にでも
置いておけと言われましたね

そね、それ着るものあるかなーって思うんだけど、
さすがにこれが展示館になるまでは難しいかなー





この程度が限界か？
半分くらい入ったかな

まるで宝石のようですね

ガク

ガク

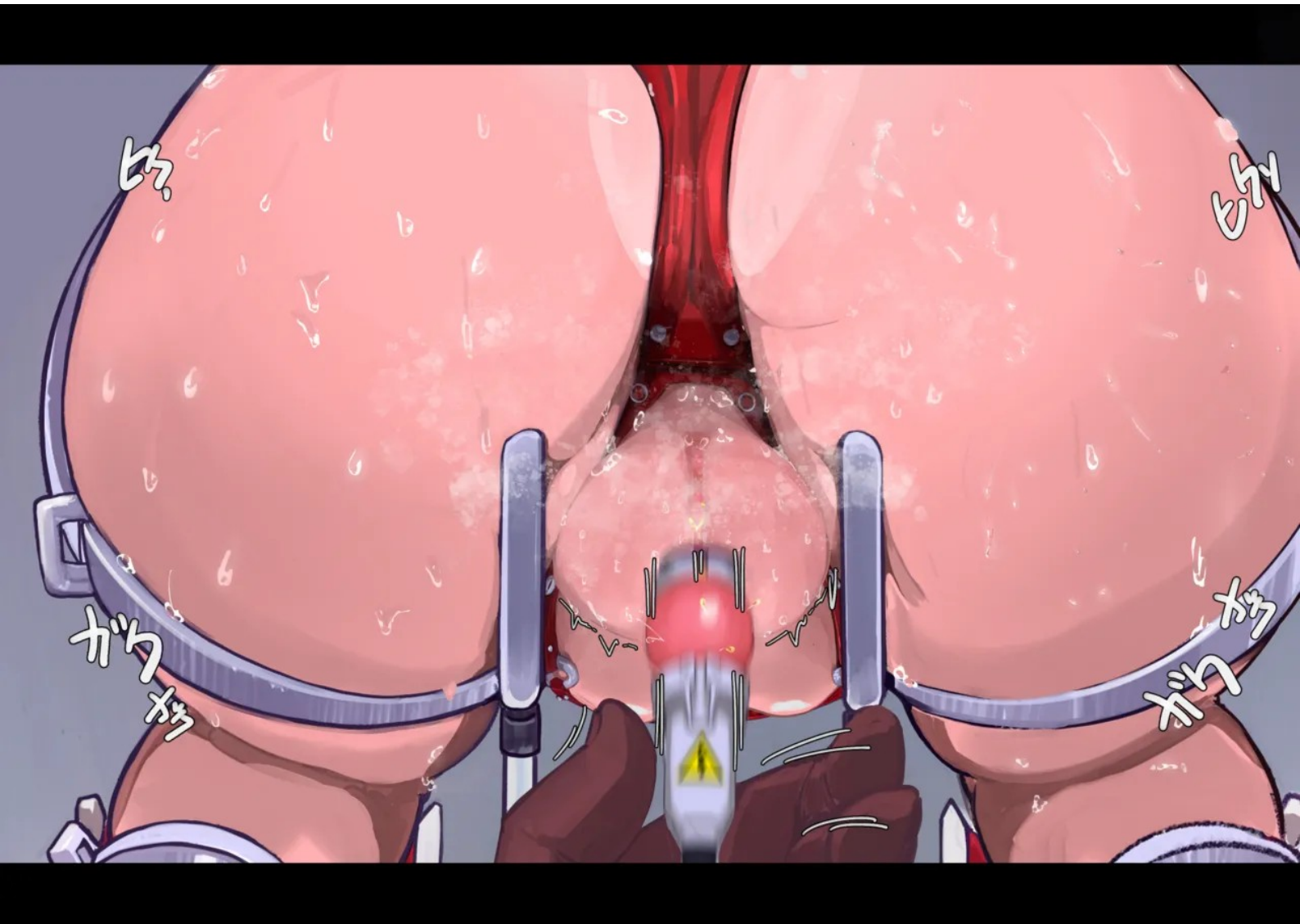
ガク

ガク

ガク

ガク

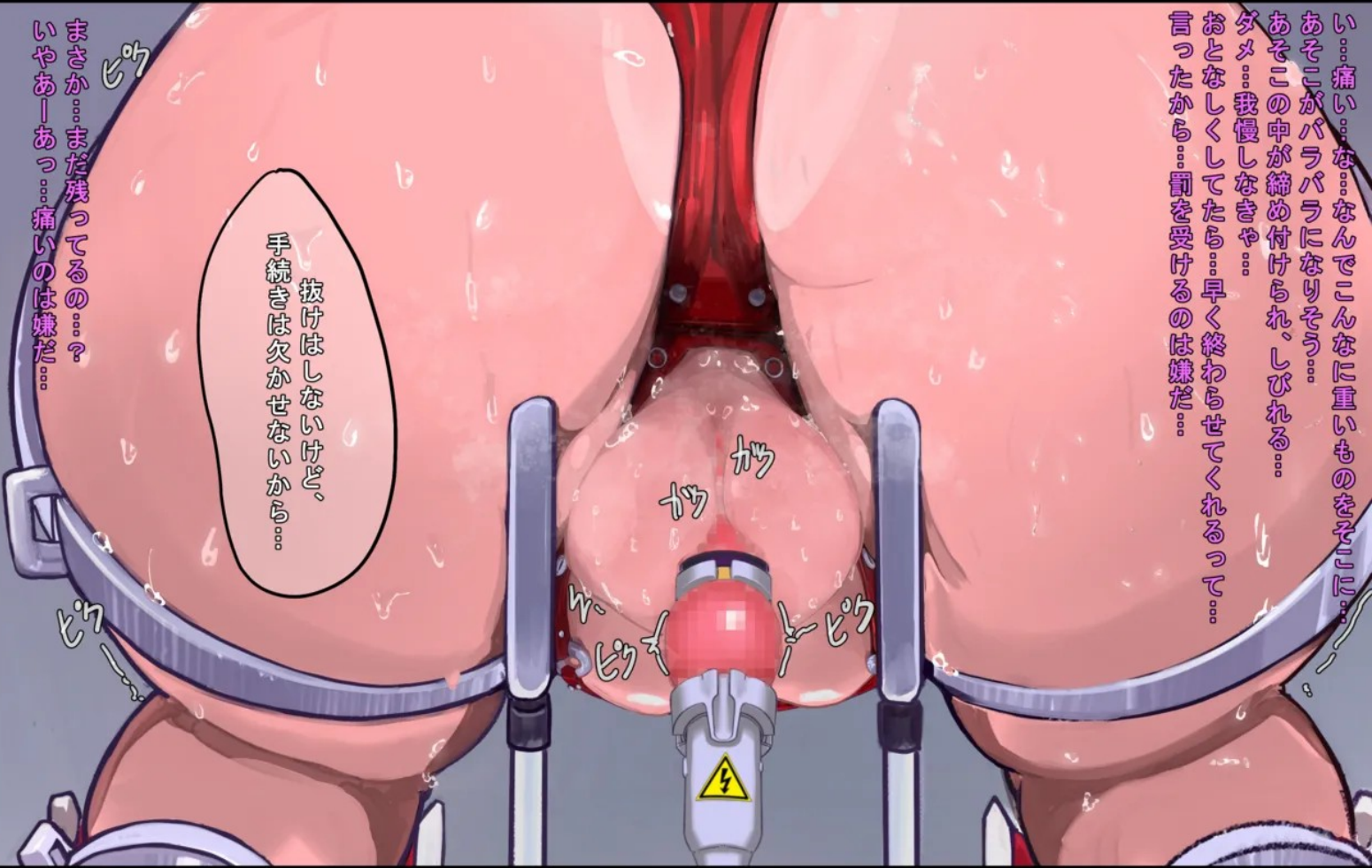
ガク
ガク
ガク
ガク

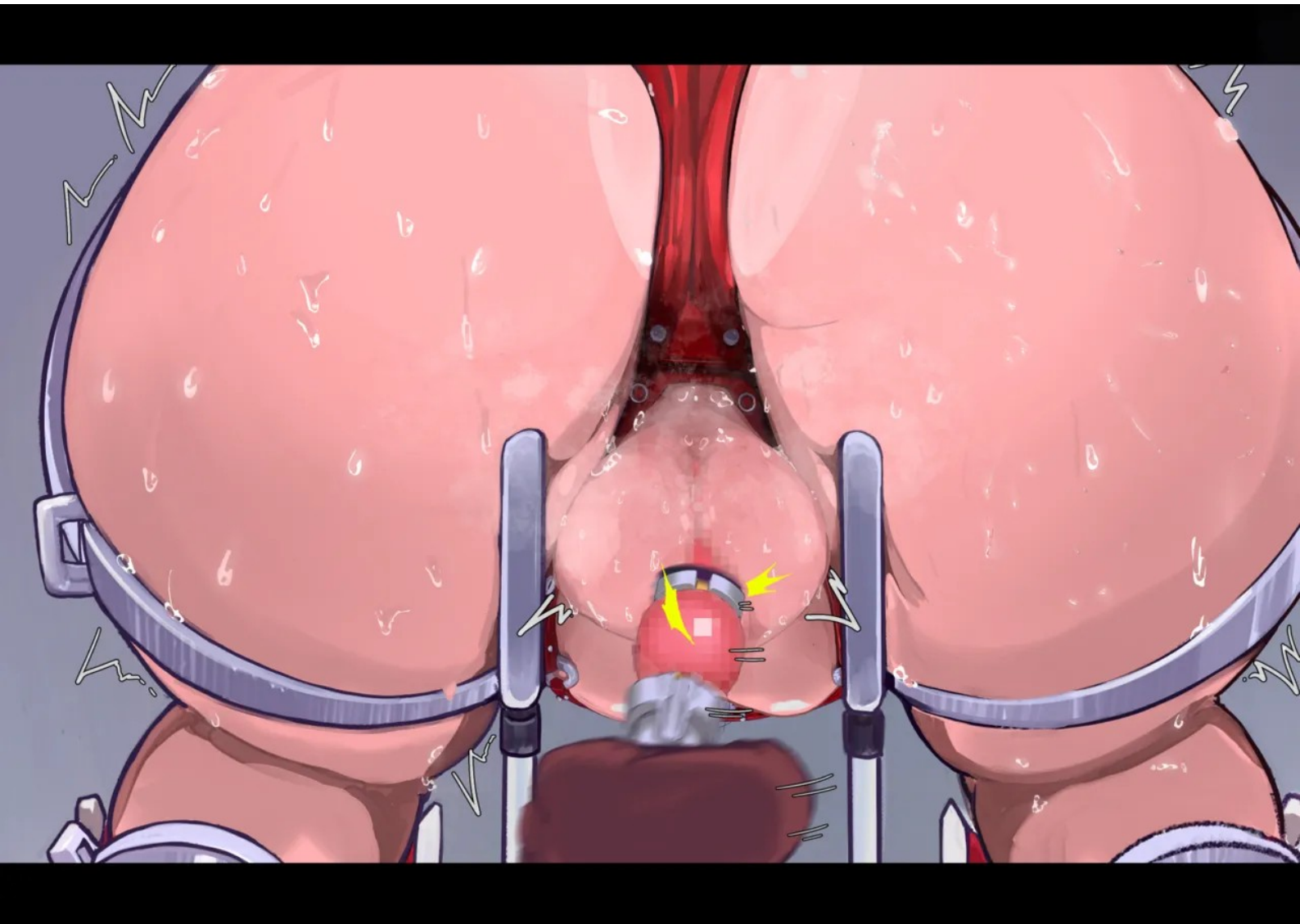


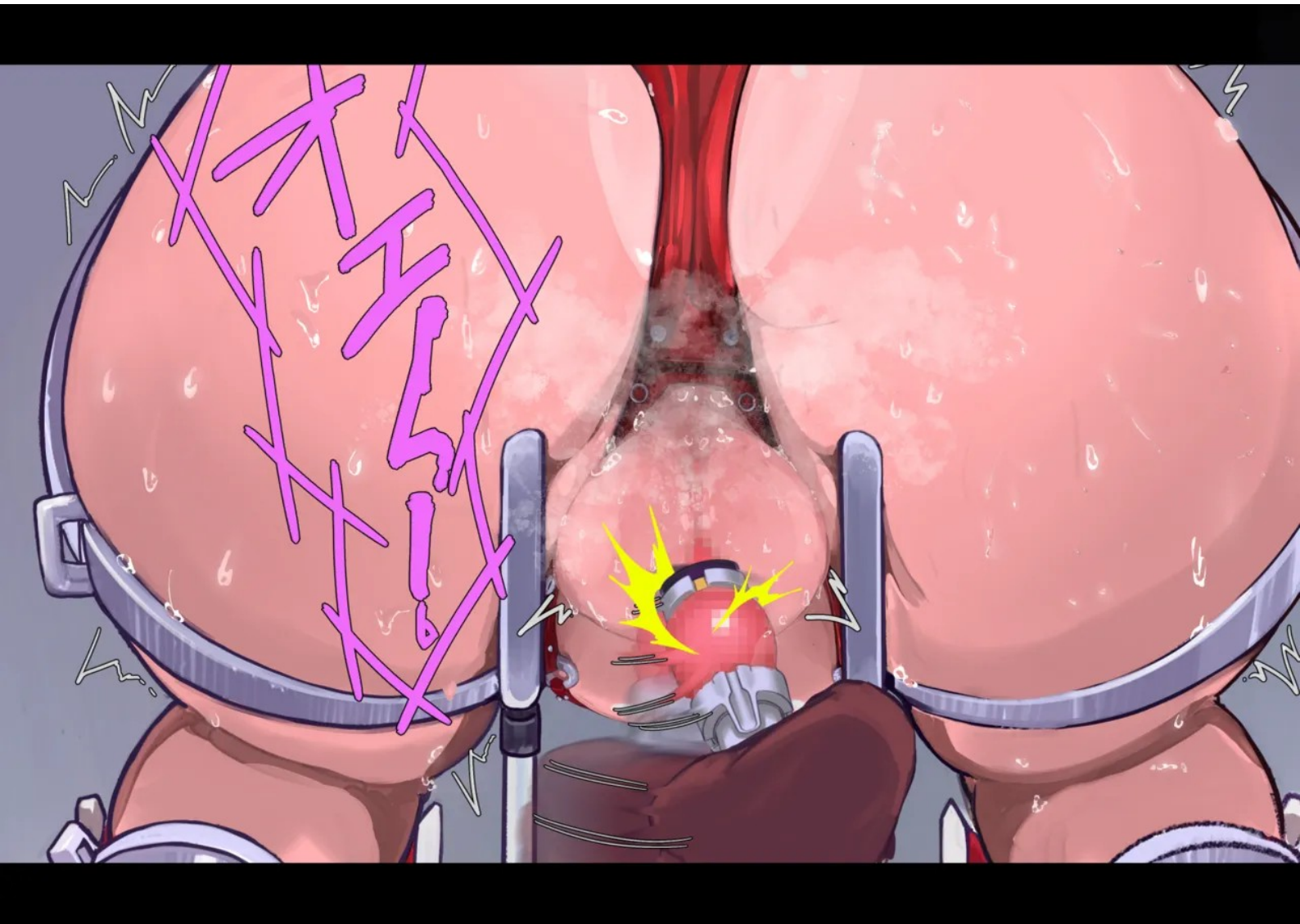
い…痛い…な…なんでこんなに重いものを…
あそこがバラバラになりそう…
あそこの中が締め付けられ、しびれる…
ダメ…我慢しなきゃ…
おとなしくしてたら…早く終わらせてくれるって…
言ったから…罰を受けるのは嫌だ…

抜けはしないけど、
手続きは欠かせないから…

まさか…まだ残ってるの…？
いやあーあつ…痛いのは嫌だ…







よくぶち下がっていいね

念のため言っておくけど
この程度だと君の
クリトリスが
裂けるまで落ちない

また、合うサイズを
使っても締め付け
感や重さは変わりないぞ

出荷前まではほぼ
毎日一緒に行くパートナーなので、
慣れておいた方がいいだろう

慣…なれる…?あるのか…?
こんなに痛いのが…?
この… 程度が毎日なら…?

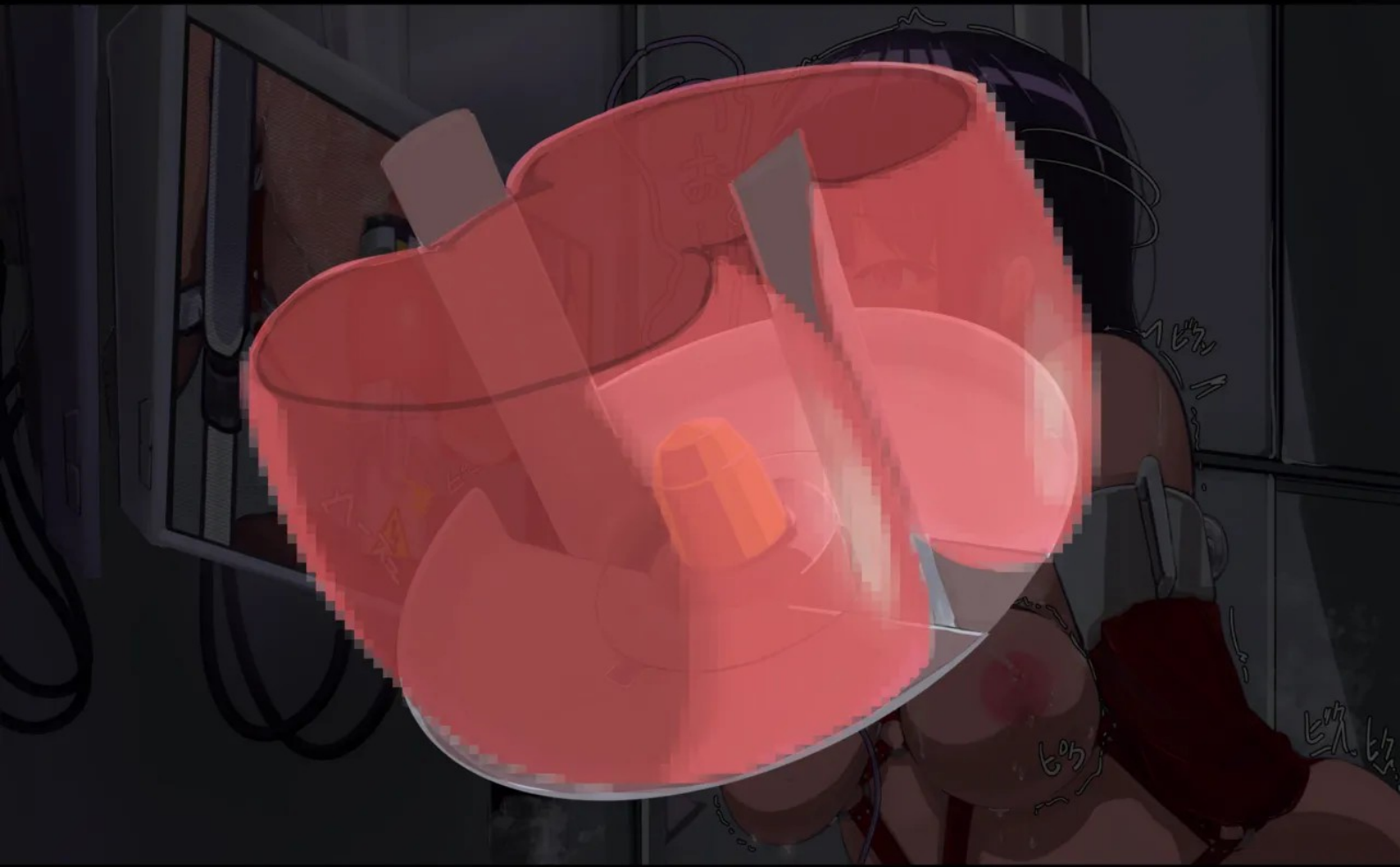
最後に…

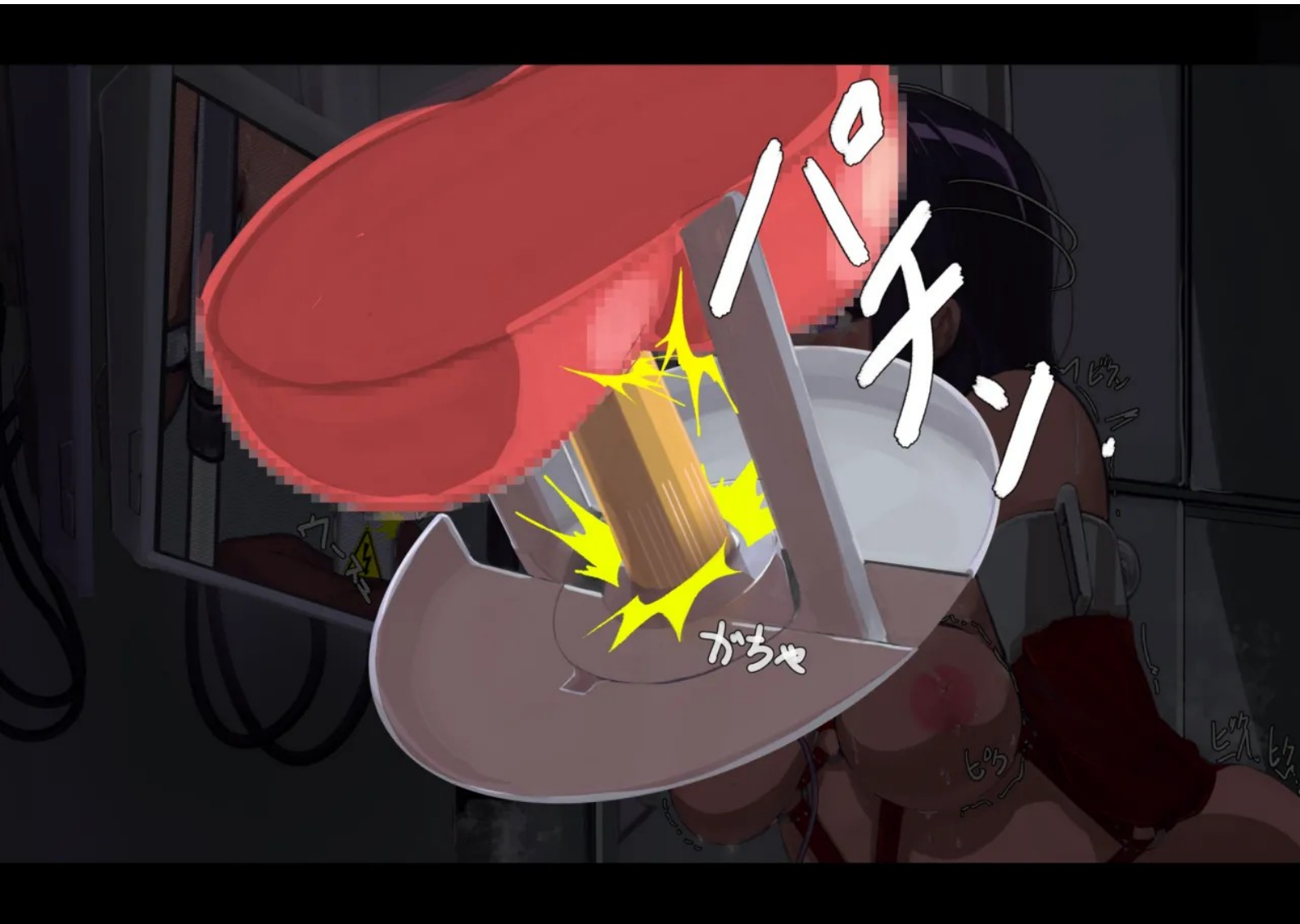
…すぐ終わるってのはきつと嘘だ…
何が残ってるんですか…

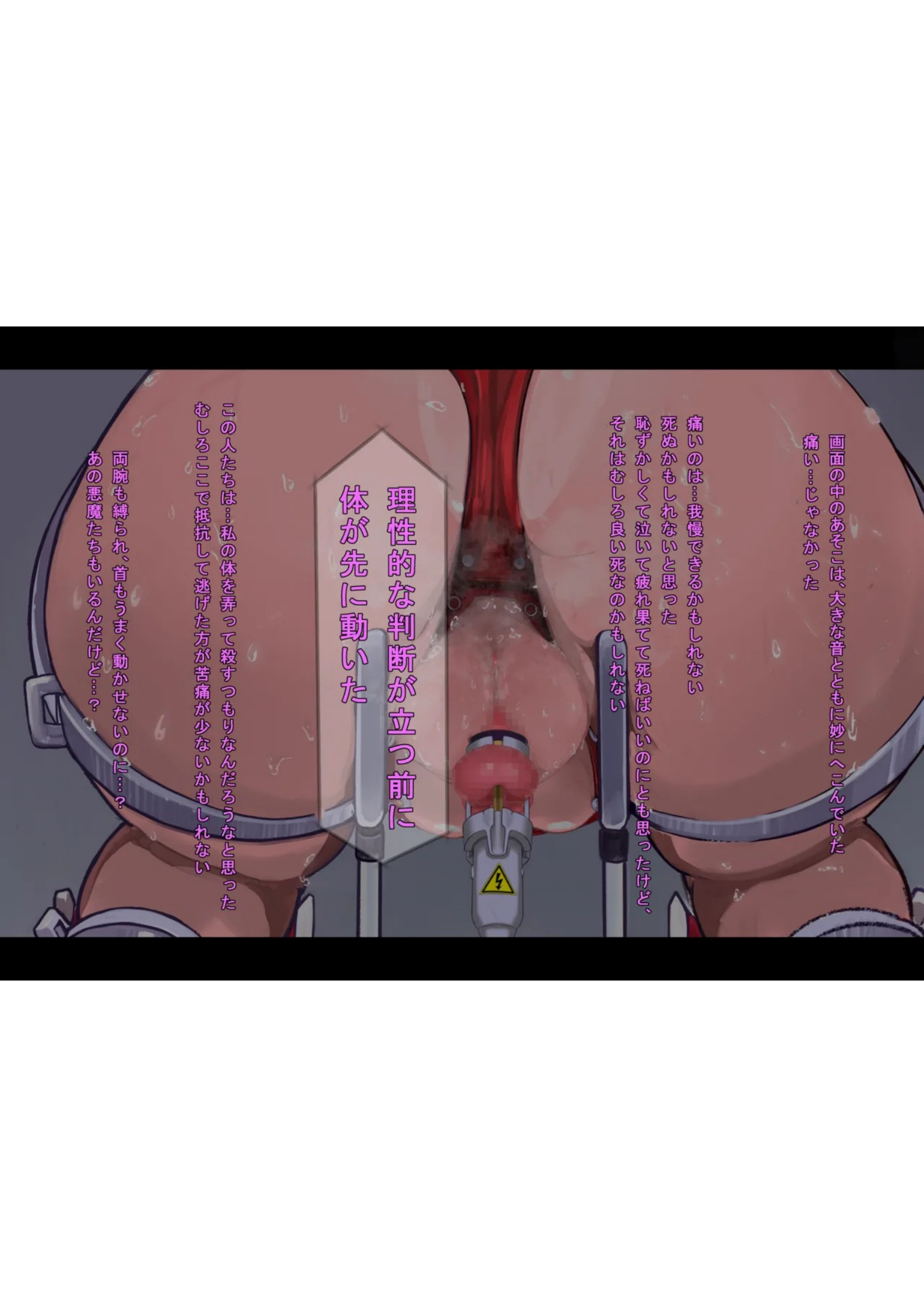
電極を接続するよ
これはかなり痛いけど、
よく我慢しよう

…かなり…痛い…っ…いや…やだ…
痛いのは…もお…痛いのやばす…









画面の中のアそこは、大きな音とともに妙にへこんでいた
痛い…じゃなかった

痛いのは…我慢できるかもしれない
死ぬかもしれないと思った
恥ずかしくて泣いて疲れ果てて死ねばいいのにも思ったけど、
それはむしろ良い死なのかもしれない

理性的な判断が立つ前に
体が先に動いた

この人たちは…私の体を弄って殺すつもりなんだろうなと思った
むしろここで抵抗して逃げた方が苦痛が少ないかもしれない

両腕も縛られ、首もうまく動かせないのに…？
あの悪魔たちもいるんだけど…？

この時も我慢する
ものはないですね

まあ実際そうなんだけど、
ちんちんをハンマーで殴る
レベルだけど

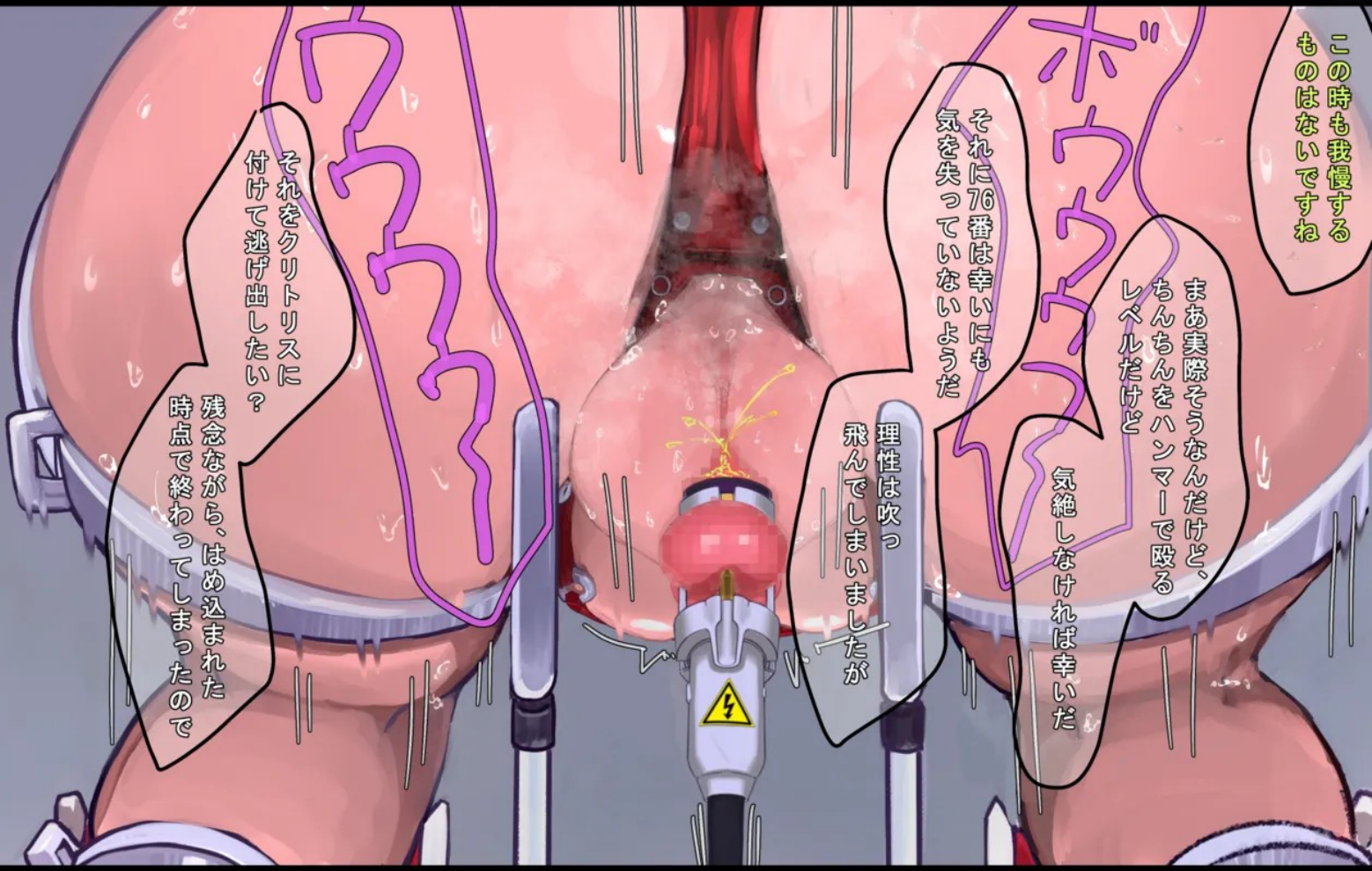
気絶しなければ幸いだ

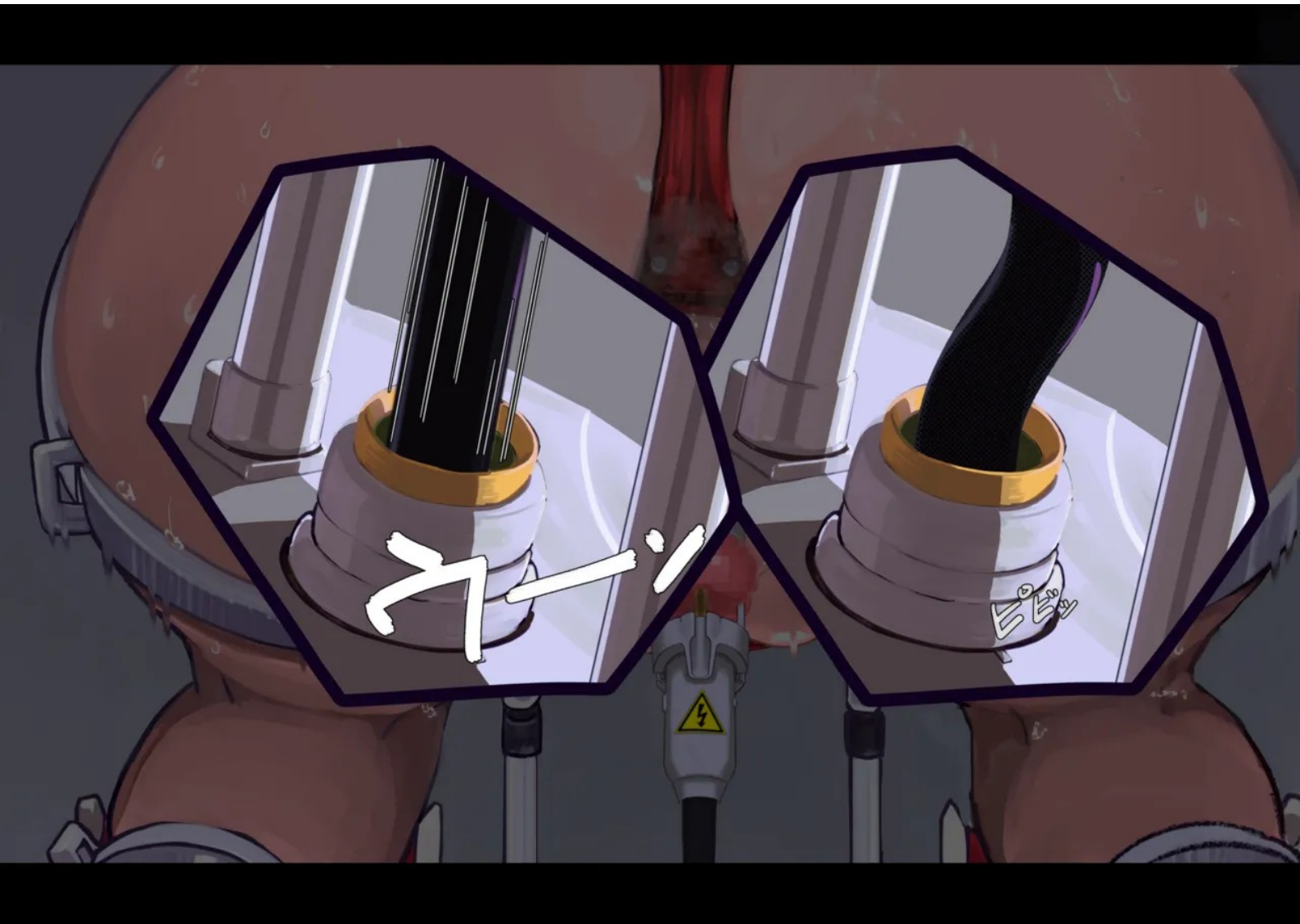
それに76番は幸いにも
気を失っていないようだ

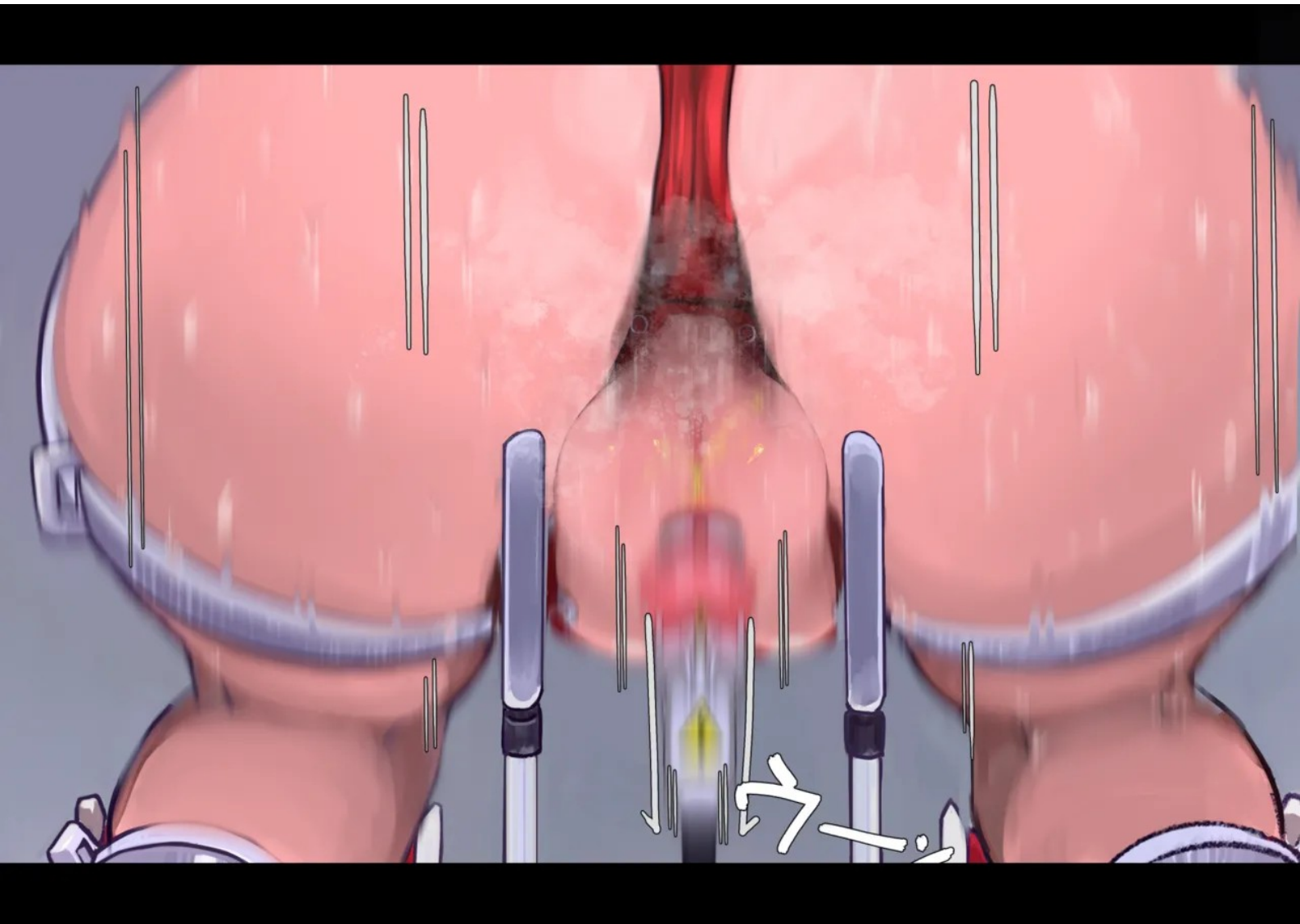
理性は吹っ
飛んでしまいましたが

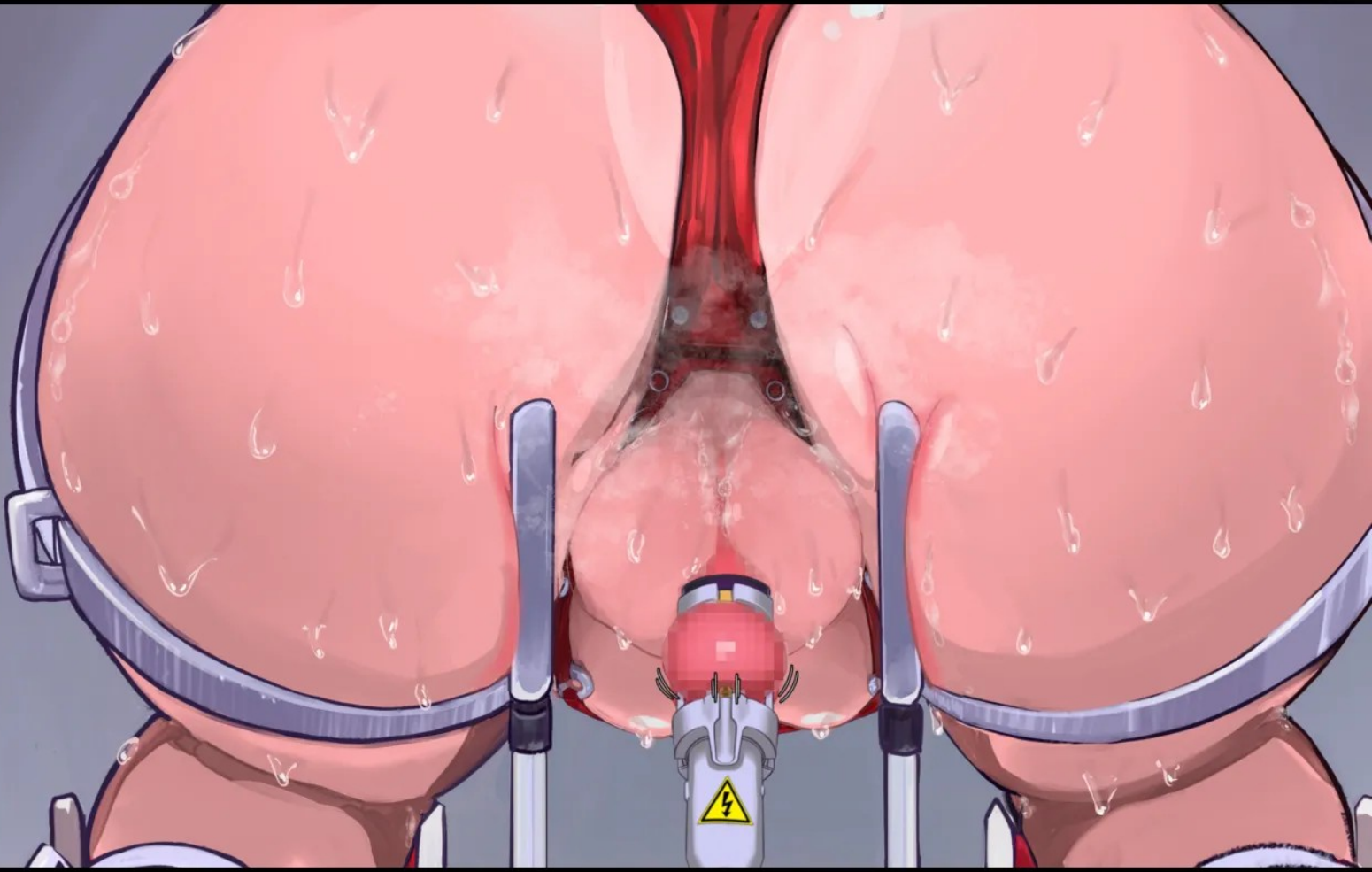
それをクリトリスに
付けて逃げ出したい？

残念ながら、はめ込まれた
時点で終わってしまったので









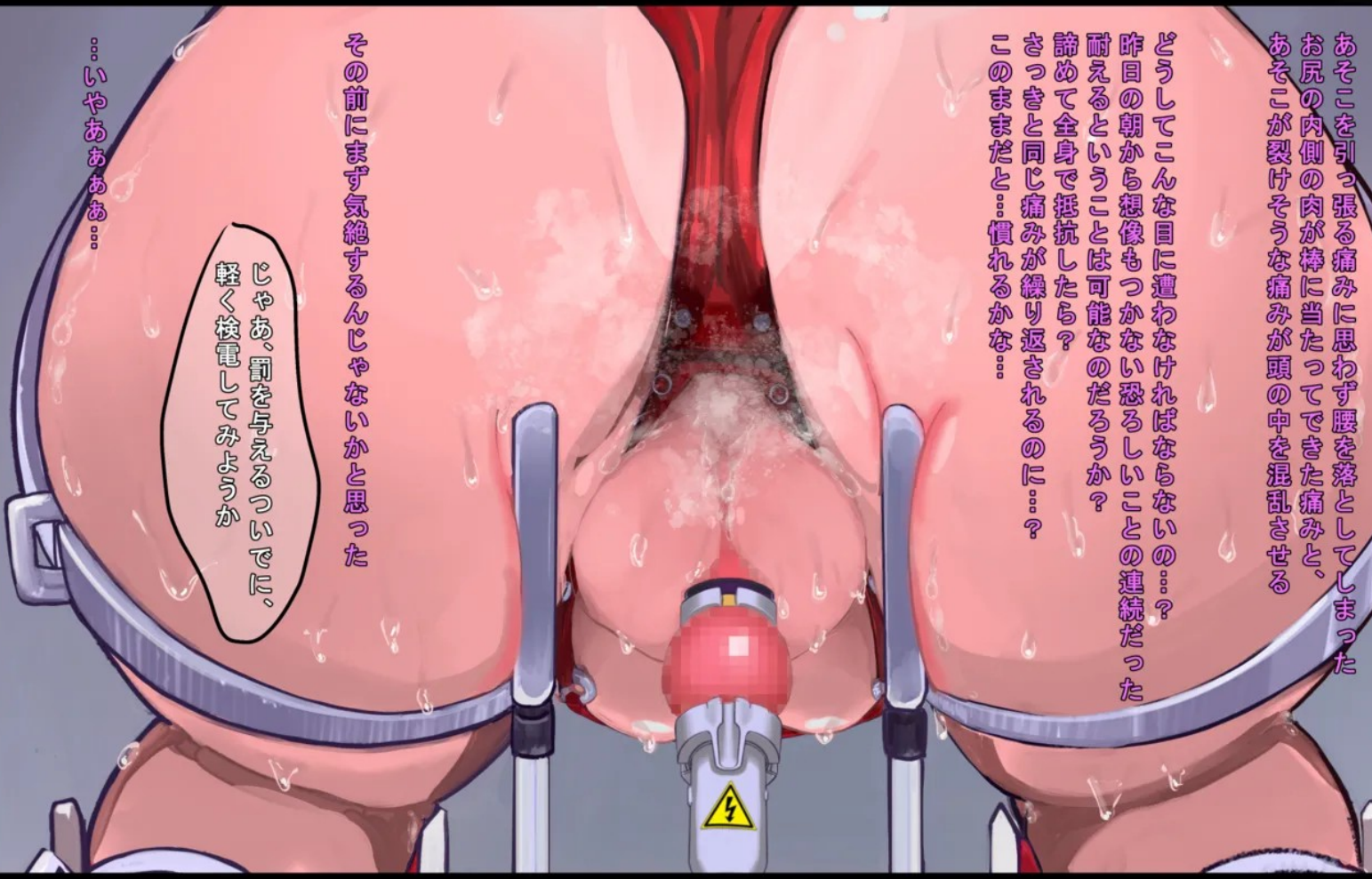
あそこを引っ張る痛みに思わず腰を落としてしまった
お尻の内側の肉が棒に当たってできた痛みと、
あそこが裂けそうな痛みが頭の中を混乱させる

どうしてこんな目に遭わなければならないの…？
昨日の朝から想像もつかない恐ろしいことの連続だった
耐えるということは可能なのだろうか？
諦めて全身で抵抗したら？
さっきと同じ痛みが繰り返されるの…？
このままだと…慣れるかな…

その前にまず気絶するんじゃないかと思った

じゃあ、罰を与えるついでに、
軽く検電してみようか

…いやああああ…



「EED」テスト電流行きます
手を離してください

わかった

ひひ

「わい...」わい...
「ワイ...」ワイ...
「わい...」わい...
「ワイ...」ワイ...
「わい...」わい...
「ワイ...」ワイ...
「わい...」わい...
「ワイ...」ワイ...
「わい...」わい...
「ワイ...」ワイ...





どうだろうデリケートなところに
直接流れる電気の味は

思ったより痛くないし、
気持ちいいでしょう

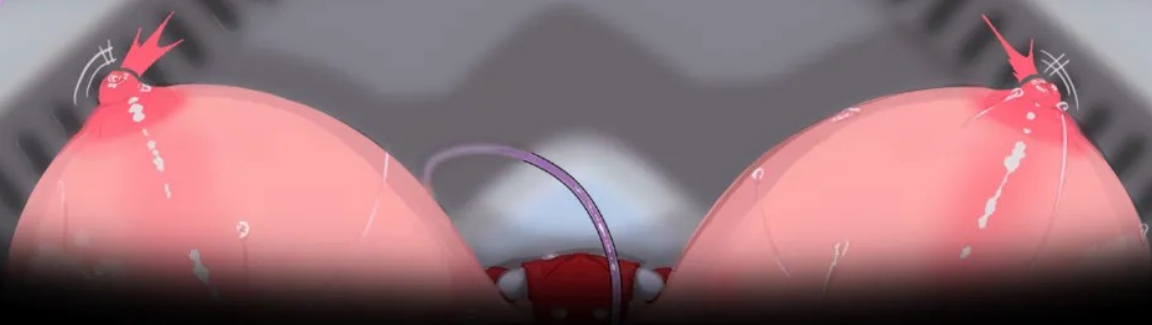
15%くらいでクリトリス奥まで
隅々まで刺激する程度で終わるから

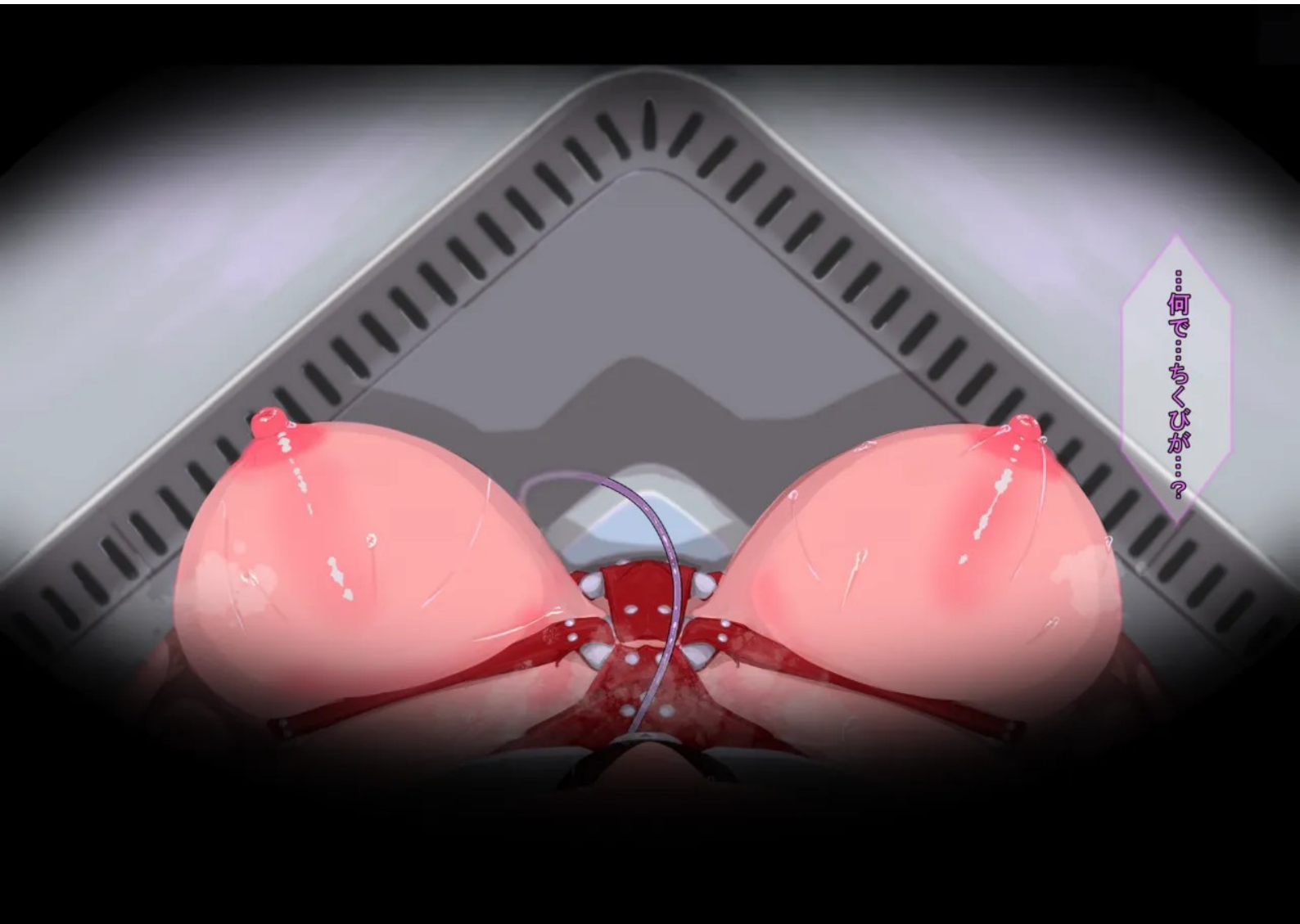
一体こんなことで気分が良くなったのか…

IR.....C.



何で……？

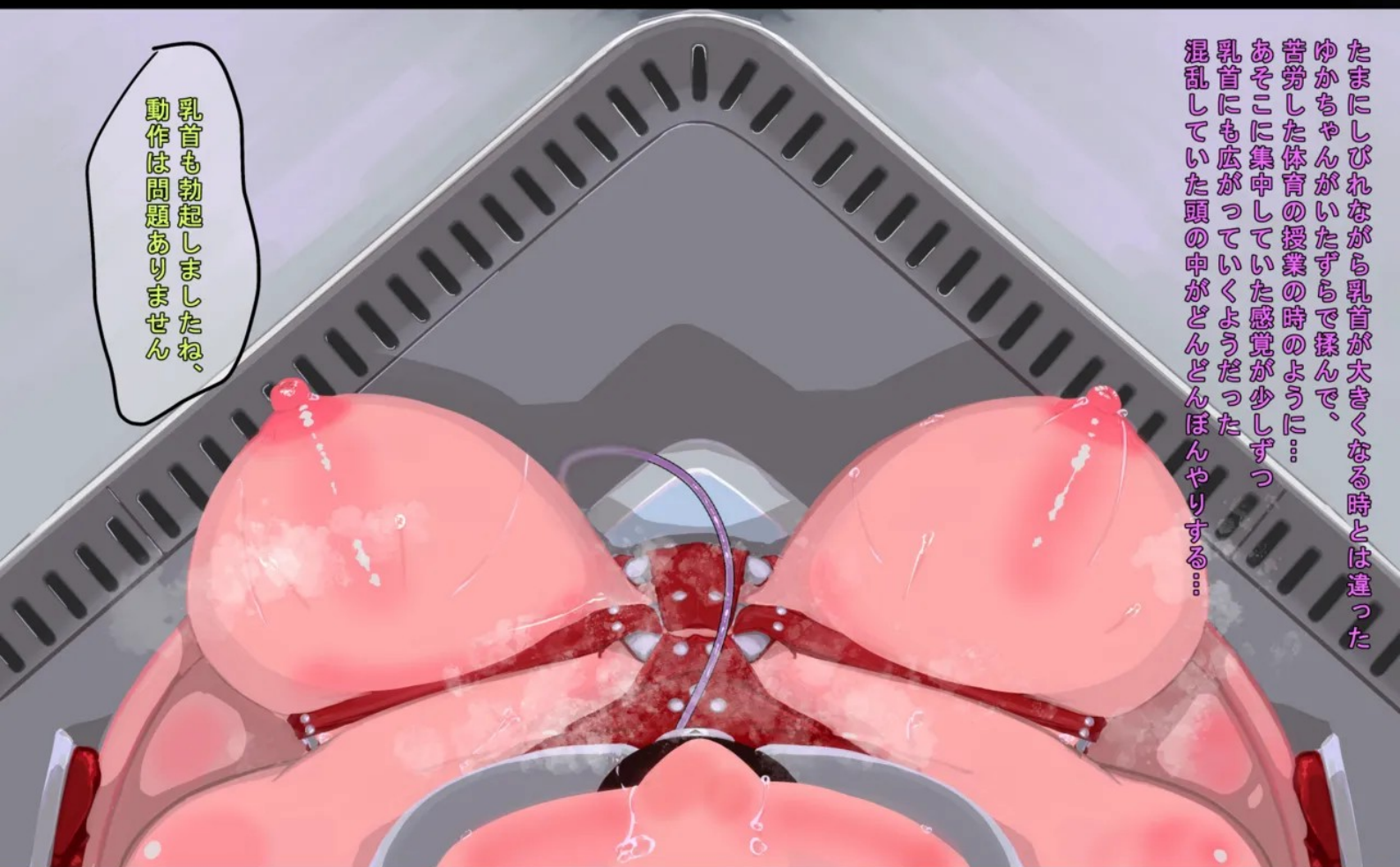




何でくびが...

たまにしびれながら乳首が大きくなる時とは違った
ゆかちゃんがいらずらで揉んで、
苦労した体育の授業の時のように…
あそこに集中していた感覚が少しずつ
乳首にも広がっていくようだった
混乱していた頭の中がどんどんぼんやりする…

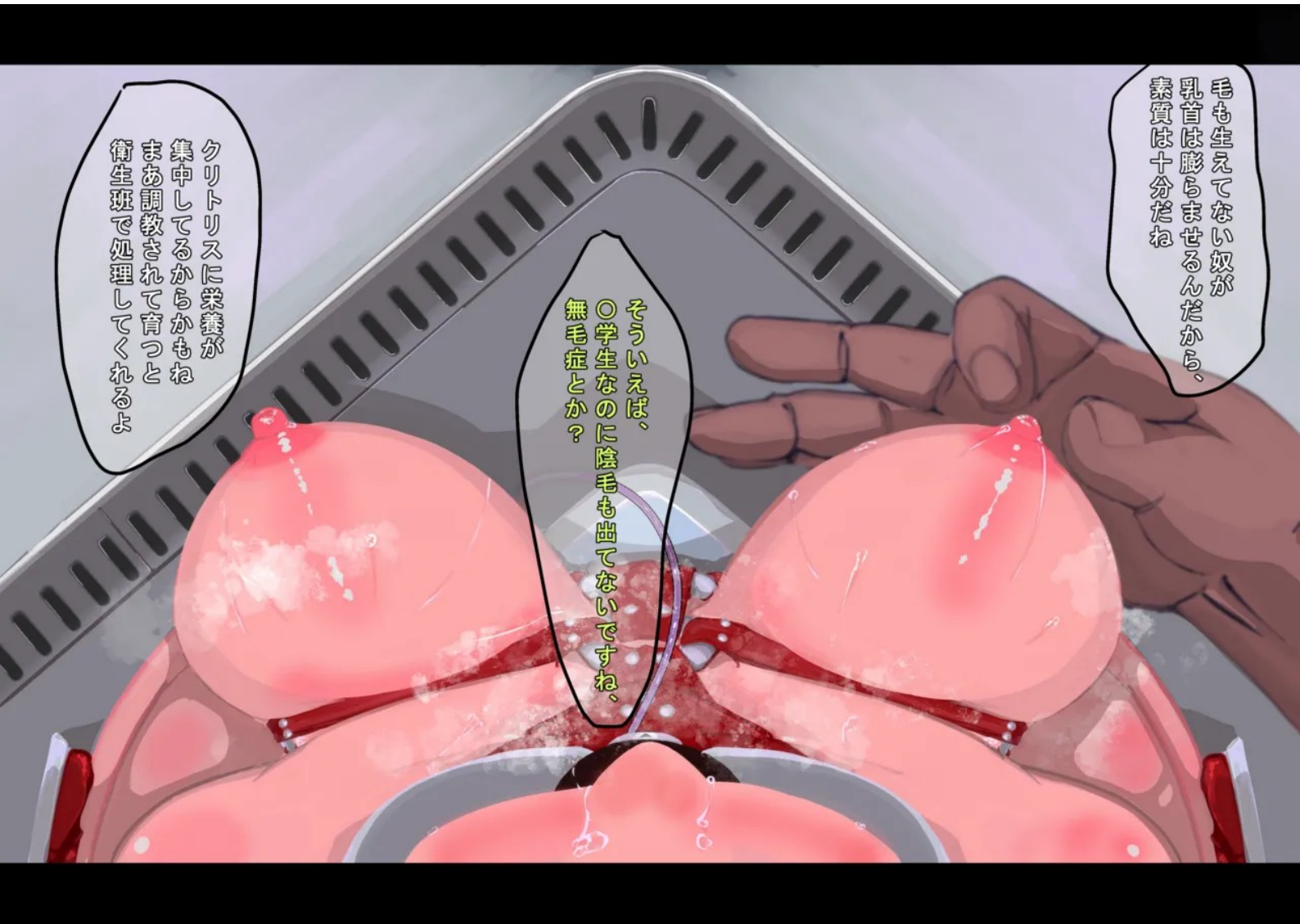
乳首も勃起しましたね、
動作は問題ありません

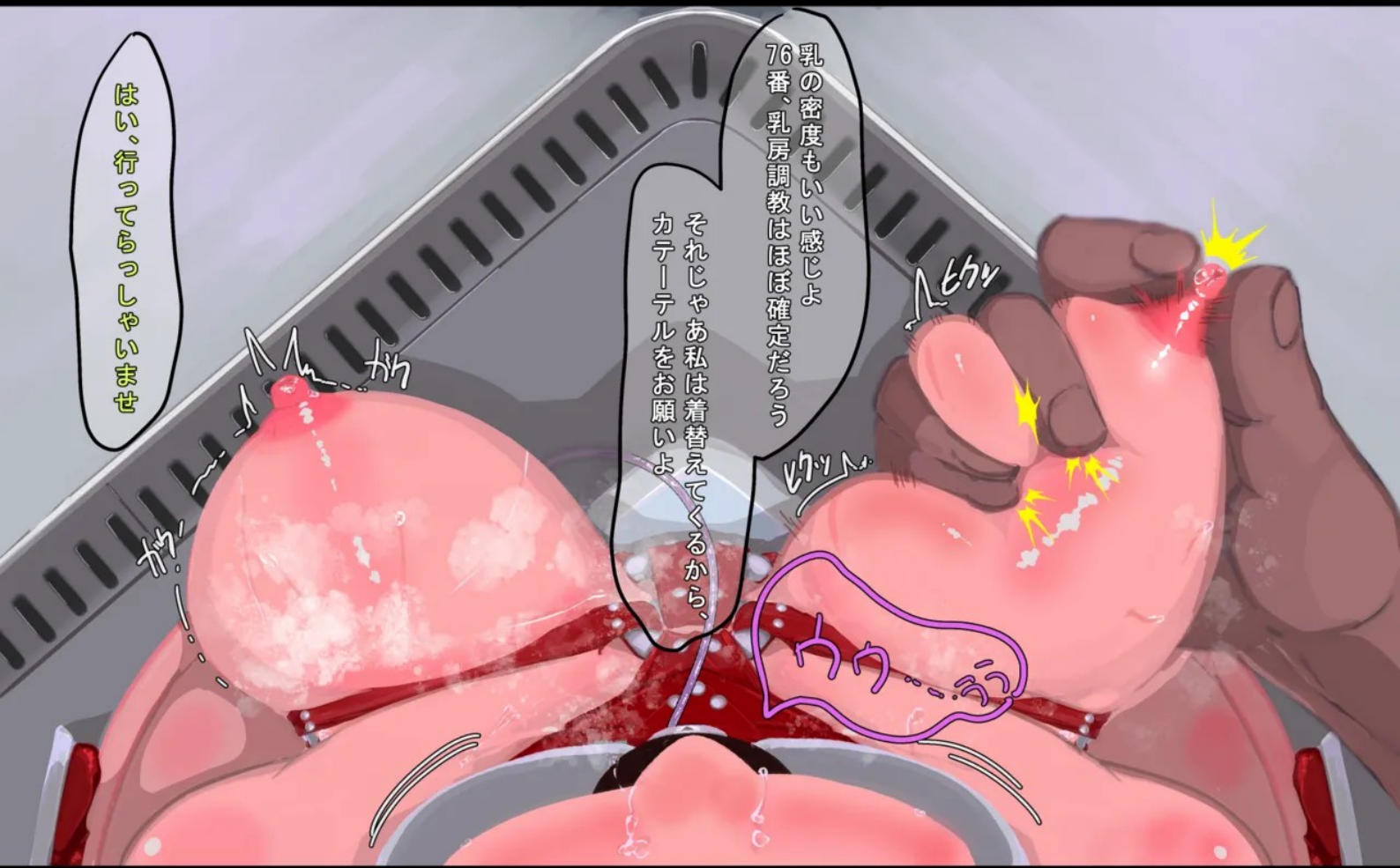


毛も生えてない奴が
乳首は膨らませるんだから、
素質は十分だね

そういえば、
○学生なのに陰毛も出てないですね、
無毛症とか？

クリトリスに栄養が
集中してるからかもね
まあ調教されて育つと
衛生班で処理してくれるよ





乳の密度もいい感じよ
76番、乳房調教はほぼ確定だろう

それじゃあ私は着替えてくるから、
カテーテルをお願いよ

はい、行ってらっしゃいませ

わん...わん

さて、

これ見える？
ここからお前の
おしっこ穴に入るんだ

たぶん移送の時に使った
ことがあるから
初めてではないだろう

ただ、どんな形かは知ら
なかったんだろう

これもあなたの
クリトリスに取り付けた器具と
同じようによく使うようになる器具だから、

すぐに慣れるよ

なんでそんなところに入れるの…？

引きずり出されたとき、おしっこをしたからといって、

おしっこの穴に何かを無理やり入れられた

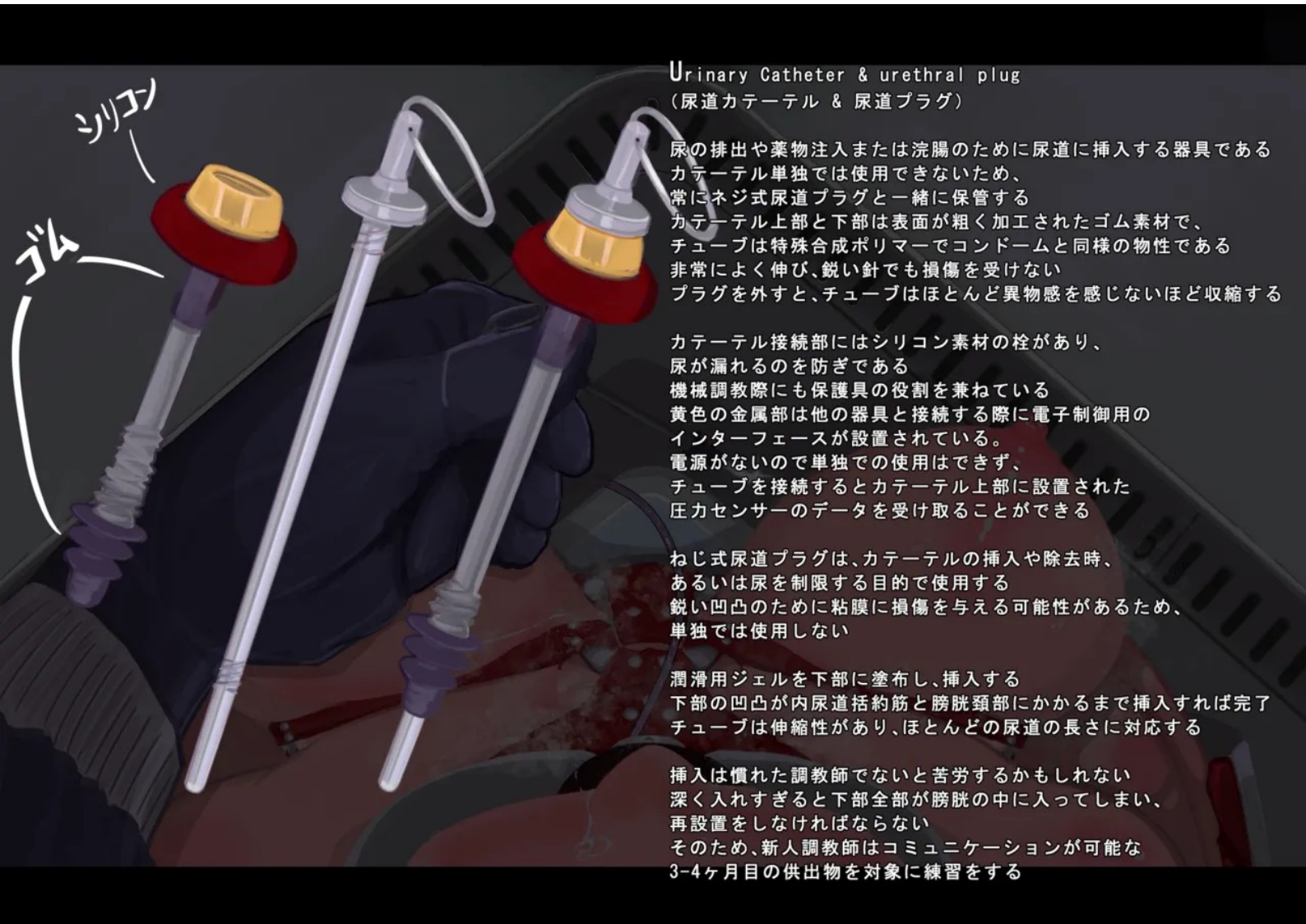
異物感もひどかったが、息をするだけで、

あそこから下腹部まで突き刺さるような痛みが繰り返された

お手洗いに行かせてくれればそんなこともなかったのに…

そのままこのひどい場所に到着するまでずっと…

なのになぜそれをまた…



Urinary Catheter & urethral plug (尿道カテーテル & 尿道プラグ)

尿の排出や薬物注入または浣腸のために尿道に挿入する器具であるカテーテル単独では使用できないため、常にねじ式尿道プラグと一緒に保管する。カテーテル上部と下部は表面が粗く加工されたゴム素材で、チューブは特殊合成ポリマーでコンドームと同様の物性である。非常によく伸び、鋭い針でも損傷を受けない。プラグを外すと、チューブはほとんど異物感を感じないほど収縮する。

カテーテル接続部にはシリコン素材の栓があり、尿が漏れるのを防ぎ、機械調教際にも保護具の役割を兼ねている。黄色の金属部は他の器具と接続する際に電子制御用のインターフェースが設置されている。電源がないので単独での使用はできず、チューブを接続するとカテーテル上部に設置された圧力センサーのデータを受け取ることができる。

ねじ式尿道プラグは、カテーテルの挿入や除去時、あるいは尿を制限する目的で使用される。鋭い凹凸のために粘膜に損傷を与える可能性があるため、単独では使用しない。

潤滑用ジェルを下部に塗布し、挿入する。下部の凹凸が内尿道括約筋と膀胱頸部にかかるまで挿入すれば完了。チューブは伸縮性があり、ほとんどの尿道の長さに対応する。

挿入は慣れた調教師でないと苦労するかもしれない。深く入れすぎると下部全部が膀胱の中に入ってしまうため、再設置をしなければならない。そのため、新人調教師はコミュニケーションが可能な3-4ヶ月目の供出物を対象に練習をする。

まずは消毒から始めよう

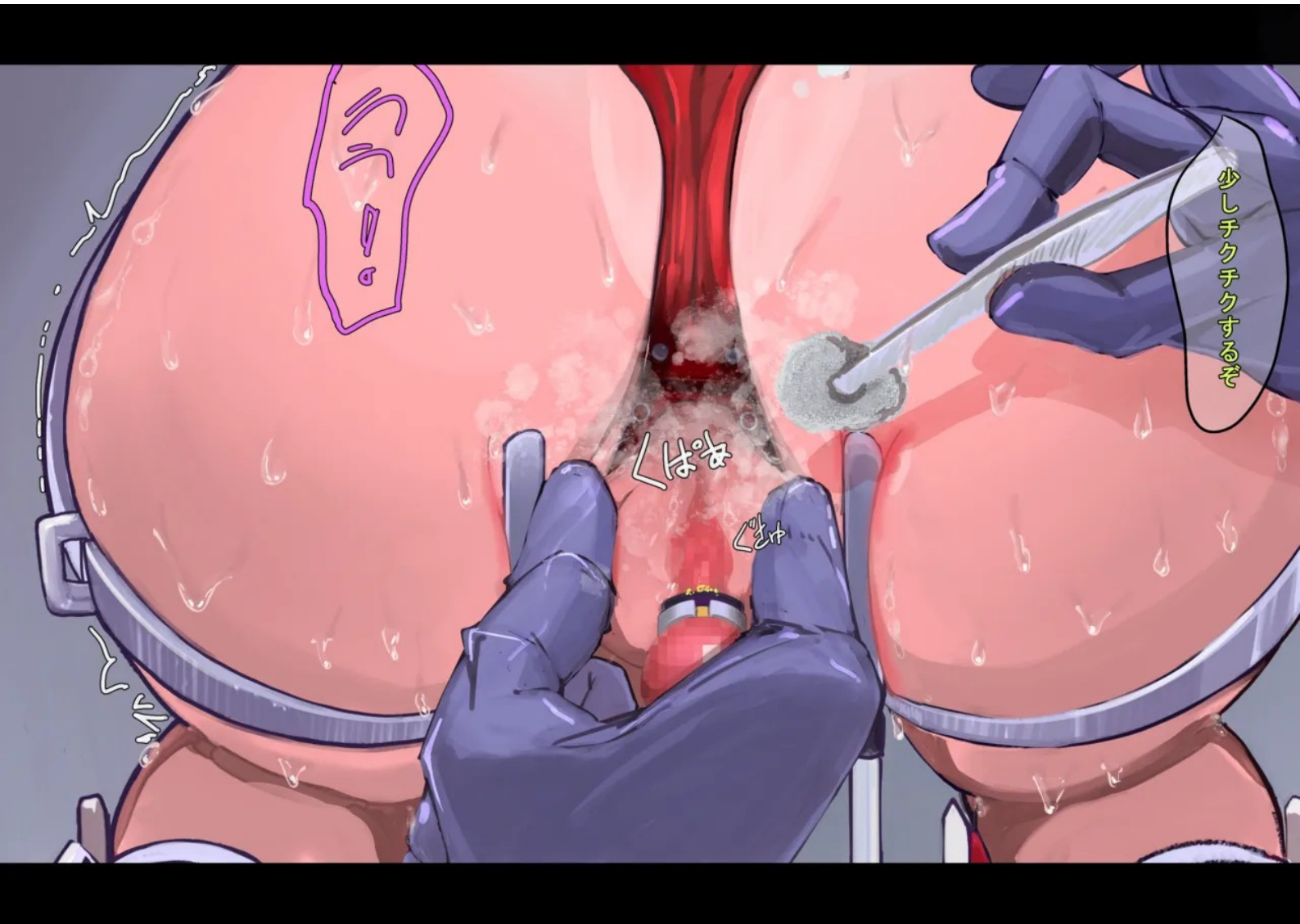
今日は初めてだから
許してくれるけど、

明日から検査準備中
おしっこしたら即罰点だよ

シメシメ

シメシメ



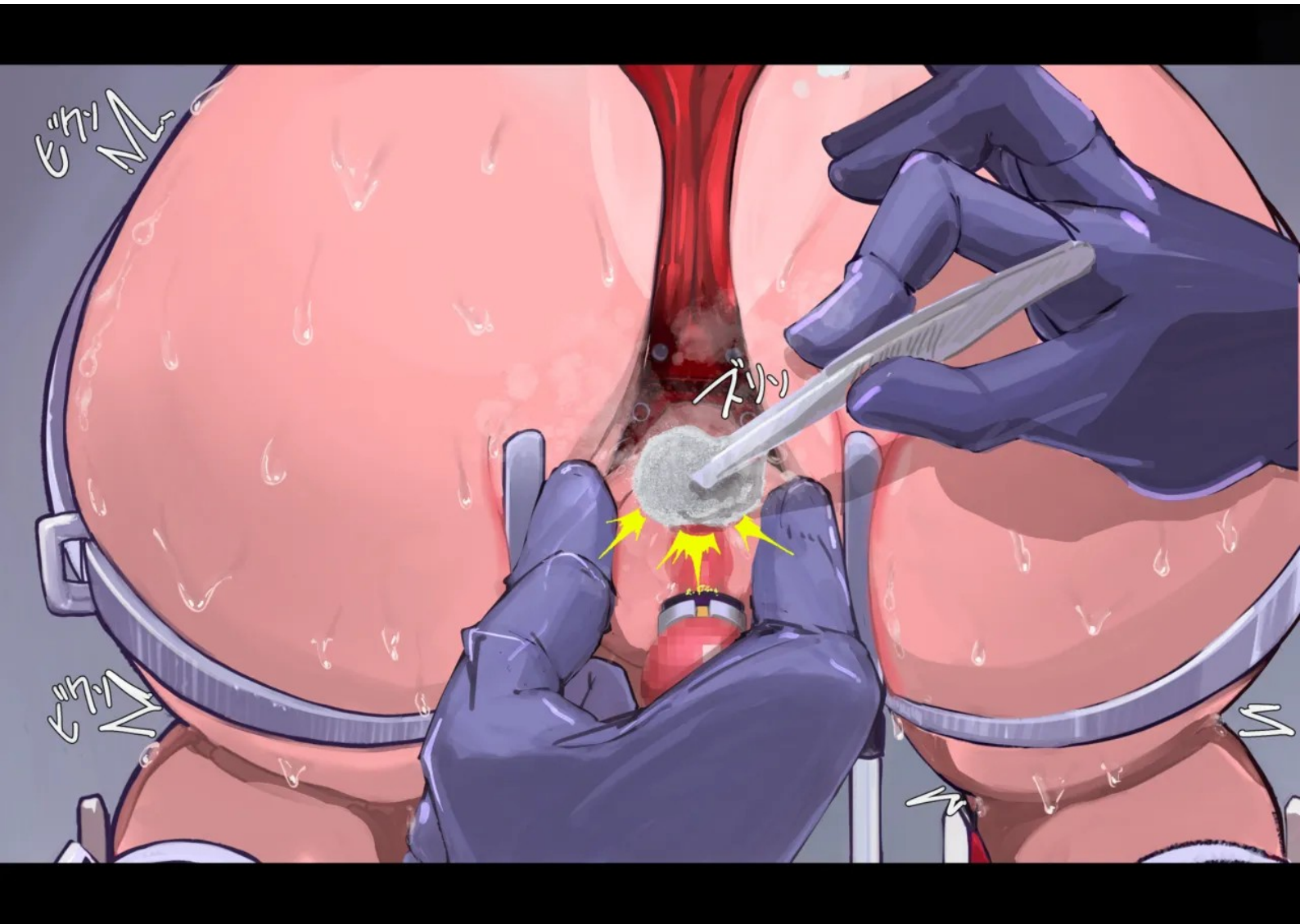


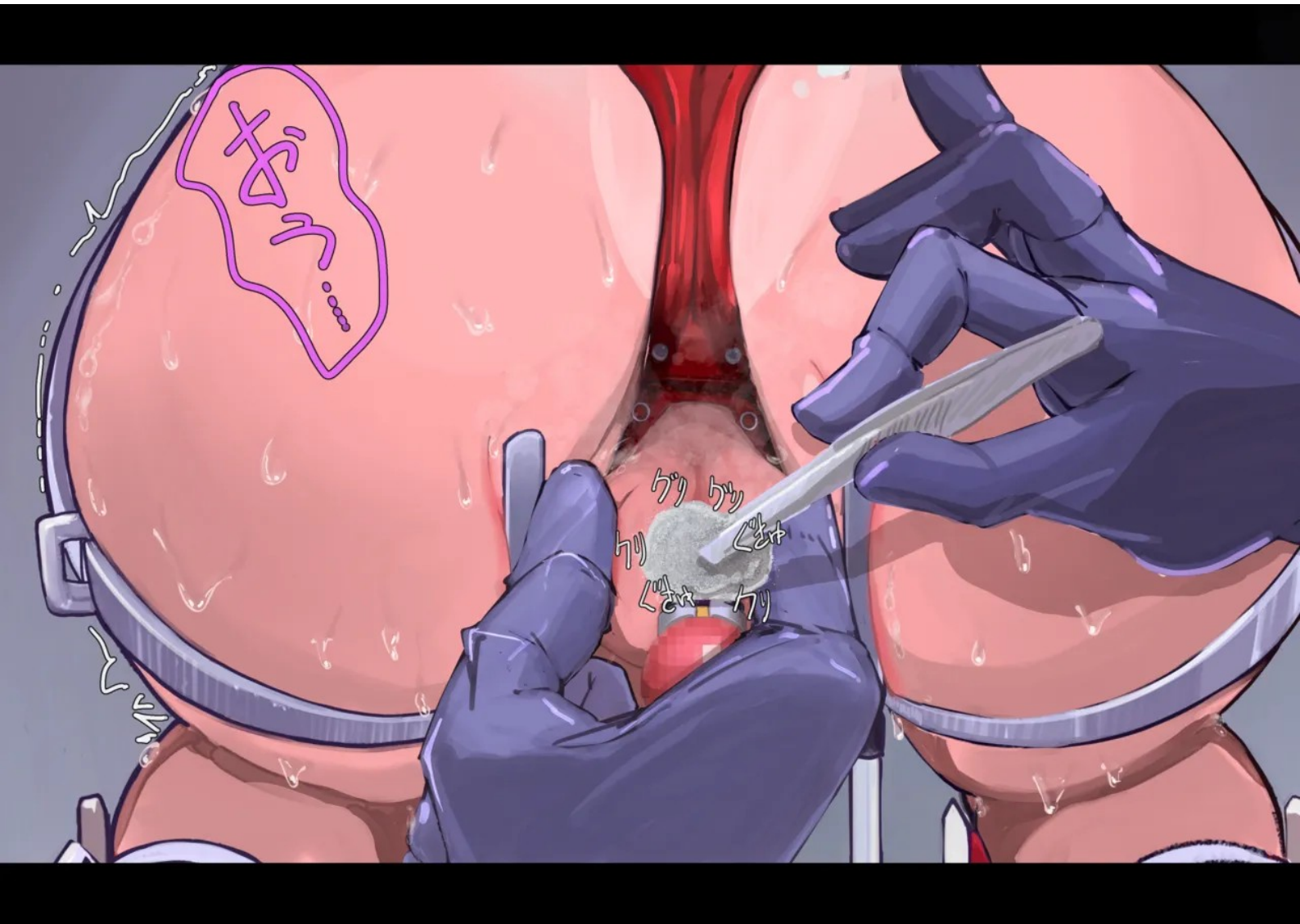
シラシラ

少しチクチクするぞ

はあ

ちかちか





傷口に薬を塗ったようにチクチクする感じがした
画面を注意深く見てみると、
あそこが刺激されて真っ赤に充血していた



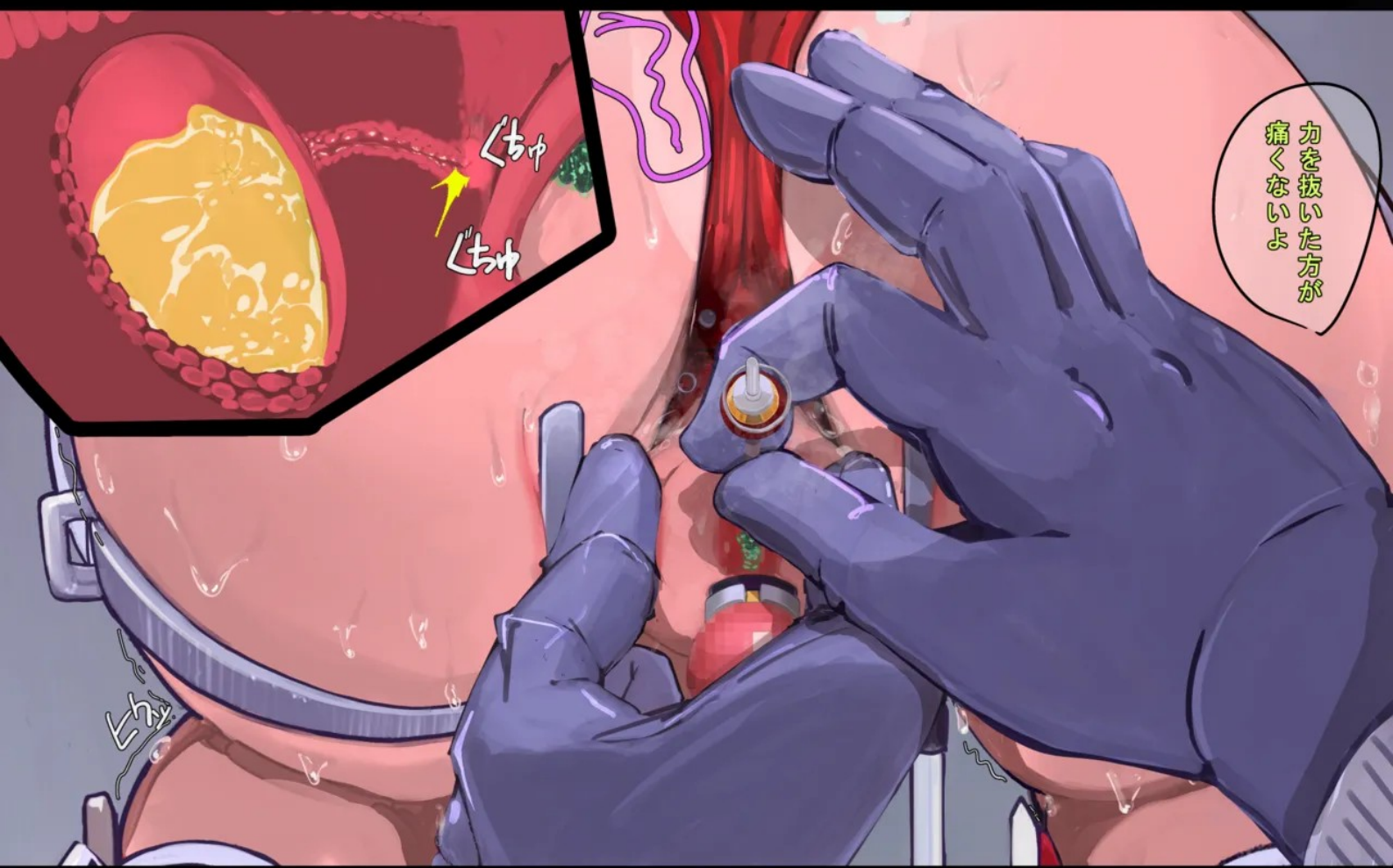


加

加

それじゃあ入れる

加



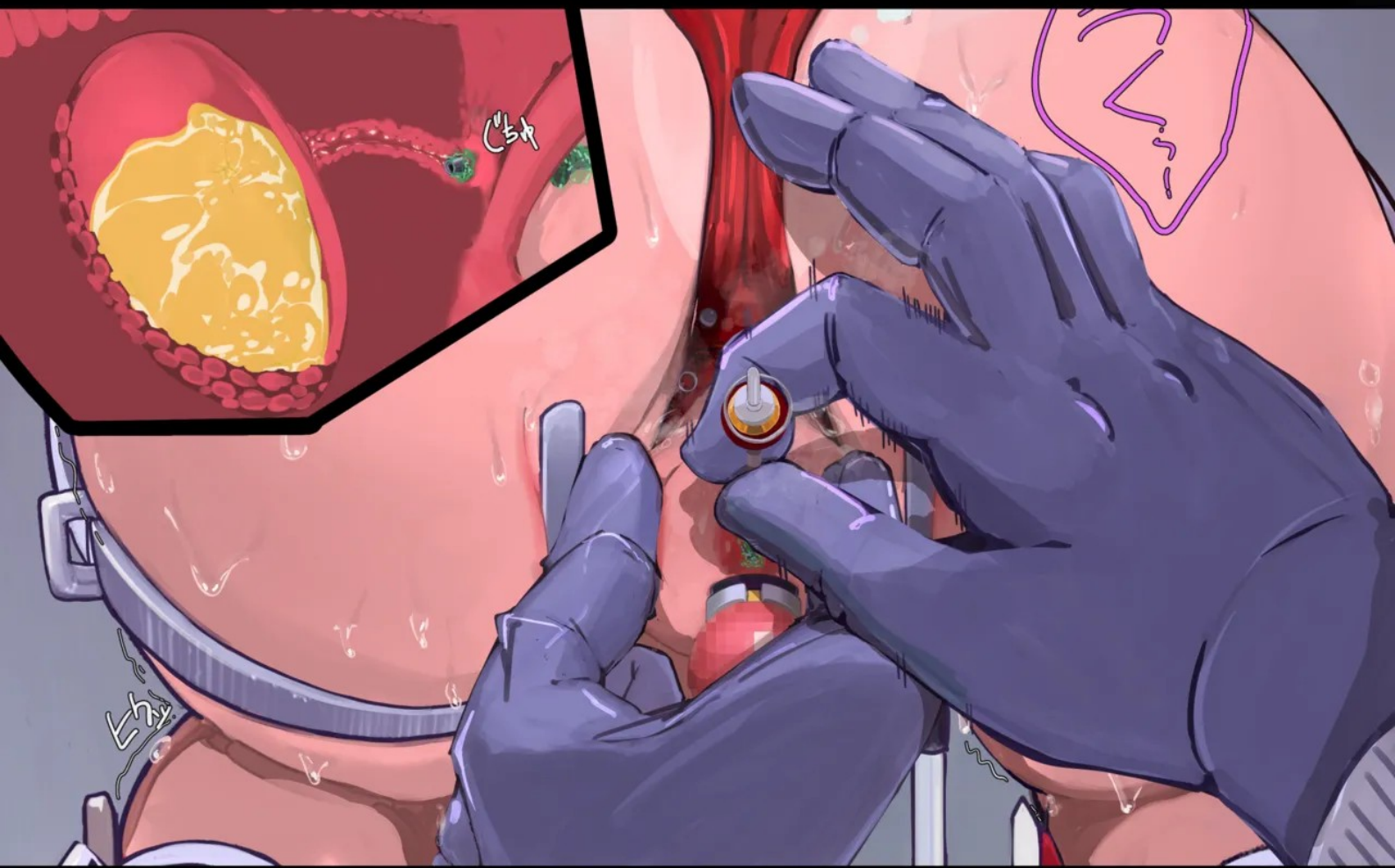
力を抜いた方が
痛くないよ

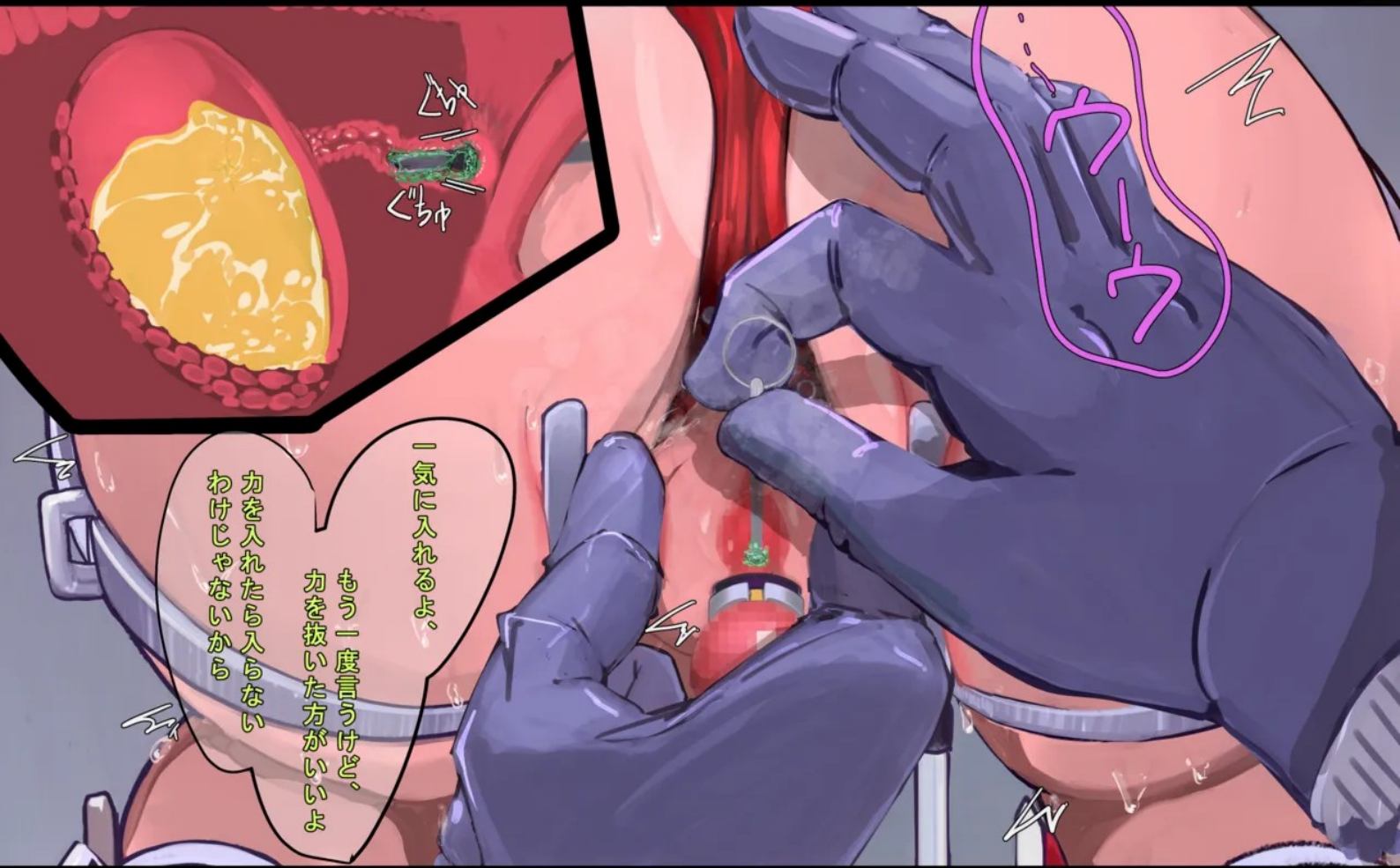
ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

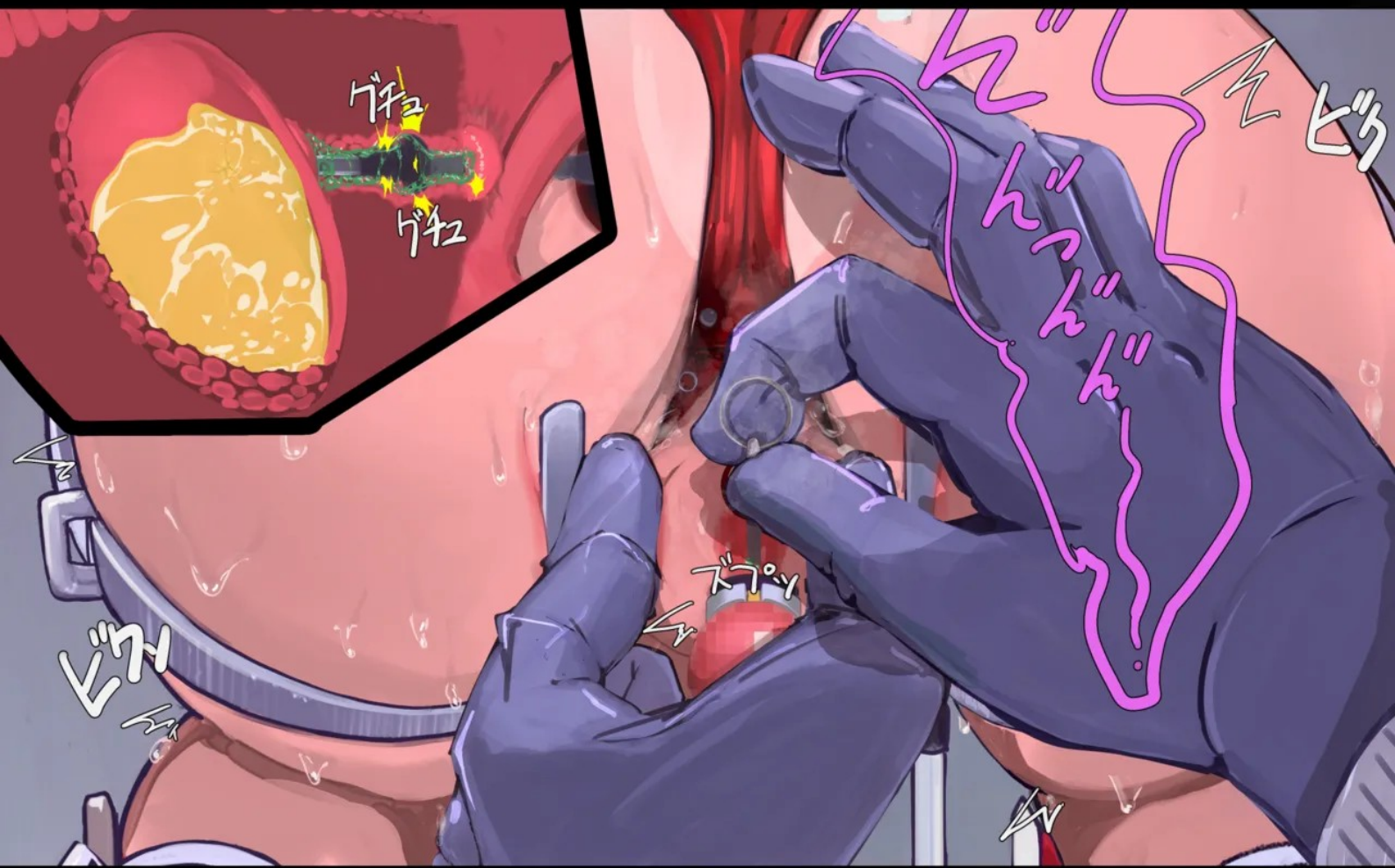


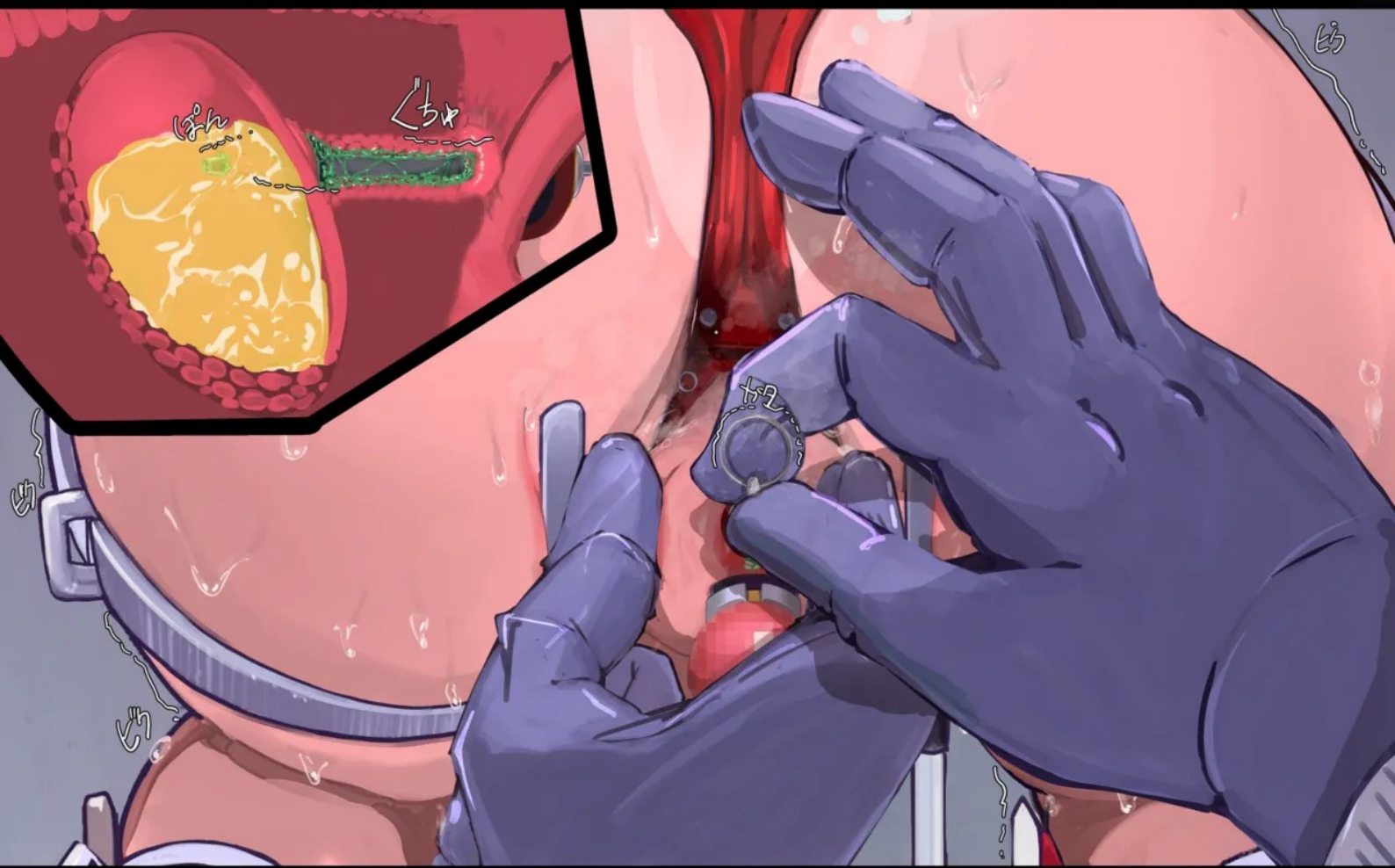


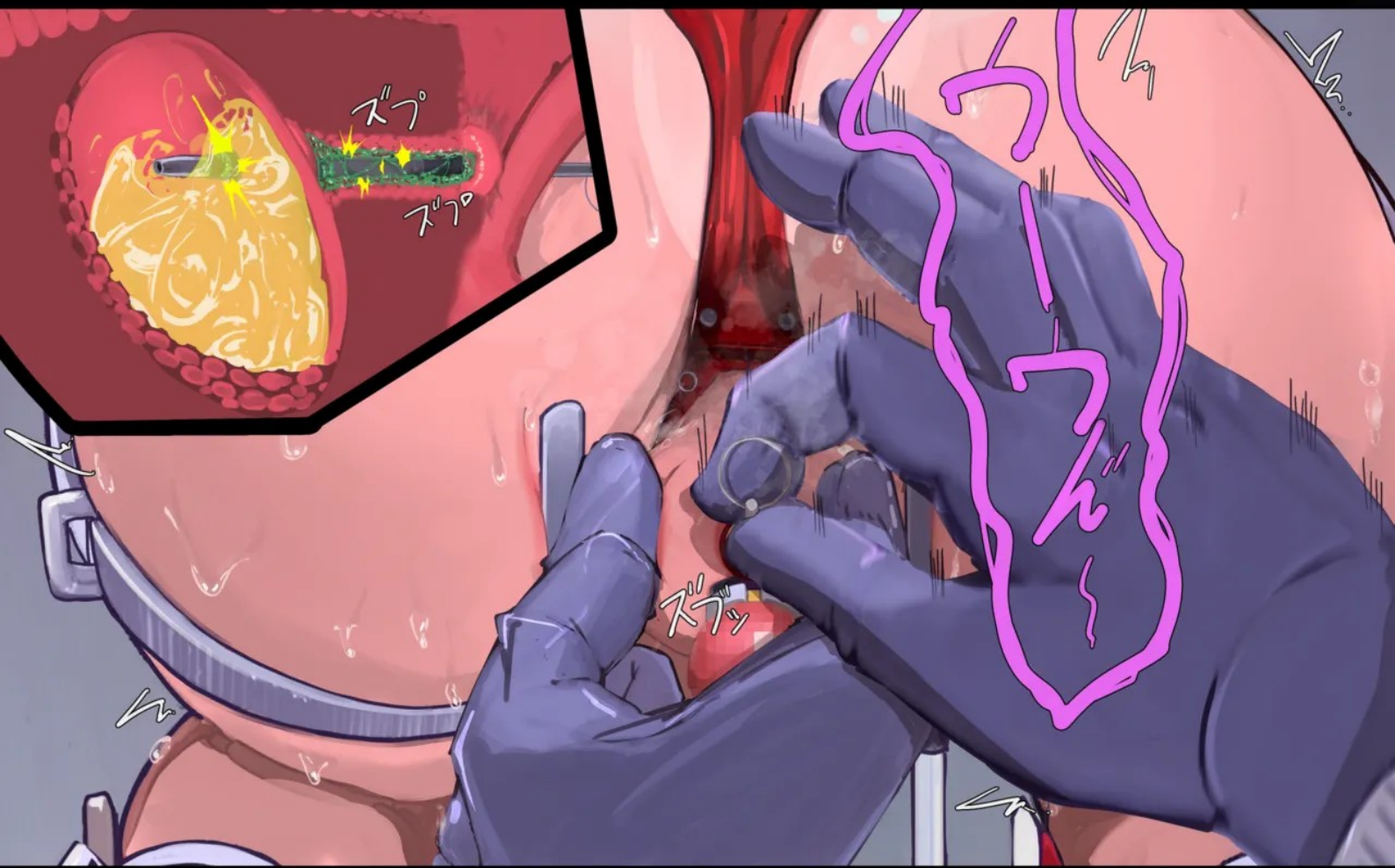
一気に入れるよ、
もう一度言うけど、
力を抜いた方がいいよ
力を入れたら入らない
わけじゃないから

カーク
ぐちや

カーク











よし、入ったぞ



プラグを抜いてあげるから、
異物感がちよつと軽減されるよ。

おしっこが漏れているところを見ると、
カテーテルはちゃんと定着してるね

特に出血も見えないし、
次はサクシオンチューブを
接続するよ



自分の意志とは関係なく流れ出た
おしっこがあそこに流れるのを感じる

汚れや恥ずかしさなど関係なく、温かさに慰められる
ここは…寒すぎるよ…

画面を見ると…
あそここの近くに何かを握った手が見えた
先端がイヤホンプラグのような長い線が…
…チューブといえは…

悪い予感がする…



カチツという音とともに器具が穴を覆った

なぜそんなところに刺すのかわからないけど、
痛くなくてよかったと思えなかった

「ム」を押すと...

そんな安堵はすぐに消えた...

じっとしていても、あそこが切れる勢いで締め付けられるような
痛みを感じるのに...
どうでもいいように無神経にあそこだけ付いている器具を振り回す

ズキズキと刺さる痛みに、
辛うじて抑えていたうめき声が漏れる



…本体に接続すると…

テストがうまくいかなかったら

全部抜いて
最初からやり
直さなきゃいけないから

力は抜いてるよね？

気まずくてうまく
いかないかもしれませんが

さあ、よし

動作テストだけでいいね

努力しないと、
またおしっこ穴を
責められるのは嫌でしょ？



あそこに妙な振動を感じた

すると、
不愉快な膨満感が
再び下腹部の内側から
感じられる

力を抜きたいけど…
思うようにならない



では、サクシヨンテストだ
出力は2段階くらいにしようか



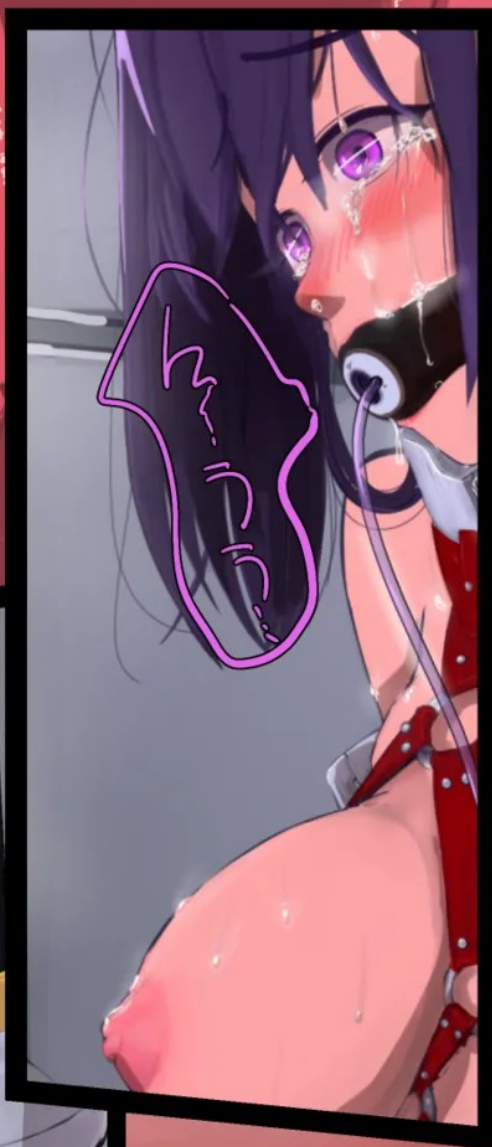
よく出るね

変な感じだ…

ゴボ

ゴボ

下腹がすぐにすっぱり抜けそうだったのに
何かがお腹の中で揺れ動くような感覚があった



んーっ！

コロコロとらつ音とともにオシッコを吸い込まれた

ごボ

ごボ

パシッ

お手洗い…
送ればいいのに、
なぜ…なぜこんなひどい姿で…

ウウ

ウウウ

グイーン

さて、それでは…

小便を我慢してみる？

そね、

下腹部付近に力を入れてみて

…このまま
…このまま我慢しろって…？
ずっと…？

これからはおしっこをすると
自動的に罰点処理されるよ

そう、よくやった

そんな風に我慢すれば、
無理矢理おしっこを吸われることはないよ

静かになっただでしょ？



どれどれ…

200ミリリットルくらい出たのかな

OFF

…量を…測るのかよ…？
…なんでそんな恥ずかしいことばかり…

口の中に飲み物が流れ込むよ

1段階だけ上げておこうか

OFF

OFF

FE

DRAIN

水分コントロールパッケージ (1)

猿轡と本体をつなぐ水分チューブ/尿道カテーテルと本体をつなぐサクションチューブ/本体内の収納・ろ過・供給部ユニットをまとめて水分コントロールパッケージと呼ぶ。

基本的な動作方式は

1. サクションチューブで尿を吸引して本体に保存
2. フィルタリングユニットで尿の毒素を除去し、栄養素と精製水を混合
3. ポンプを利用して供出物に水分チューブで供給する。

排出される尿は正確にチェックされるため、尿による水分不足は発生しないが、調教間の汗や涙、あるいは他の粘膜を介した分泌物は集計されないため、調教師が肉眼で確認した後、補正が必要だ。

用目的は、一次的には調教時に頻繁に発生する尿漏れの状況を最小限に抑えるために、二次的には外尿道括約筋の鍛錬を目的として使用する。調教やその後の供出期間中は、通常のレベルの我慢では、ほとんどの場合、衝撃によって尿を漏らしてしまう。

そのため、肉体的&精神的に調教が必要である。サクションチューブは、外尿道括約筋にあるセンサーを締めなければ、そのまま尿を吸い取るので、罰点と尿を飲まなければならないというペナルティに気づき、我慢することになる。

もちろん、ある程度の慣れと肉体的な鍛錬があれば、多少は耐えられるようになるが、より高いレベルのために調教師が強度を上げてくるので、ペナルティを受けないわけにはいかない。

FEA

DRAIN

がんばって我慢していると、
また機械が動く音が聞こえてきた
我慢すれば大丈夫って言ってたのに…
わざと罰点をつけるために…？

ただ、さっきのように
お腹が引っ張られるような
感覚はなかった



違和感は目の前にあった
口に接続された管に何か
黄色い液体が溜まっている

先ほどの栄養剤を
混ぜた水というのが…

口の中に水分が流れ込んできた
…ぬるくて…酸っぱい味が漂う…

昨日も経験したが、猿轡から入ってくる
水分は拒むことができなかった
喉の奥まで詰まった猿轡のため自由が利かない
部分もあるが、無理に拒否すると鼻の中に入り込んで
息が苦しくなる

そんな黄色い液体を飲むと…
思いもよらない匂いが漂ってきた

トイレとか…ありそうな…

何をそんなに驚いているんだ

許可なく捨てたら、
拾い直さないと
いけないんじゃないの？

…我慢できないと
飲むことになるのか…？

どうして…
どうしてこんな
ひどいことをするの…？いや…

水分コントロールパッケージ (2)

供給される水分は苦味・酸味が出るように精製されている。これは、古くから厳しい拷問に耐える際にうめぼしを口に入れていたことに由来しているという。ろ過された水分はやや黄色がかった程度だが、栄養分が混じり、意図的な処理によって尿のような色に変わる。臭いもフィルターでほとんど消えるが、毒性のない加工された臭を添加して類似の尿のような形にする。

供出物には詳しく説明はしないが、自分が尿を飲んでいる、という形で気づき、自尊心を削ぐ効果を意図した。

(生活ガイドには記載されている内容だが、ほとんどの調査結果、尿として受け入れていることがわかった)

意外に栄養素は十分で、供給される水分だけで長期間の生存が可能であるが、口の咀嚼活動や消化器系に問題が生じるため、望ましい栄養供給方法ではない。

供出物が出した尿以外の足りない水分は、施設内の浄化施設を通じて得る。毒性が全くなく、蒸留水に近いので、単独で飲料水としてはあまり利用されないが、配合に必要な水分としては十分なレベルである。ただし、溶剤の特性上、淡い黄色を帯びている。

水分に含まれる栄養素は外部から供給されるものもあるが、全体の40%程度は浄化槽のろ過と供出物の調教間で発生した母乳を精製して得られる。単独施設としてはかなり高い資源循環率だが、倫理的な問題を排除することで可能なことである。



次はお尻ね

水分パッケージは終わった？

200ミリリットルくらい排出されて
1 / 2段階にしておきました

汁もそれほど多くないようで、
クリトリスが大きいこと以外は普通だな

余裕もないんだからさっさと行こう
プロジェクトスターとテスターの
セッティングをお願い

行き交う会話に集中したかったが、そんな余裕はなかった
カんで我慢すればするほど、異物感がどんどん鮮明になっていく
どんどん出してしまいたいのに、理性的には出してはいけないという
思いが頭をぐるぐる回る

少しでも力を抜くと、

また機械がおしっこを吸い出してしまいそうで、
とにかく力を入れるしかなかった

はい

アナルカバーを外すから
おとなしくしろよ

痛みを感じるほどお尻を握られた
さっきの胸を掴むときのような触り方が
気持ち悪かった



薬が効いているようだ
脱肛もきれいにでてきたね

あ

あ

せめてもの暖かかったお尻の間から

冷たい空気が流れ込んできた…

お尻の穴まで見えてしまう…

薬は…穴が開くんじやないかと
思うくらいたくさん打たれて…

…ダメ…集中しないと力が抜けそうだ…
「だっっっ」ってなんだよ…

中はどれくらいかなあ

足の間に流れていた冷たさの代わりに、鮮明な感触があった

あ…お尻を触っている…

なんでそんな汚いところを…
また…え…?
何か…?お尻が膨らんでいる…?

…待って…中だと…

中もよく解けたね、指2本くらいは余裕でしょ

いや…お尻が変なもので満たされてる気がする…

ダメ…意識するとおしっこが出そう…

グツ

ぐわ

ぐわ

少し弾力が残っているけど、
これくらいなら問題ないだろう

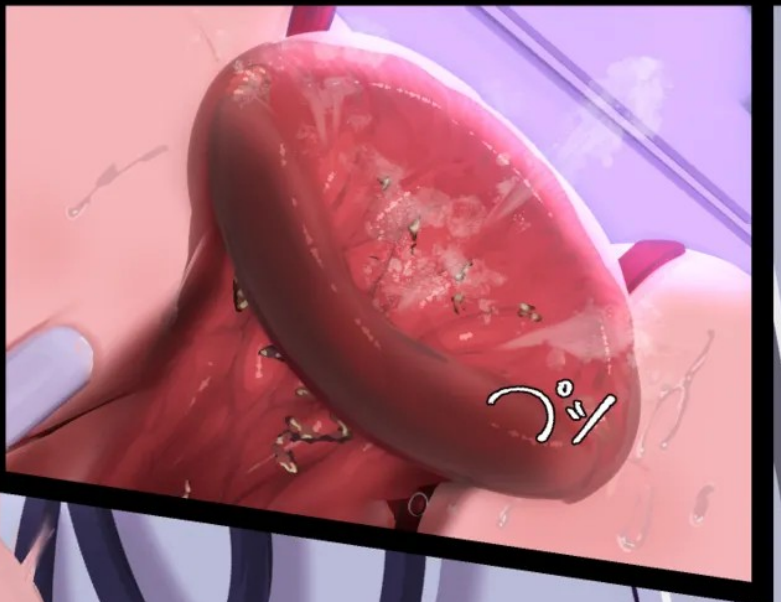
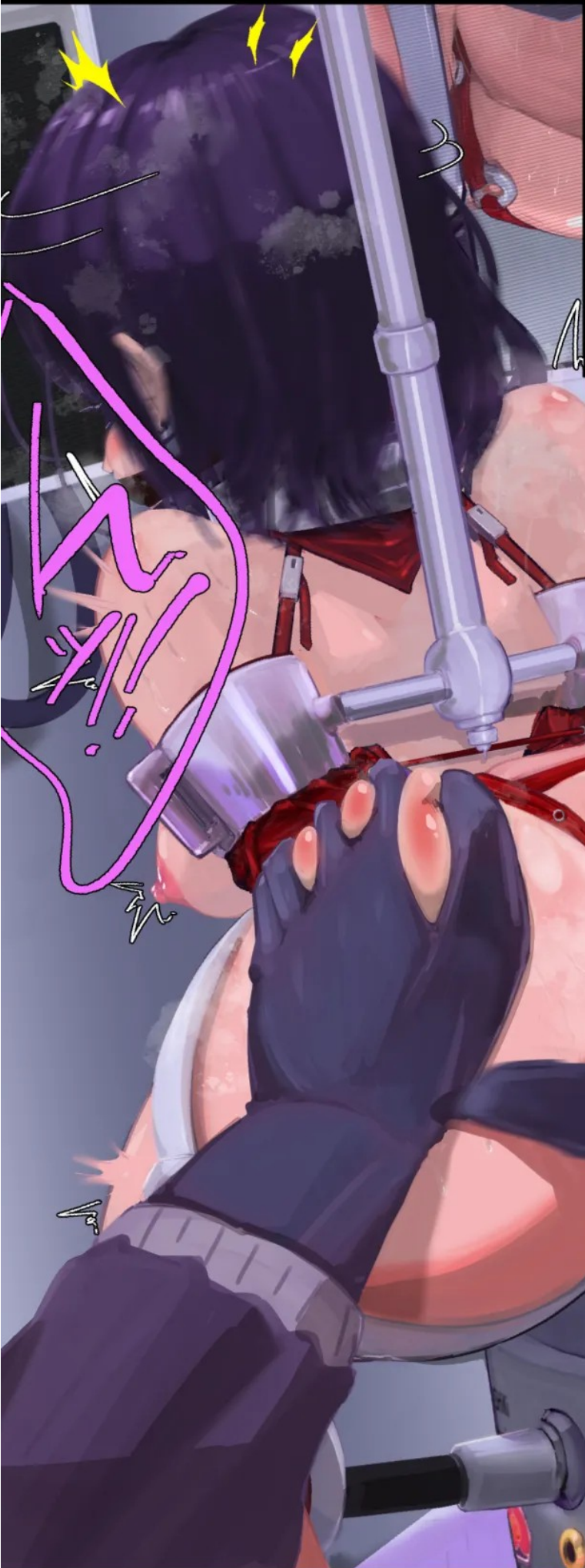
わかった

76番の手で少しほぐしてあげる
内側の奥深くまで押し込むよ

ステッププラグは
整理しますよ

いや…今も変だけど…
うっ、おしっこが…





あつ…気持ち悪い…
お尻の穴をかき回さないでください…

ここをしつかり
ほぐしておかないと、
入れるときに
傷がついてしまうそうですよ

え…?

ぐちゃ

それを我慢できずに
漏らしたなあ

ピツ

グイ

ぴちゃ

早く我慢し直さないと、
どんどん罰点が溜まっていくー

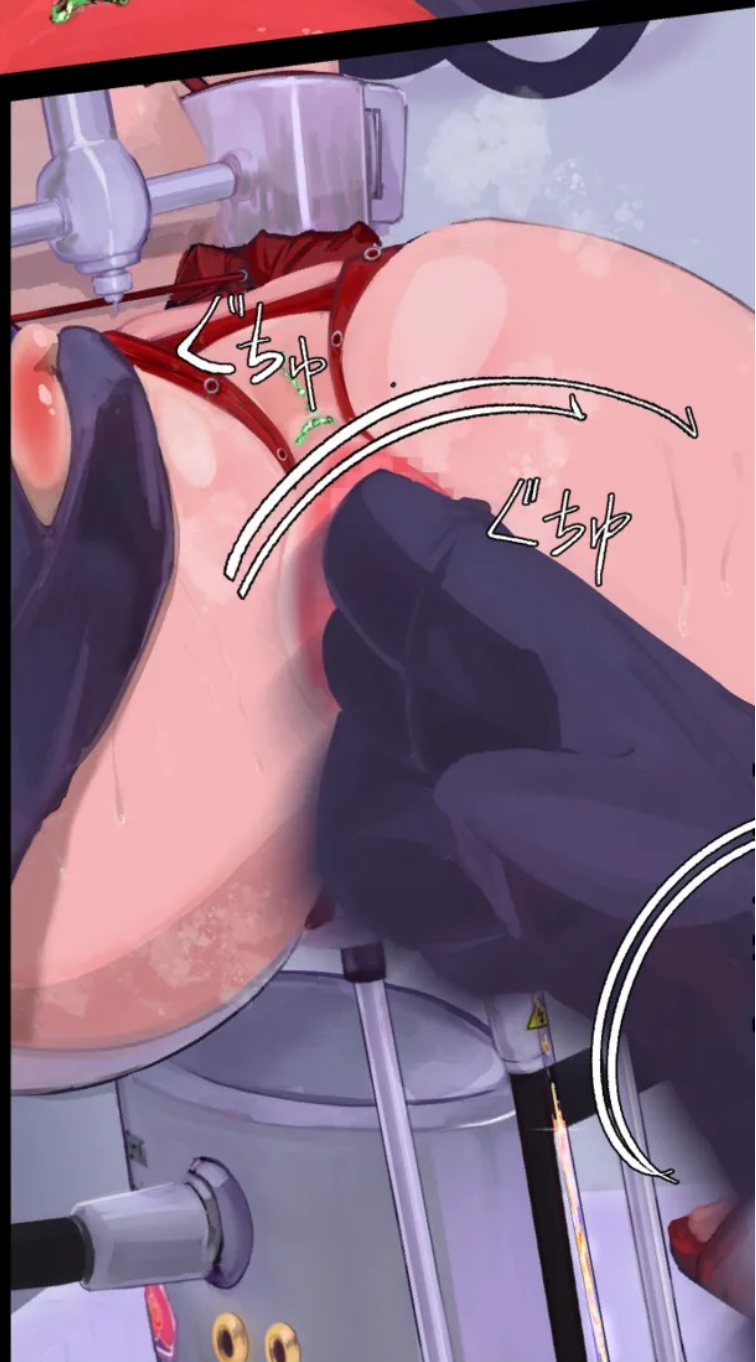
いや…おしっこが吸い取られて…

止めてよ、お願い…

ジヤ

ぐわ

ぐわ



同じように力を入れてみたが、
尿を吸うのは止まらなかった

口の中に広がる酸っぱくて苦い液体の味と、
鼻の奥から広がる匂いに吐き気がしそうですが、
どうしようもない

このまま罰点とか気にせず全部出してしまえば…
そんなことを考えていても、
慣れない感覚に反射的に力を与えてしまう

お尻はさつきまでただ冷たい空気と
指が気持ち悪い程度でしたが、
あそこがだんだん広がっていく感じがして、
下腹部まで広がる痛みが生じた

まるで便秘気味の時みたいに…



ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ

…はやく…終わらせてください…
頭が変になりそう…

これくらいでいいだろう



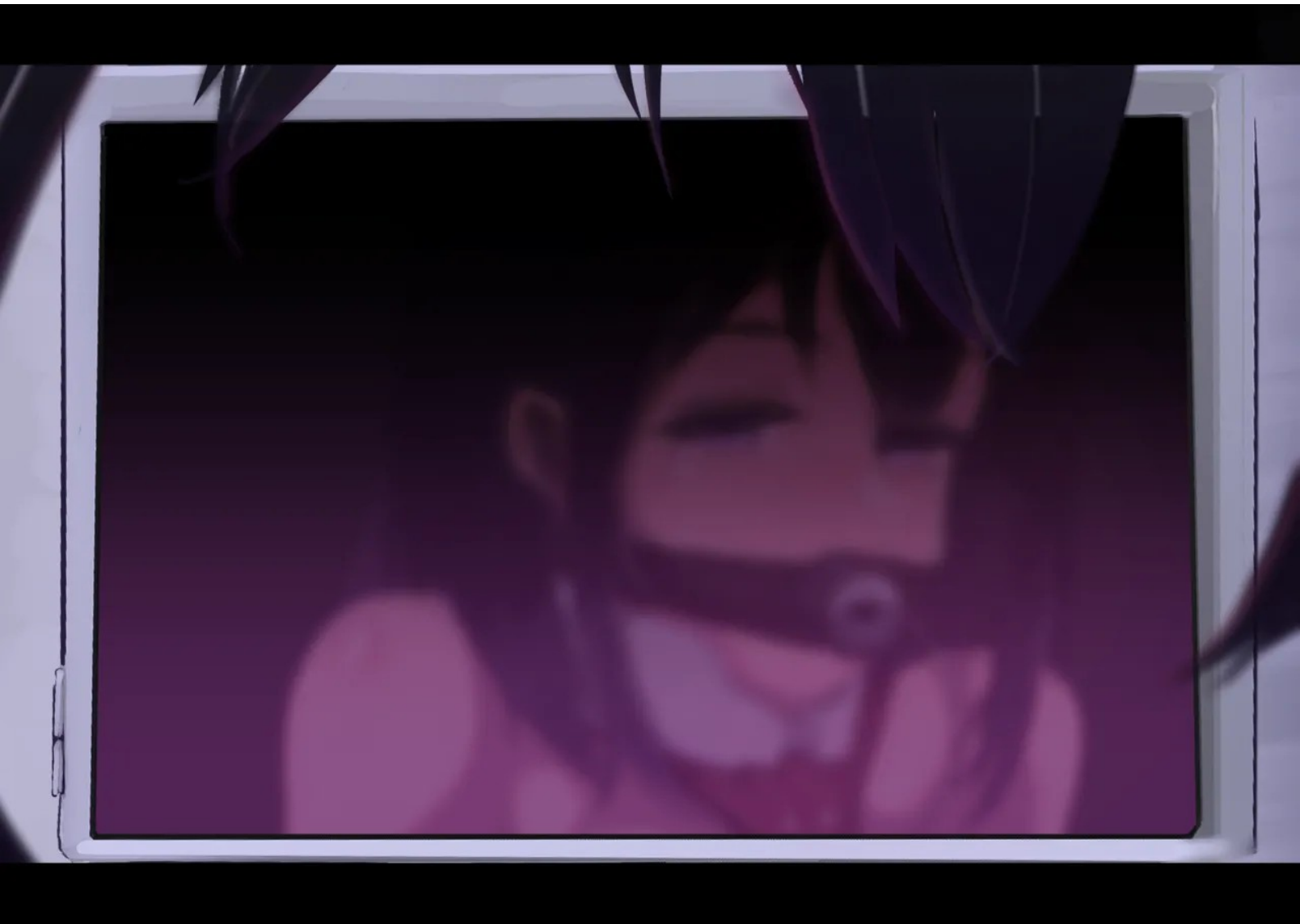
お尻の中をかき回す異物感は消えたが…
時間が経つにつれてだんだん熱くなるのを感じた

何となく…せっつきより寒いような気も…

おっと、1番カメラの
スイッチが切れていた

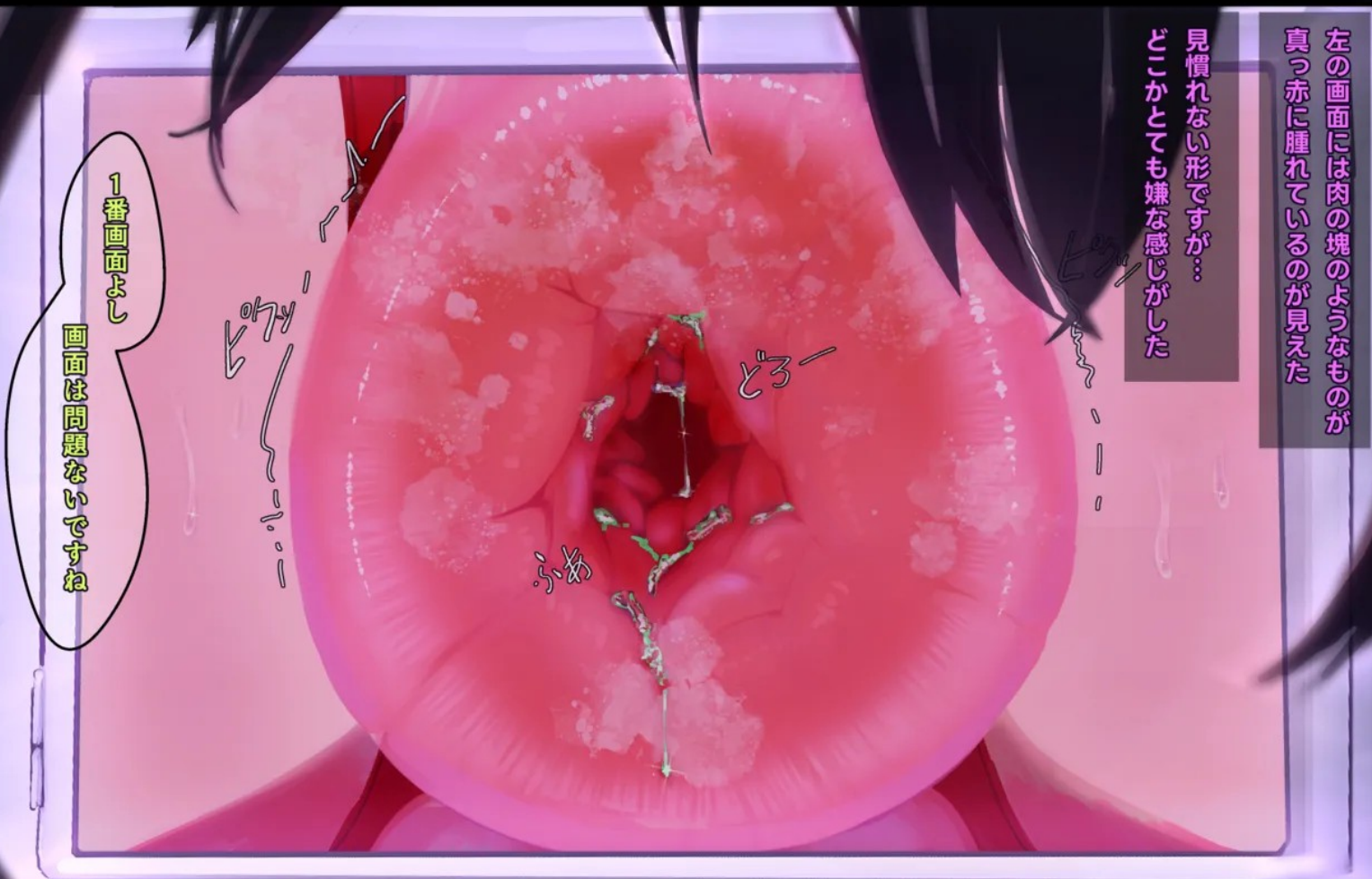
おっ、1番カメラの
スイッチオンします





左の画面には肉の塊のようなものが
真っ赤に腫れているのが見えた

見慣れない形ですが…
どこかとても嫌な感じがした



1番画面よし
画面は問題をらですね



どうだ

普通、自分のアナルを
見ることはあまりないだろ

アナル

アナル...



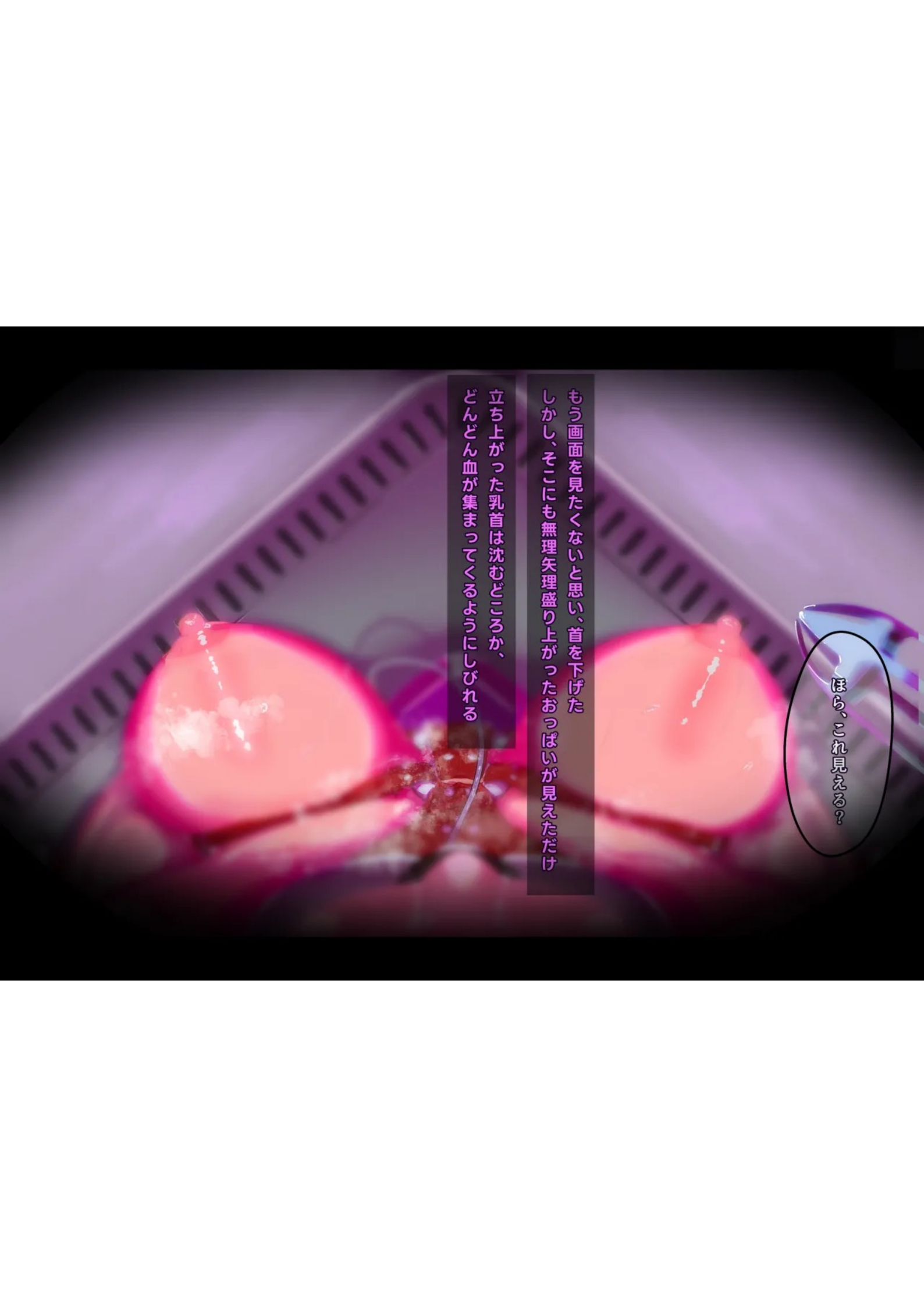
なんだ、

信じられなるとどう顔をしてるな

別にいいや、
自分で体でわかればいいことだから

こわい…
いったい私の体に何が起こっているんだろう…
私は何もしてないのに…





ほら、これ見える？

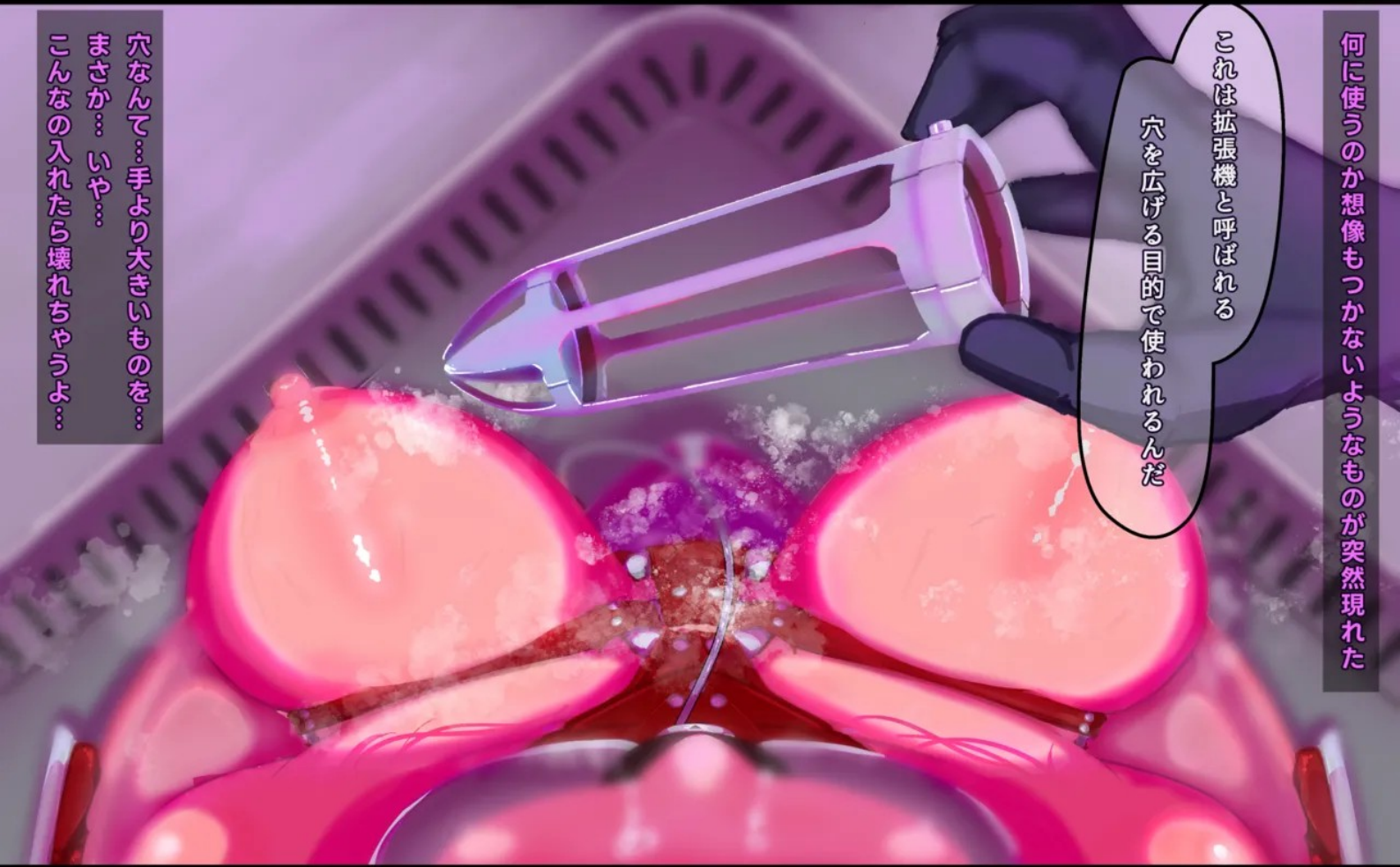
もう画面を見たくないと思い、首を下げた
しかし、そこにも無理矢理盛り上がったおっぱいが見えただけ
立ち上がった乳首は沈むどころか、
どンドン血が集まってくるようにしびれる

何に使うのか想像もつかないようなものが突然現れた

これは拡張機と呼ばれる

穴を広げる目的で使われるんだ

穴なんて…手より大きいものを…
まさか…いや…
こんなの入れたら壊れちゃうよ…



拡張機-Aユニット

膣、肛門、尿道などの性感帯の検査に使用する拡張器具。
使用場所によってサイズと拡張直径が異なる。

伸縮性があり固定が難しいBユニットの代わりに穴を広げて
固定する役割である。

竜頭を右に回すとワイヤーが伸びて直径が大きくなる。

逆に回すとワイヤーが巻き付いて元の状態に戻る。

内臓を傷つけないように緩やかに加工されており、
滑らないように表面処理を施し、鈍い光沢がある。

頭部に行くほど直径が小さいが、
未経験者には優しくない。

Bユニットを固定できる溝がある。

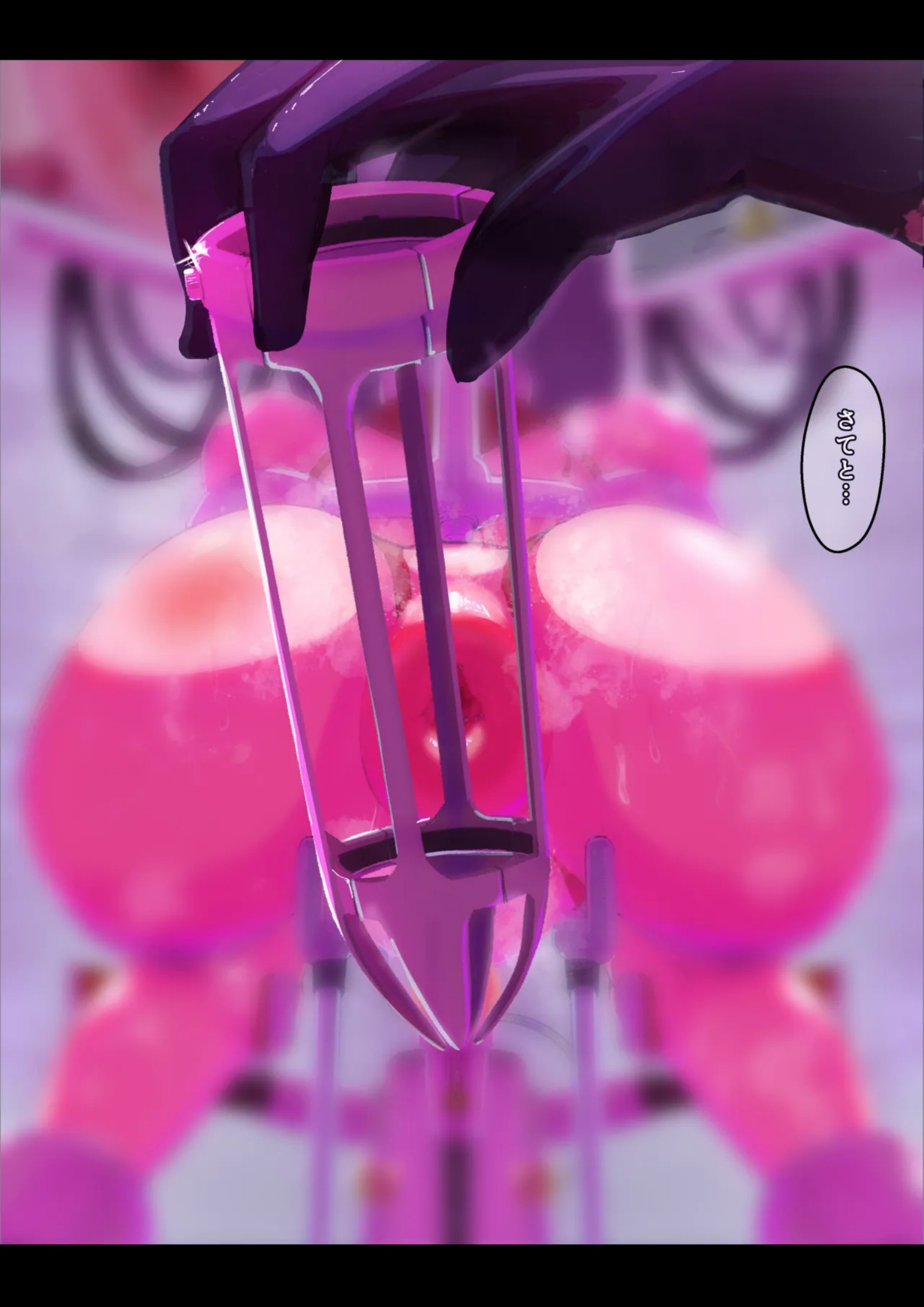
竜頭から締め付けないと、大人男性もワイヤーに変形を与えにくい。

拡張機は弛緩剤を注射した後に使用するのが一般的で、

一般的な供出物は乙女を強調するため、

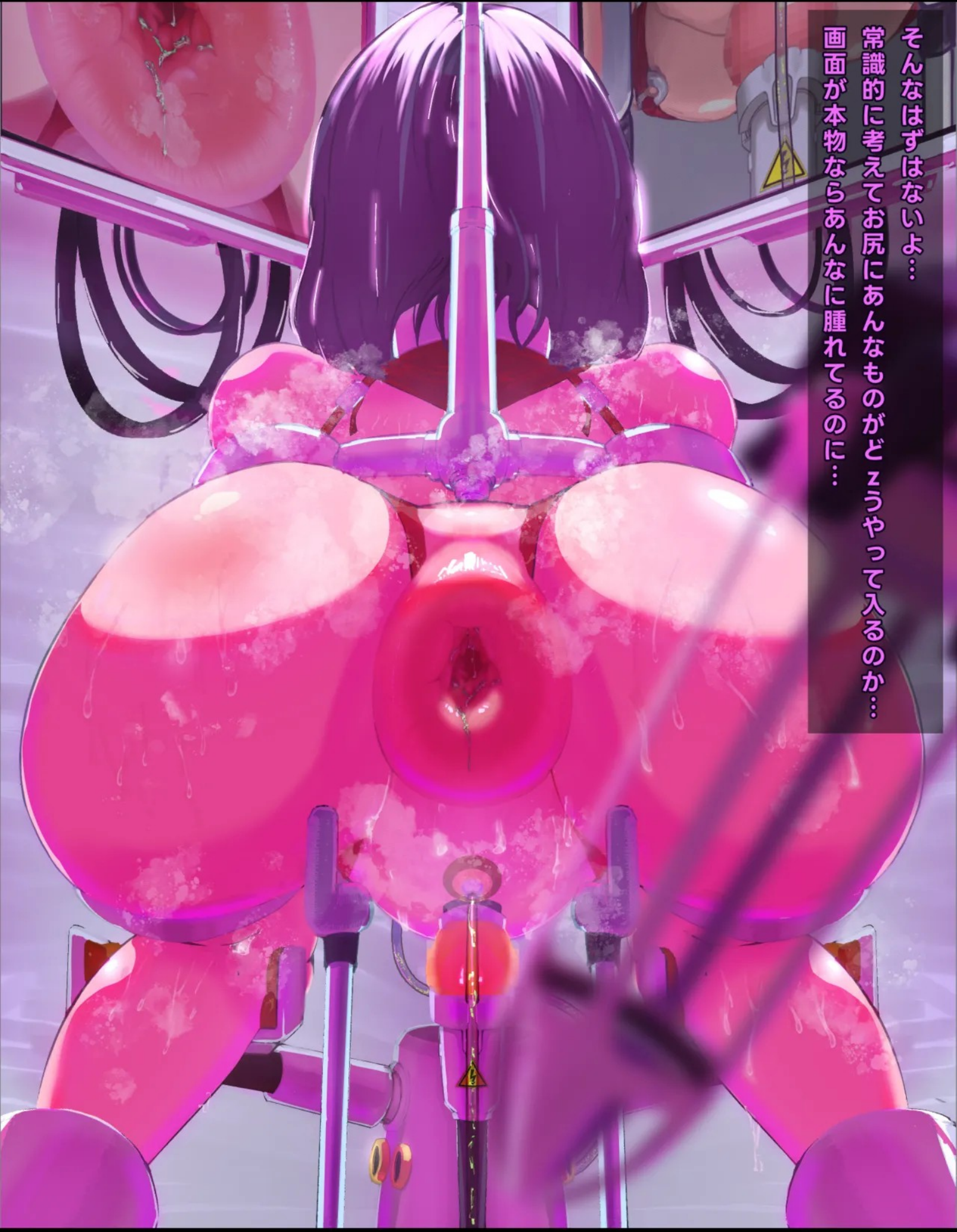
外部拡張はほとんど行われず、調教用としてはあまり使用されない。





...అయి...

そんなはずはないよ…
常識的に考えてお尻にあんなものがどろうやっって入るのか…
画面が本物ならあんなに腫れてるのに…





ジュエルを追加する
必要はないでしょうか？

さわってみると十分だ
拭き取るのも面倒だしね

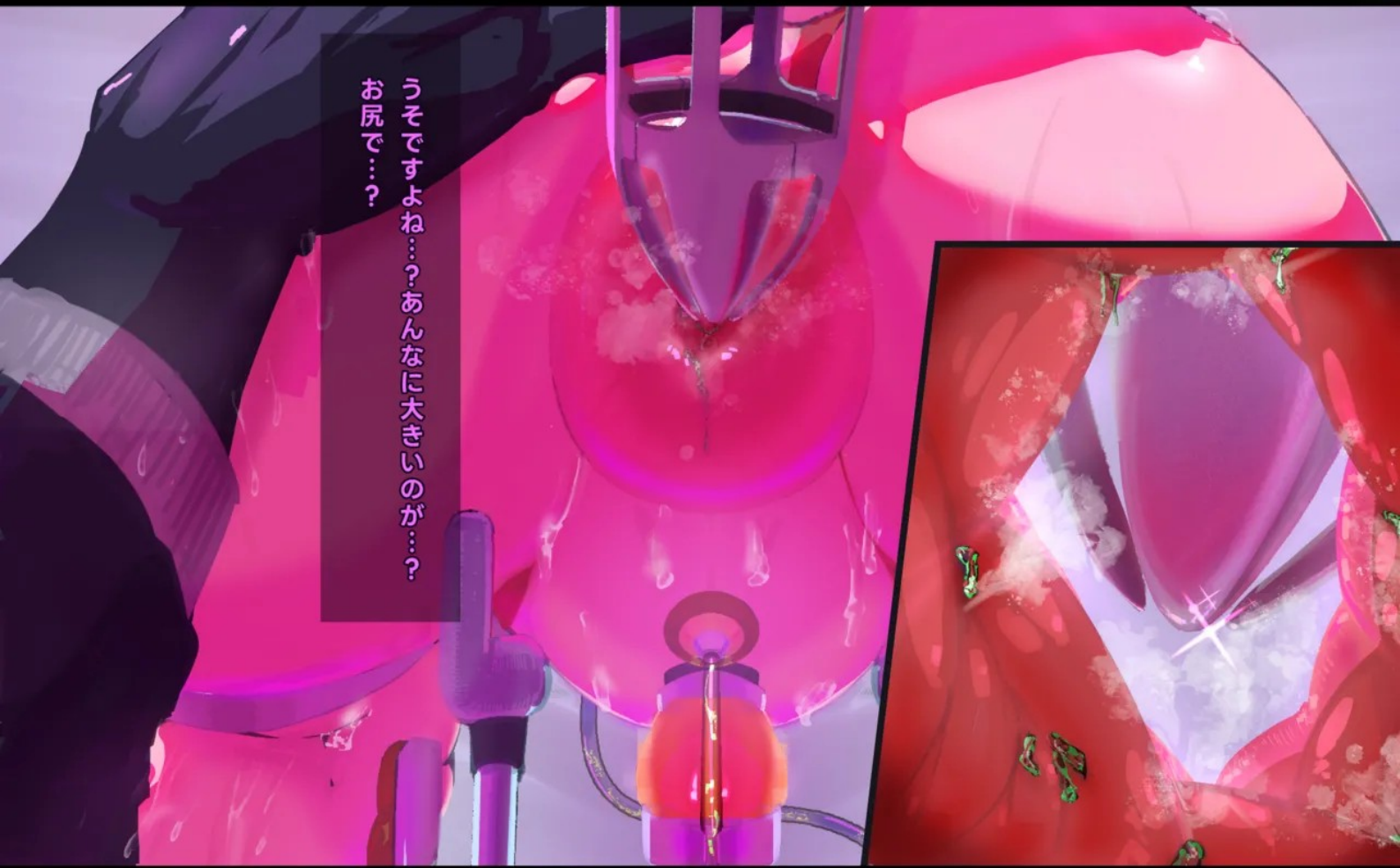


76番、ちょっと不愉快かもしれないけど

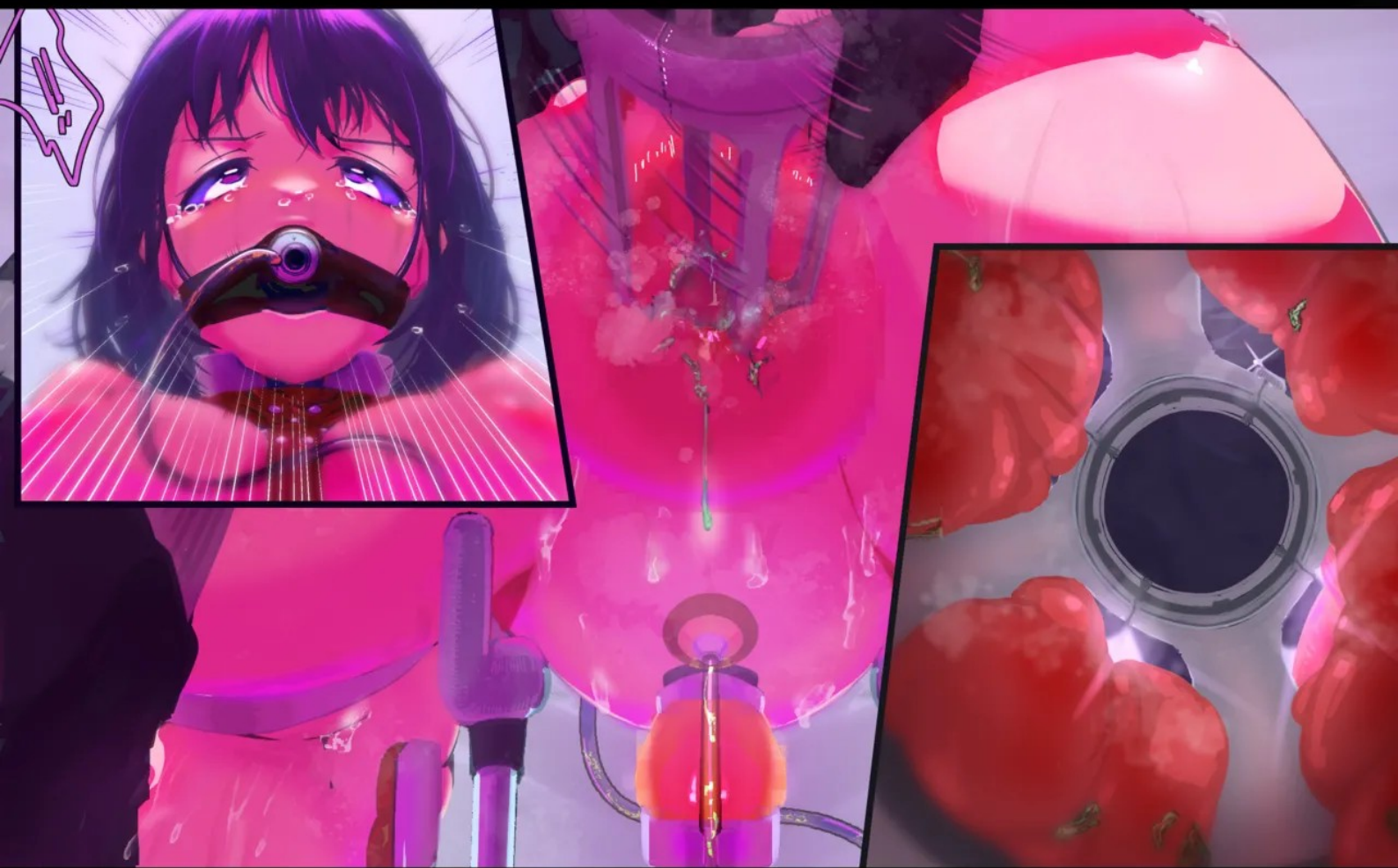
弛緩剤のおかげで

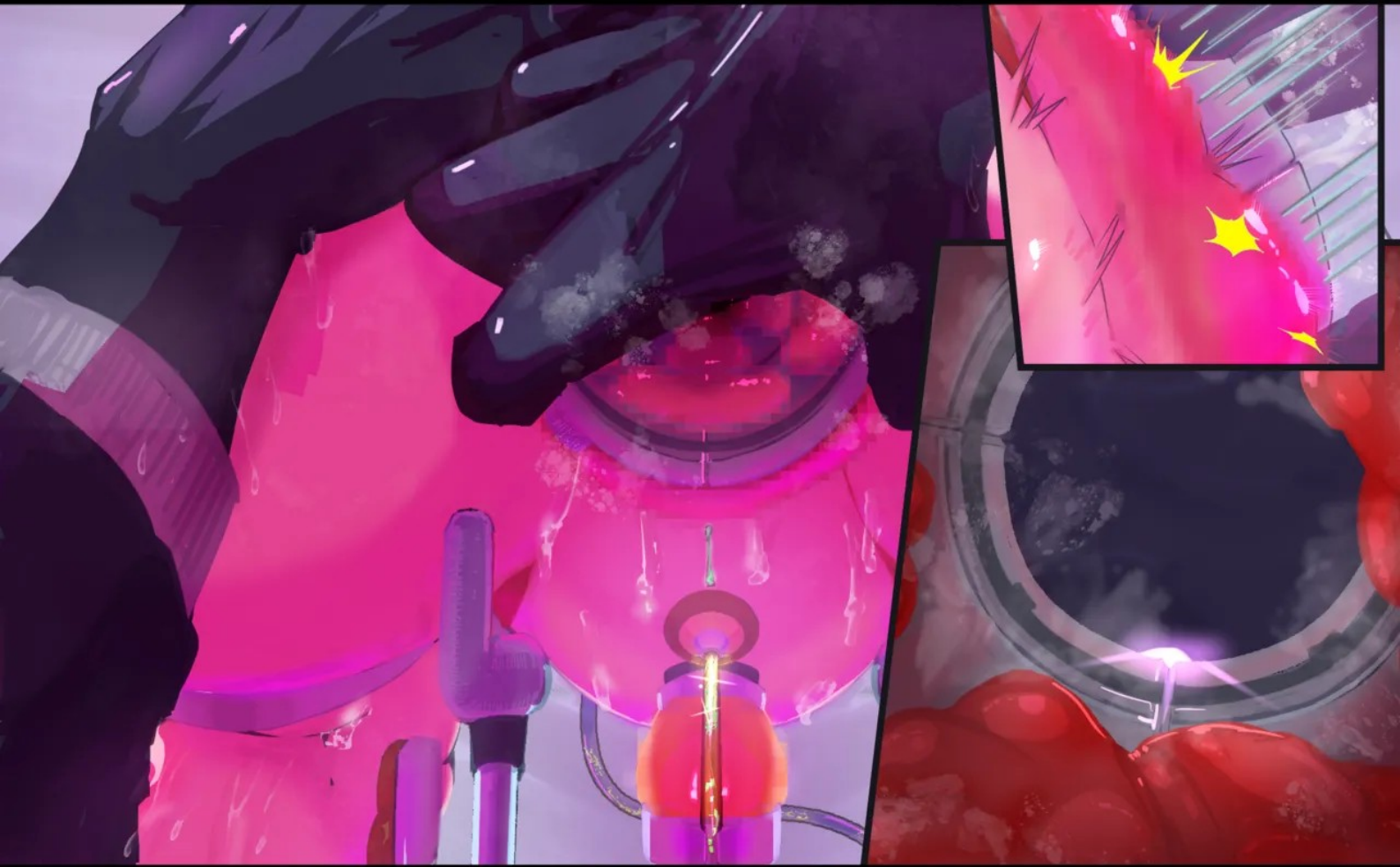
痛くはならないだろうから、

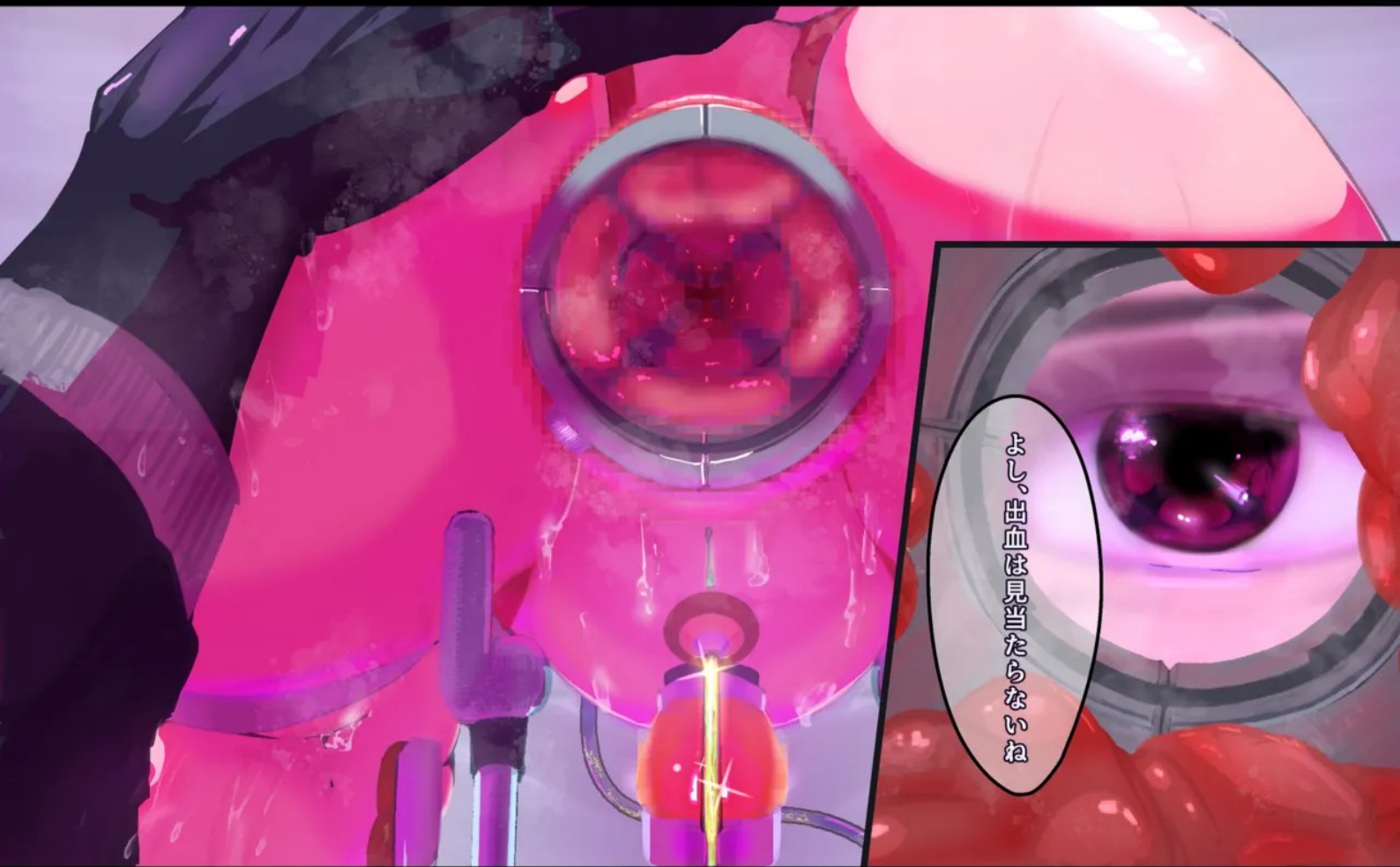
我慢しよう



うそですよね…？あんなに大きいのが…？
お尻で…？







よし、出血は見当たらないね



ひどい画面に比べ、頭がくらくらするほどの痛みはなかった

ただ、お尻からお腹の中までそのまま続いているような奇妙な異物感があった
違う、それはもともと繋がっていて…

すぐに肌を悩ませていた冷たい気が異物感を掻き分けて入ってきた
お腹から溢れ出そうな痛みを力を入れたが、異物感がより鮮明になるだけ…

いやーおしっこ我慢しなきゃいけないのに…
力が入らない…

さっそく広げてみようか

…「」でせらに何を…?

広げるって何だよ…?

同じように力を抜いた方が痛くないのに…

どうせ「」と聞かないでしょ?

が、我慢します…

いつまでオシッコするんだ

大人しく従いますから…

これ以上…「」はしなごど…



カチツ



やっと止まった…

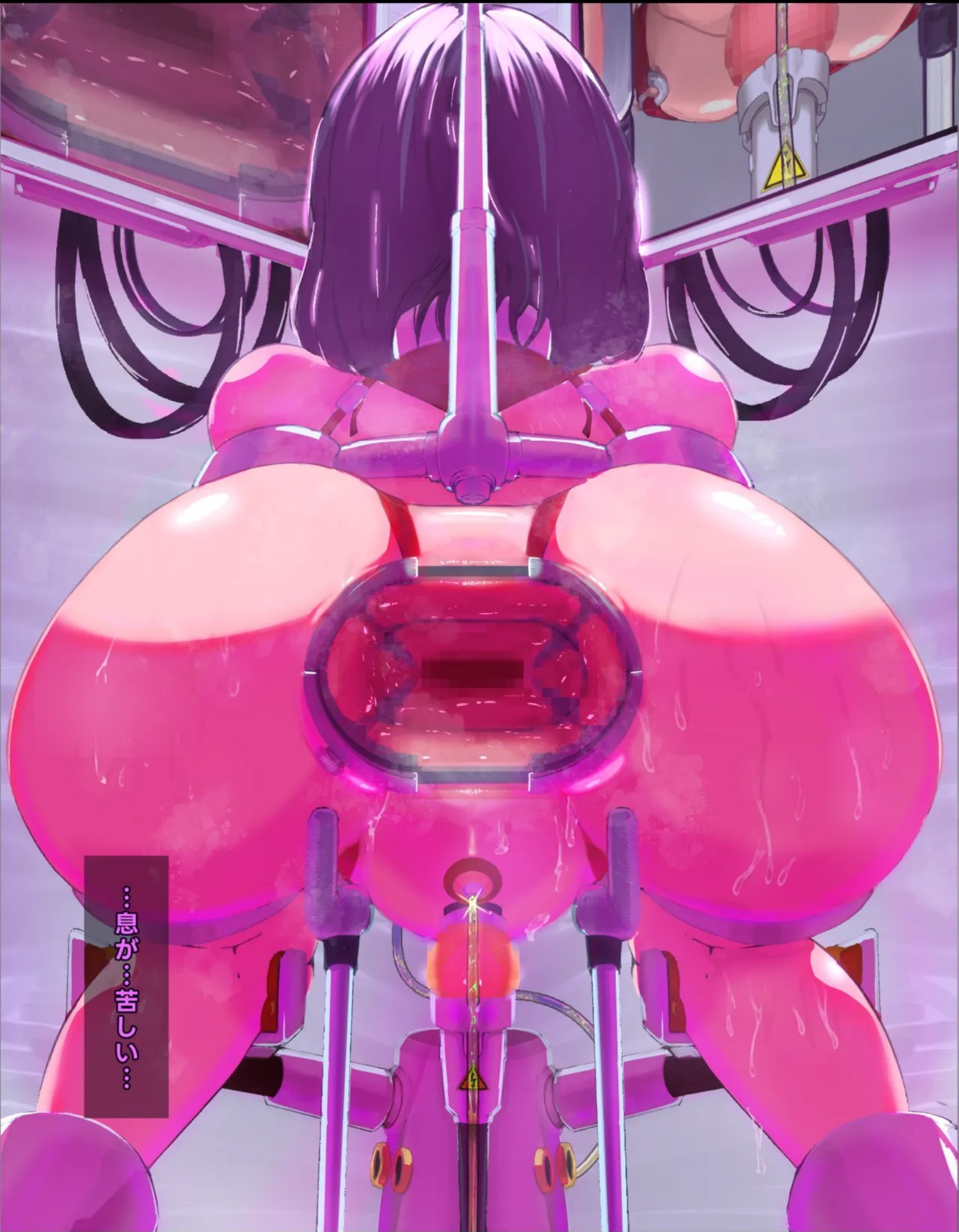
え…?

…さ、さ、さ…

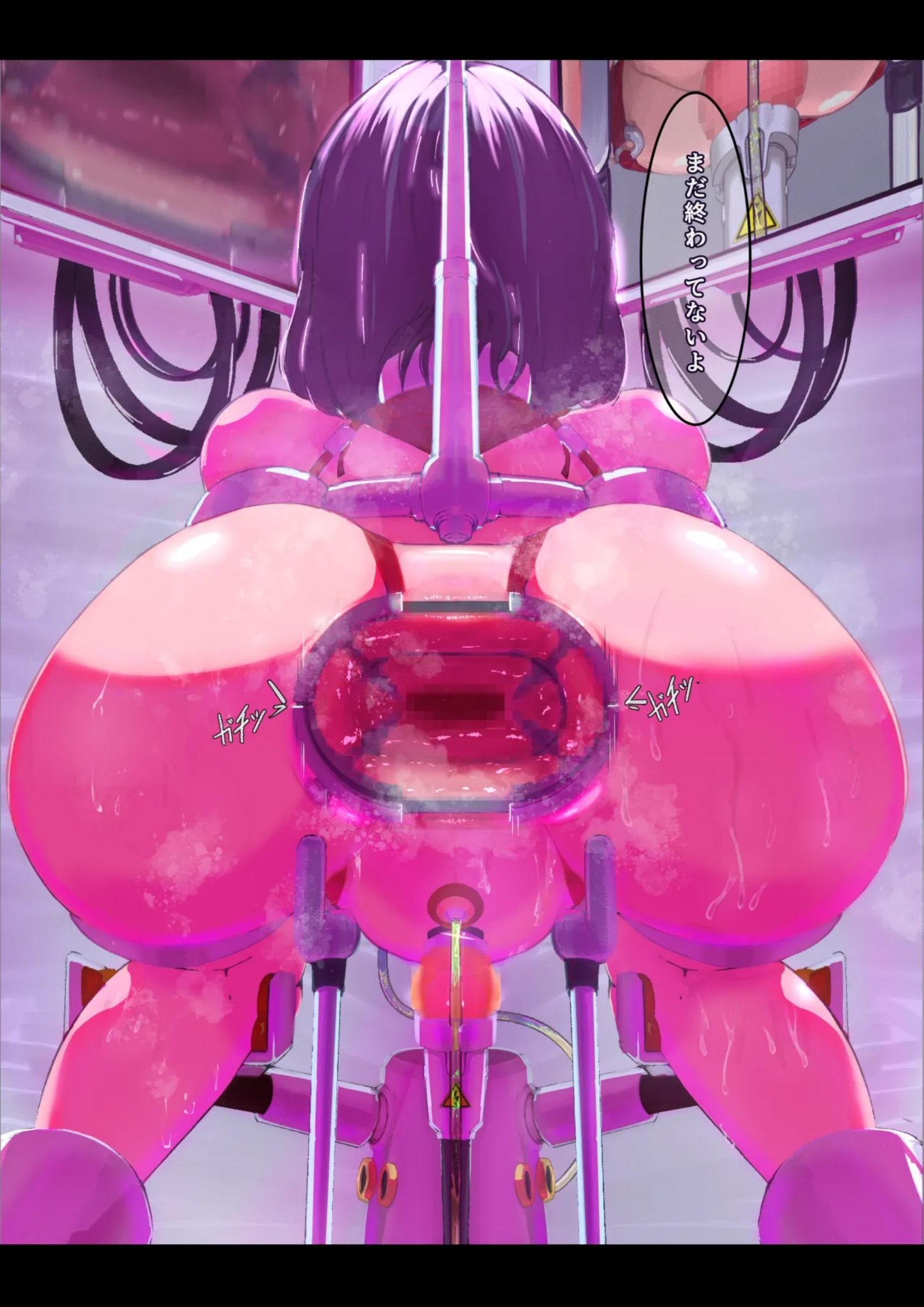




ピクン



…息が…苦しい…



まだ終わってないよ

ヒッツ →

← ヒッツ

